

三三九

長濱村

寅ノ年分
一金八拾四兩三分京八百四十七文
地方 舟役 共ニ

内五拾三兩壹分
三拾壹兩三百五拾文
與兵衛様へ上ル
未進

辰ノ年
一金八拾兩壹分八百四十壹文
右同斷未進

巳ノ年
一金六拾四兩貳分六百九十八文
右同斷未進

三口合百四拾五兩三分三百七文

延寶六年
午ノ七月十一日
御代官様

長濱村名主
四郎左衛門
同所年寄
平右衛門

三四〇

午之歳長濱村御年貢可納割付之事
田畑屋敷共

一高四拾三石五斗三升五合
此わけ

上田六反八畝廿六步
此取三石五斗壹升貳合
五斗壹升取

中田七反七畝四步
内三畝廿五步
古荒

殘七反三畝九步
此取三石五合
四斗壹升取

下田六反八畝拾貳步
内六畝拾六步
古荒

殘六反壹畝廿六步
此取壹石九斗壹升八合
三斗一升取

上畑五反七畝拾壹步
内四畝三步
古荒

殘五反三畝八步
此取壹石四斗三升八合
貳斗七升取

中畑七畝九步
内廿步
古荒

殘六畝拾九步
此取壹斗四升六合
貳斗貳升取

下畑九反三畝廿四步
内三反六畝七步
古荒

殘三反九畝廿三步
此取六斗七升六合
壹斗七升取

屋敷六反六畝六步

此取四石六斗三升四合

取米合拾五石三斗貳升九合

外浮役

一米貳拾五石貳斗六升貳合

一同七石七斗八升八合

一同壹石壹斗五升

一同六石四斗九升

一同三石四斗六升四合

一永壹貫文

右如ノ所相定上者極月十日を切而急度可ノ致ニ皆濟ニ若其通於ニ無沙汰ノ者謹責を以可ニ申付ノ者也、仍而如件

延寶六年午ノ霜月廿日 伊兵右(印)

名主百姓中

〔右御割付之通、惣百〔姓〕寄合、明鏡割仕候上ハ何ニ而、申分無ニ御座一候、以上

總兵衛 忠兵衛 市郎兵衛 善平兵衛 伊左衛門 七郎左衛門 五郎左衛門 七郎左衛門 加三左衛門

德兵衛(印) 忠兵衛(印) 市郎兵衛(印) 善平兵衛(印) 伊左衛門(印) 七郎左衛門(印) 五郎左衛門(印) 七郎左衛門(印) 加三左衛門(印)

七斗取

定納御番有錢

同 節季錢

同 歳暮錢

同 網戶錢

同 夫錢

同 網舟五艘役

三四一

取替し申證文之事

一鯨何方へ走上り候共鋪寄合之通りニ四ヶ村へ分取可ノ申候、爲ニ後日ニ證文取替し申候、以上

延寶七年

未之 二月廿五日

長濱村

四郎左衛門殿

重須村

同所網戶持中

久左衛門殿

同所網戶持中

三津村

傳左衛門(印)

小海村

同所網戶持

八郎左衛門(印)

同所網戶持

文右衛門 八左衛門 佐次郎 權三郎 平右衛門 角左衛門 長兵衛

文右衛門(印) 八左衛門(印) 佐次郎(印) 權三郎(印) 平右衛門(印) 角左衛門(印) 長兵衛(印)

三四二

相定申證文之事

一重寺村之儀ハ前々登方切ニ網子究り申候へ共近年新法之小おのあミお仕立、八月朔日ハ九月九日まで分ケノ罷成、面々之小かせき斗仕候、網子自由ニ致、網戸場守り不申立魚參候へ而も度とあんと場明ケ申付今度御吟味之上、右之小おのあミ御やめ被レ成、其上難題ニ可レ被レ仰付候由、御尤と奉レ存候、自今以後ハ八月朔日ハ九月九日迄之内茂自由ニ小かせきニ罷出申間敷候、乍去魚わけ之儀ハ八月朔日ハ九月九日までハ前々之通り半分、網子ニ可レ被レ下候事

一今度貴様御指圖（を）お以、長なわ之ゑさ其外ゑさ引申候あミ、あんこニ中間寄合ニ而仕立可申候、右之網之義も立魚見（を）申時分ハ引申間敷候、併貴様御指圖お請ゑさ引又ハ釣可仕候、若御指圖無之内、むさとゑさ引釣ニ罷出候者何様之難題ニも可レ被レ仰付候、右之通り御定之上ハ少茂違背申間敷候、爲後日ニ網子不殘連判ニ而證文仕候、仍如件

延寶七年未之十月朔日

彦兵衛（印）

彌三右衛門殿

長七郎（印）
六平
德左衛門（印）
傳四郎（印）
八左衛門（印）
彌左衛門（印）
市右衛門（印）
傳十郎
半右衛門（印）

三四三

未之歳長濱村御年貢可納割付之支

一高四拾三石五斗三升五合
此わけ
田畑屋敷共
五斗四升取
上田六反八畝廿六步
此取三石七斗壹升九合
古荒
中田七反七畝四步
内三畝廿五步
四斗四升取
殘七反三畝九步
此取三石貳斗貳升五合
古荒
下田六反八畝拾貳步
内六畝拾六步
三斗四升取
殘六反壹畝廿六步

此取貳石壹斗三合
上畑五反七畝拾壹步
内四畝三步
古荒
殘五反三畝八步
此取壹石四斗三升八合
二斗七升取
中畑七畝九步
内廿步
古荒
殘六畝拾九步
此取壹斗四升六合
貳斗貳升取
下畑九反三畝廿四步
内三反六畝七步
古荒
殘三反九畝廿三步
實ノ水押水荒
壹斗七升取
此取六斗七升六合
七斗取
屋敷六反六畝六步
此取四石六斗三升四合
取米合拾五石九斗四升壹合
外浮役
一米貳拾五石貳斗六升貳合
定納御番看錢
一同七石七斗八升八合
同 節季錢
一同壹石壹斗五升八
同 歳暮錢
一同六石四斗九升八
同 網戸錢
一同三石四斗六升四合
同 夫錢

右如ノ新相定上者極月廿日を切而急度可致ニ皆濟、若其通於ニ無沙汰ニ者謹責を以可申付者也、仍如件
延寶七年未霜月廿二日 伊兵右（印）

名主百姓中

【右御割付之通、惣百姓寄合、明鏡ニ割仕候上ハ何ニ而も申分無御座候、以上

德三兵衛 忠兵衛 市兵衛 善兵衛 伊兵衛 七兵衛 加兵衛 十兵衛 八兵衛 七兵衛 太兵衛 角兵衛 八兵衛 權兵衛 平兵衛 五兵衛
德三兵衛 忠兵衛 市兵衛 善兵衛 伊兵衛 七兵衛 加兵衛 十兵衛 八兵衛 七兵衛 太兵衛 角兵衛 八兵衛 權兵衛 平兵衛 五兵衛
德三兵衛 忠兵衛 市兵衛 善兵衛 伊兵衛 七兵衛 加兵衛 十兵衛 八兵衛 七兵衛 太兵衛 角兵衛 八兵衛 權兵衛 平兵衛 五兵衛

三四四

請取申金子之事

合七兩壹分者江戸小判也
内金壹兩壹分ハ未ノ極月廿八日大工八左衛門請取也
右是者三津村御陣屋御普請入用之金ニ請取申所實正

立獵網小線網あミ屋ニ積置、波入打禿退轉仕候も御座候、殊ニ近年打續立魚無ニ御座候得ハ網戸持百姓及ニ飢命ニ申候付御拜借申上度奉レ存候得共近年浮役未進大分御座候へハ迷惑仕罷有候御事
右之通年ニ御訴訟申上候得共御承引無ニ御座候、江戸江罷下り御訴可ニ申上ニ儀ニ御座候へ共網戸持久ニ困窮仕候故、不ニ罷成候、此上之儀者御事多ク御座候へ共御公儀様江被ニ仰上ニ御定納御役御赦免被レ下候様ニ奉レ願候、偏ニ御慈悲奉レ守候、以上

延寶八年
申十一月

重寺村網戸持

彌三右衛門(印)

平七郎(印)

六左衛門(印)

甚兵衛(印)

八郎左衛門(印)

四郎左衛門(印)

權三郎(印)

久左衛門(印)

平七郎(印)

德兵衛(印)

善右衛門(印)

小海村同斷

長濱村同斷

重須村同斷

木負村同斷

御代官様

候、爲後日肝煎衆加判仍如件

延寶九年

酉三月朔日

三津村

久左衛門印

伊兵衛印

傳左衛門印

彦兵衛印

新太郎印

八兵衛印

甚兵衛印

小海村網戸持

同斷

同斷

同斷

同斷

同斷

同斷

同斷

同斷

同斷

同斷

同斷

同斷

同斷

同斷

同斷

右之通り寫シ置申候、本書之義者日吉友右衛門殿宅江預ケ置申候也
明治七年甲戌七月九日 見置之もの也

小海村

上方津元

增田七兵衛(印)

日吉友右衛門(印)

三四七

〔包紙ウハ書〕

延寶九年三月朔日

小海村上方津元

增田七兵衛

日吉友右衛門

上 下方方請取申候網戸日廻り之書付寫シ
相定申網戸證文之事

相定申網戸證文之事

一 小海村網戸日廻り前々十二日廻り六日廻りニ其方ニ而見、我等方ニ而六日ツ、見申候所、三津村八兵衛殿甚兵衛殿御肝煎を以、網戸登狀ニ付二日廻りニ相定、其方網戸三狀分ニ酉之三月朔日見始、六日廻リニ相極申候、我等方貳狀分ニ四日ツ、順ニ見可申候、ケ様ニ相定申故ハ自今以後兩方互ニ少茂出入申間敷候

一 網屋敷之義、我等分前々廣ク御座候を此度網戸日廻り肝煎ニ付兩方當分ニわけ取申候間、末々迄互ニ出入申間敷候

一 網戸見始申候事、年々正月朔日其方ニ而見始可レ被レ成候、か様ニ證文取替し申候上ハ少も出入申間敷候

三四八

相渡シ申證文之事

一 我等儀當春大分飢饉故、飢死申ニ付未進者御座候へ共様ニ斷申、家ハ三津村へ小分ニ賣、口用ニ致候へ共又候哉かつゑ死申ニ付我等代ニ傳り申候屋敷登畝六歩之所、貴殿御抱之南屋敷拾三歩之所ニ金子登分申請、様ニ斷致、かゝニ致もらひ申候上ハ横合ニ構申者御座有間敷候、たとへ田地ニ被レ成候共又ハ何方ノ百姓御仕付ケ被レ成候共彌々以申分無ニ御座候、大切之時分、か様ニ相定申故ハ少シも相違申間敷候、爲後日證人相立手形仍如件

延寶九年

三月十二日

長濱村本人

同所證人

同斷

同斷

同斷

同斷

同斷

同斷

加左衛門(印)

八左衛門(印)

文右衛門(印)

伊平次(印)

平右衛門

權三郎(印)

三四九

乍恐御訴訟申上候御事

一米五拾壹表壹斗五升 定納海役 重寺村
 一米三拾六表壹斗六升壹合 同斷 小海村
 一米百貳拾六表五升四合 同斷 長濱村
 一米四拾五表三斗 同斷 重須村
 一米拾六表壹斗壹升 同斷 木負村
 一永三百六拾五文 同斷 同所

米合貳百七拾六表七斗五合 但年々御石代之御直を以金納仕候
 永合三百六拾五文

右五ヶ村海御年貢之儀ハ立獵仕候而も又ハ一圓無御座候而も爲海御役右之御米定納年々御石代御直段を以、金納ニ差上ケ申候、魚獵仕候へハ御改之上、魚三ヶ一被爲御召上ニ重之御役仕御事ニ御座候、尤先年ハ大分魚獵仕、米下直ニ御座候故、網戸持百姓御役相勤申候得共魚獵連々無御座ニ殊ニ近年魚獵一圓無御座ニ其上米高直ニ罷成、大分之金子ニ而御役辨差上ケ申候ニ付網戸持百姓年々草臥、家財等賣代替退轉仕候ニ付最早御役米可仕様無御座候、駿州領之儀ハ村並一同之海ニ而御座候得共御定納米ハ無御座、魚獵仕候

得者魚三ヶ一御 公儀様江被爲御召上ケ三ヶ二百姓ニ被下候、又伊豆領村並ニも立保村古宇村足保村久料村江梨村迄五ヶ村之分も同海ニ而御座候得共御定納米無御座、駿州領並ニ御座候、私共五ヶ村村隣郷ニ違、重々御役いたし迷惑仕候、伊豆駿河村並ニ被爲御付、海御定納米御赦免奉願候御事

（ハリ紙）
 右之通、村々網戸持百姓退轉仕候間、偏ニ御慈悲奉仰候、以上天和貳年戌ノ二月十五日

一當御代官様へ度々御訴訟申上候得共御承引不被遊候、江戸へ罷下り御訴申上度奉存候得共百姓草臥下り申儀難成罷有候處ニ此度 御國廻り様方乍恐幸ニ奉存、如此申上候、獵場之百姓退轉仕候間、御助ケ奉願候御事

右之通ニ御座候間、五ヶ村之百姓御助ケ可被下候、則海面之繪圖差上ケ申候間、御慈悲奉守候、以上

延寶九年 西之四月十五日
 同斷同所網戸持 儀 太夫(印)
 同斷同所網戸持 六左衛門(印)
 同斷小海村網戸持 八郎左衛門(印)

三五〇

請取金子之事

合四兩者 但小列也 但使三津 衛門
 右是ハ去ル寅之御年貢浮役石代金之内請取候
 延寶四年辰五月十七日 長豊右衛門(印)
 長濱村名主四郎左衛門殿

同斷同所網戸持 伊兵衛(印)
 同斷長濱村網戸持 四郎左衛門(印)
 同斷同所網戸持 權三郎(印)
 同斷重須村網戸持 久左衛門(印)
 同斷同所網戸持 儀 太夫(印)
 同斷木負村網戸持 德兵衛(印)
 同斷同所網戸持 善右衛門(印)

三五二

請取金子之事

合貳兩者 但小列也
 右是去ル寅之御年貢浮役石代金之内請取者也
 延寶四年辰十二月十一日 長島豊右衛門(印)
 長濱村名主四郎左衛門殿

三五三

請取申金子之事

合七兩者 但小列也
 右是ハ寅年長濱村御年貢浮役金之内請取申候、仍如件
 延寶五年巳閏十二月廿三日 武元與兵衛(印)
 長濱村名主四郎左衛門殿

三五三

請取申金子之事

合參兩者 但小列也
 右是ハ巳年長濱村御年貢浮役金之内請取申候、仍如件

延寶五年巳閏十二月廿六日 武元與兵衛(印)
長濱村名主四郎左衛門殿

三五四

請取申金子之事

合拾六兩者 但小判也

右是ハ寅卯兩年分長濱村御年貢定納浮役金之内請取申候、仍如件

延寶六年午六月廿一日 武元與兵衛(印)
長濱村名主四郎左衛門殿

三五五

請取申金子之事

合三兩者 但小判也

右是ハ寅年長濱村御年貢金之内請取申候、仍如件
延寶六年午六月廿三日 武元與兵衛(印)
稻田傳三郎殿

三五六

請取申金子之事

合貳分京五百五拾貳文也

右是ハ寅年長濱村御年貢金之内請取申候、仍如件
延寶六年午八月〇日 武元與兵衛(印)
長濱村名主四郎左衛門殿

三五七

請取申金子之事

合貳兩京三百五拾文也

右是ハ寅年長濱村御年貢金之内請取申候、仍如件
延寶六年午八月四日 武元與兵衛(印)
長濱村名主四郎左衛門殿

三五八

請取金子覺

合四兩者 小判也

右者長濱村四郎左衛門納金拾兩之内、四兩請取分、以上

延寶八年申ノ極月十三日

大 彌次兵衛(印)
長はま 四郎左衛門殿

三五九

乍恐御訴訟申上候願書之事

一金貳百八拾貳兩壹分京六百七拾三文 跡々未進長濱村
内拾七兩壹分京四拾文 三津村納戸持未進
是ハ別紙願書指上ケ申候

殘金貳百六拾五兩京七百六拾三文
内

- 金百拾八兩京貳百四文 四郎左衛門
- 金四拾六兩京三百五拾四文 權三郎
- 金拾壹兩京六百拾壹文 角左衛門
- 金拾貳兩壹分京五百五拾四文 又三郎
- 金三兩貳分京六百五拾四文 市郎兵衛
- 金壹兩三分京貳百九拾三文 太郎助
- 金三兩三分京九百四拾七文 加左衛門
- 金五兩壹分京百六拾九文 八左衛門
- 金五兩三分京六百九拾七文 平七郎
- 金四兩三分京八百四拾三文 長兵衛
- 金貳兩三分九百五拾六文 平四郎
- 金三兩貳分京七百三拾三文 七左衛門

金四拾兩壹分京七百九拾壹文 郷中分未進

一米百貳拾六表五升四合 定納浮役

内米四拾八表貳斗貳升八合 三津納戸持分

是ハ別紙願書指上ケ申候

殘百七拾七表壹斗七升六合 長濱村分

一米貳拾九表貳升六合 地高御年貢

是ハ去申年之御取之積リ

〔別紙ツギ〕
右之通、未進仕候事ハ久々之飢饉ニ而穀物高直ニ而草臥、殊ニ近年打續立獵一圓不仕候故、年々重リ大分未進仕候、右之未進急ニ御取立被成候へハ不殘 禿、退轉仕候ニ付奉願候ハ當地方御年貢浮役之内、當年三分壹御上納可申上候、相殘分ニ跡々未進之儀ハ來ル戊ノ年ノ辰之年迄七年ニ御上納被爲ニ仰付可被下候、若又來年も立獵無御座、御請負之金子其年之御年貢浮役、共ニ御上納不罷成候ハ、我等とも儀ハ不及ニ申上候ニ郷中共ニ身代つふし不殘御上納申上、御皆濟可相勤候、御慈悲を以奉願通被爲ニ仰付可被下候、郷中連判ニ願書差上ケ申候、以上
天和元年酉十月

四郎左衛門
覺右衛門
孫三郎
權左衛門
與四兵衛
彦左衛門
德右衛門
權右衛門

〔宛名ナシ〕

善兵衛 市郎兵衛 五郎兵衛 與左衛門 十右衛門 才右衛門 八右衛門 庄右衛門 文右衛門 七右衛門 兵衛 善兵衛 多右衛門

三六〇

指上ケ申證文之支

一米八表(依)三斗貳升貳合跡と未進負 源兵衛
一金五兩壹分京五百九拾壹文同斷 同人

右之わけ

一金貳兩ハ 西ノ攝月中ニ御上納可仕候
一金壹兩ハ 來ル戌十月中ニ御上納可仕候
一米四表ハ 同年初秋ニ御上納可仕候
一金貳兩壹分京五百九拾壹文 亥ノ十月中ニ御上納可仕候
一米四表三斗貳升貳合 同年初秋ニ御上納可仕候

右願書指上ケ申候通り被レ爲ニ仰付ニ難レ有奉レ存候處、願

之通、少も偽無ニ御座候、か様ニ御慈悲を以被レ爲ニ仰付候上ハ當御年貢之義不レ及ニ申上、年々其年切ニ急度御皆濟可仕候、若滯申候ハ、いか様之曲事ニも可レ被ニ仰付候、爲ニ後日之請人之立証文指上ケ申候、仍而如件

天和元年 西ノ十一月四日

木負村負人 源兵衛(印)
同所請人 善右衛門(印)
同所名主 德兵衛(印)

御代官様

三六一

永代寄進申畑之事

一上畑壹反三畝拾八步 但寺屋敷
分米壹石八升八合
一下畑壹畝拾八步 九つちう〇
分米六升八合
一中畑壹反壹畝步 神かいと
分米六斗六升
一下畑四畝廿五步 同所
分米貳斗四升貳合

三六二

乍恐願書を以御訴訟申上候御事

一長濱村跡ニ御年貢浮役金之内未進仕候分 權三郎未進
一金四拾六兩京三百五十四文 平右衛門未進
一金五兩三分京六百九十七文 重須村又三郎未進
一金十二兩壹分京五百五十四文 村中網子頭九人分
一金四十貳兩壹分京六十三文 五口合百六兩貳分京六百六十八文

右未進御金、年々獵不レ仕候故、何共難儀仕候、久々御介抱を以、百姓相動有難奉レ存候、今度御穿鑿之上、籠舎被レ爲ニ仰付(ハ)至極仕候へとも當分可仕様無ニ御座候間、若此上奉願候御事ハ西ノ年々迄未進御金、御延可被レ下候、隨分立獵備之分壹人も無ニ不足一名主方へ相渡シ可申候、小稼之儀も其日之すきあい程請取、殘分名主方へ相渡シ可申候、年數究之時分、滯申候者稼之諸道具賣立、御上納可ニ申上候、右願之通、偏御慈悲奉レ守候

天和元年 西十一月廿一日

權三郎 伊平次
平右衛門 市兵衛
御代官様 留 又三郎 八左衛門

右此畑之儀、代々我等先祖長福寺へ永代寄進仕、爲ニ寺相續と御年貢諸役我等共代仕、即且那ニ罷成居申處ニ我等共身體惡難罷成候ニ付右之畑取返シ可申と違儀ニ罷成候へ者長福寺之御住寺、御代官伊奈兵右衛門様へ御訴訟被ニ申上ケ候處を三津村快庵老古宇村名主共右衛門殿長濱村名主四郎左衛門殿右三人之衆御變を以、右之畑、長福寺ニ而永代御仕配被レ成、御年貢御役御指紙之通り長福寺より御納所被レ成候筈ニ御變究被レ成候上者申分無ニ御座候、爲ニ後日ニ證人連判、仍而如件

天和元年 西ノ十一月十三日

木負村本人 德兵衛
同所年寄 善右衛門
三津村證人 快庵
古宇村右同斷 甚右衛門
長濱村右同斷 四郎左衛門
長福寺 まゝ

角左衛門 太郎助
七左衛門 長兵衛 平四郎

三六三

乍恐以願書を御訴訟申上候事

一金四拾兩壹分京七百九拾壹文

村中未進

内貳兩

當年中御上納可仕候

殘而三拾八兩壹分京七百九拾壹文

右之通、奉願候者年數來戌ノ年ノ六年ニ御上納仕候様ニ被レ爲ニ仰付ニ可被レ下候、何ニ而も小稼仕候者其日之口用申請、殘分名主方江相渡し可申候、當御年貢之儀三ヶ壹御上納仕、殘ル分來戌ノ年歲數之金子、我等共身體禿シ候ヘ而名主方ヘ相渡し可申候、偏ニ御慈悲奉レ守候、以上

長濱村未進負人

孫兵衛(印)

德兵衛(印)

由兵衛(印)

彦左衛門(印)

權右衛門(印)

天和元年

酉之十一月

茂左衛門

六兵衛

金三郎

三六四

乍恐願書を以御訴訟申上候御事

一金百拾八兩壹分京貳百四文跡ノ浮役未進長濱村四郎左衛門仕候、只今迄者御介抱を以、百姓相勤罷有、難有奉存候、今度御穿鑿之上、籠舎ニ被レ爲ニ仰付候儀、御尤至極ニ奉レ存候ヘ共當分可仕様無御座候ニ付三津村大名主勘左衛門を頼、様ニ御訴訟申上、願書指上ケ申候

一當酉之年ノ亥之年迄三年ニ未進金、御上納仕候様ニ願申上候、其内獵仕候者不レ及ニ申上ニ縱獵不仕候而も年數究り之節、急度御皆濟爲レ仕可申候、爲レ其家財書致、家財之品ニ直段付仕、小日記拙者請取預リ置申候、年數究り之時分滯申候者右家財賣立、御上納爲レ致可申候、年數之内、獵仕候者御下知次第ニ濱御手代様江四郎左衛門儲共不レ殘指上ケさせ可申候、御慈悲を以、願之通被レ爲ニ仰付ニ可被レ下候、永ク百姓爲ニ相勤ニ申度奉レ存候、偏ニ御慈悲奉レ守候以上

天和元年

酉十一月

留

三津村大名主請人

勘左衛門(印)

善兵衛(印)
市郎右衛門(印)
五郎左衛門(印)
與惣左衛門(印)
作兵衛(印)
重三郎(印)
才兵衛(印)
八郎右衛門(印)
庄右衛門(印)
文右衛門(印)
七郎兵衛(印)
兵左衛門(印)
吉右衛門(印)
平右衛門(印)
同斷
權三郎(印)
名主
四郎左衛門(印)

御代官様

半左衛門
仁兵衛
仁平二

御代官様

長濱村負人

四郎左衛門(印)

三六五

酉之年長濱村御年貢可納割付之事

一高四拾三石五斗三升五合

田畑屋敷共

此わけ

上田六反八畝廿六步

内三反貳畝廿壹步 付荒

殘三反六畝五步

四斗三升取

中田七反七畝四步

内三畝廿五步 付荒

殘四反五畝拾壹步

三斗三升取

此取壹石四斗九升七合

付荒

下田六反八畝拾貳步

内壹畝拾六步 付荒

殘三反五畝五步

貳斗三升取

此取八斗九合

古荒

上畑五反七畝拾壹步

内四畝三歩 古荒

殘五反三畝八歩

貳斗七升取

此取壹石四斗三升八合

古荒

中畑七畝九歩

内廿歩 古荒

殘六畝拾九歩

貳斗貳升取

此取壹斗四升六合
 下烟九反三畝廿四步 内三反六畝七步 古屋
 残三反九畝廿三步 亥ノ水御米
 此取六斗七升六合 壹斗七升取
 屋敷六反六畝六步 七斗取
 此取四石六斗三升四合
 取米合拾石七斗五升五合
 外浮役
 一米貳拾五石貳斗六升貳合 定納御番有錢
 一同七石七斗八升八合 同 節季錢
 一同壹石壹斗五升八 同 歳暮錢
 一同六石四斗九升八 同 網戶錢
 一同三石四斗六升四合 同 夫錢
 一米貳拾五文 鐵炮壹挺役

右如ノ斯相定上者極月廿日を切テ急度可致ニ皆濟、若其通於ニ
 不沙汰ニ者謹責を以可ニ申付ニ者也、仍而如件
 天和元年十一月 伊兵右(印)
 名主惣百姓中

三六六
 酉之年木負村御年貢可納割付之事
 一高百七拾五石六斗九升貳合 田畑屋敷共
 此わけ
 上田四町六反四畝拾貳步 内廿八步 申ノ田欠米荒
 残三町三反七畝八步 八斗壹升取
 此取貳拾七石三斗壹升九合
 中田壹町七反六畝廿壹分 内六畝拾步 申ノ田欠米荒
 残壹町三反貳畝拾七步 七斗壹升取
 此取九石四斗壹升貳合
 下田壹町四反九畝拾四步 内三反四畝五步 付荒
 残壹町壹反五畝九步 六斗壹升取
 此取七石三升三合
 上烟貳町七反九畝廿八步 四斗貳升取
 此取拾壹石七斗五升七合
 中烟三町四反八畝拾四步 三斗四升取
 此取拾壹石八斗四升八合
 下烟三町九反五畝拾步 貳斗四升取
 此取九石四斗八升八合
 屋敷五反廿六步 七斗取
 此取三石五斗六升壹合

取米合八拾石四斗壹升八合
 外浮役
 一米五石七斗壹升 定納御番有錢
 一永三百六拾五文 同 歳暮錢
 一米五合 茶烟上木御年貢
 右如ノ斯相定上者極月廿日を切テ急度可致ニ皆濟、若其通於ニ
 不沙汰ニ者謹責を以可ニ申付ニ者也、仍而如件
 天和元年十一月 伊兵右(印)
 名主惣百姓中

三六七
 酉之年重寺村御年貢可納割付之事
 一高貳拾七石六斗三升七合 田畑屋敷共
 此わけ
 上田五反壹畝拾七步 内壹反貳畝拾八步 御番有錢
 残壹反九畝拾四步 七斗取
 此取壹石三斗六升三合
 中田壹反三畝拾三步 内五畝廿七步 御番有錢
 残六畝七步 六斗取

此取三斗七升四合
 下田九畝五步 内三畝貳步 正年米荒
 残貳畝貳拾四步 五斗取
 此取壹斗四升
 上烟七反四畝八步 内壹反壹畝廿貳步 跡ノ荒
 残六反貳畝拾六步 貳斗六升取
 此取壹石六斗貳升六合
 中烟四反壹畝廿步 内貳反八步 跡ノ荒
 残貳反壹畝拾貳步 貳斗壹升取
 此取四斗四升九合
 下烟壹町三步 壹斗六升取
 此取壹石六斗貳合 七斗取
 屋敷三反七畝廿八步
 此取貳石六斗五升五合
 取米合八石貳斗九合
 外浮役
 一米壹石壹斗五升 定納歳暮錢
 一同壹石四斗三升三合 同 夫錢
 一同拾五石四斗壹升七合 同 御番有錢
 右如ノ斯相定上者極月廿日を切テ急度可致ニ皆濟、若其通於ニ
 不沙汰ニ者謹責を以可ニ申付ニ者也、仍而如件
 天和元年十一月 伊兵右(印)
 名主惣百姓中

三六八

差上ケ申酉之年長濱村舟指出シ證文之事

一 獵舟壹艘 長四尋三尺 舟主 四郎左衛門

此永百三拾八文 但壹尋ニ付永三拾文宛

一 同舟壹艘 長四尋四尺五寸 舟主 平右衛門

此永百四拾七文 但壹尋ニ付右同斷

一 同舟壹艘 長四尋壹尺五寸 舟主 權三郎

此永百貳拾九文 但壹尋ニ付右同斷

一 同舟壹艘 長三尋四尺 舟主 四郎左衛門

此永百拾四文 但壹尋ニ付右同斷

一 同舟壹艘 長三尋壹尺 舟主 長兵衛

此永九拾六文 但壹尋ニ付右同斷

一 同舟壹艘 長三尋貳尺 舟主 伊平次

是者酉之年 但三ヶ月役四尺貳寸三分 此永貳拾五文五分 但壹尋ニ付右同斷

〔退轉仕候之〕

一 同舟壹艘 長三尋貳尺五寸 舟主 徳兵衛

此永百五文 但壹尋ニ付右同斷

一 同舟壹艘 長三尋〇尺 舟主 善兵衛

此永百拾四文 但壹尋ニ付右同斷

一 同舟壹艘 長三尋貳尺五寸 舟主 孫兵衛

此永百五文 但壹尋ニ付右同斷

一 同舟壹艘 長三尋貳尺三寸 舟主 權三郎

此永百三三文八分 但壹尋ニ付右同斷

一 同舟壹艘 長三尋四尺 舟主 四郎左衛門

是ハ申之極月退轉仕候

一 獵舟合拾壹艘 長三尋四尺三寸貳分 但尋數三拾五尋四尺三寸貳分

〔ハリ無〕 此永壹貫七拾七文三分 但壹尋ニ付永三拾文宛

右之通、舟壹艘も無レ隱書上ケ申候、若壹艘成共隠シ置候と横合ハ訴人御座候ハ、船主之儀者不レ及ニ申ニ一名主年寄、如何様之曲事ニも可レ被レ仰付候、舟出來不足之儀者年々高下罷在御座候間、其時々急度御斷可申上候、爲後日一舟指出シ證文如此ニ御座候、仍而如件

天和元年 西之極月 長濱村名主 四郎左衛門

御代官様

三六九

指上ケ申證文之事

合七俵者 但御藏表也

内 五俵者 三津村西之御年貢米之内請取申候 貳俵者 木負村西御年貢米之内請取申候

右是者長濱村本百姓之内ニテ人數七拾七人同所〇〇在家之内ニテ人數壹人、當分飢死申候ニ付木村源右衛門様江御訴訟仕候得者爲ニ御介抱ト三津村木負村右兩村去酉年御年貢米之内、御借被レ遊候故、貴様々無ニ相違ニ御渡シ慥ニ請取、飢人方へ相渡シ申候、大切之時分、御助として御借被レ遊候間、來ル夏中ニ右之御米不レ殘急度御返納可レ仕候、若其内ニも獵仕候ハ、御日限々前ニも差上可レ申候、爲後日一證文指上ケ申候、仍如件

天和貳年 戌二月十四日

長濱村名主 四郎左衛門

三六八

差上ケ申酉之年長濱村舟指出シ證文之事

一 獵舟壹艘 長四尋三尺 舟主 四郎左衛門

此永百三拾八文 但壹尋ニ付永三拾文宛

一 同舟壹艘 長四尋四尺五寸 舟主 平右衛門

此永百四拾七文 但壹尋ニ付右同斷

一 同舟壹艘 長四尋壹尺五寸 舟主 權三郎

此永百貳拾九文 但壹尋ニ付右同斷

一 同舟壹艘 長三尋四尺 舟主 四郎左衛門

此永百拾四文 但壹尋ニ付右同斷

一 同舟壹艘 長三尋壹尺 舟主 長兵衛

此永九拾六文 但壹尋ニ付右同斷

一 同舟壹艘 長三尋貳尺 舟主 伊平次

是者酉之年 但三ヶ月役四尺貳寸三分 此永貳拾五文五分 但壹尋ニ付右同斷

〔退轉仕候之〕

一 同舟壹艘 長三尋貳尺五寸 舟主 徳兵衛

此永百五文 但壹尋ニ付右同斷

一 同舟壹艘 長三尋〇尺 舟主 善兵衛

此永百拾四文 但壹尋ニ付右同斷

一 同舟壹艘 長三尋貳尺五寸 舟主 孫兵衛

此永百五文 但壹尋ニ付右同斷

一 同舟壹艘 長三尋貳尺三寸 舟主 權三郎

此永百三三文八分 但壹尋ニ付右同斷

一 同舟壹艘 長三尋四尺 舟主 四郎左衛門

是ハ申之極月退轉仕候

一 獵舟合拾壹艘 長三尋四尺三寸貳分 但尋數三拾五尋四尺三寸貳分

〔ハリ無〕 此永壹貫七拾七文三分 但壹尋ニ付永三拾文宛

右之通、舟壹艘も無レ隱書上ケ申候、若壹艘成共隠シ置候と横合ハ訴人御座候ハ、船主之儀者不レ及ニ申ニ一名主年寄、如何様之曲事ニも可レ被レ仰付候、舟出來不足之儀者年々高下罷在御座候間、其時々急度御斷可申上候、爲後日一舟指出シ證文如此ニ御座候、仍而如件

天和元年 西之極月 長濱村名主 四郎左衛門

御代官様

三六九

指上ケ申證文之事

合七俵者 但御藏表也

内 五俵者 三津村西之御年貢米之内請取申候 貳俵者 木負村西御年貢米之内請取申候

右是者長濱村本百姓之内ニテ人數七拾七人同所〇〇在家之内ニテ人數壹人、當分飢死申候ニ付木村源右衛門様江御訴訟仕候得者爲ニ御介抱ト三津村木負村右兩村去酉年御年貢米之内、御借被レ遊候故、貴様々無ニ相違ニ御渡シ慥ニ請取、飢人方へ相渡シ申候、大切之時分、御助として御借被レ遊候間、來ル夏中ニ右之御米不レ殘急度御返納可レ仕候、若其内ニも獵仕候ハ、御日限々前ニも差上可レ申候、爲後日一證文指上ケ申候、仍如件

天和貳年 戌二月十四日

長濱村名主 四郎左衛門

三七〇

請取申米之事

合貳表者 但三斗七升入

右是者長濱村百姓飢ニ及申由ニテ木村源右衛門様へ訴訟仕、右之御米御拜借申ニ付木負村去酉之御年貢米之内請取、長濱村へ相渡シ申候、重而拂ニ相立可レ被レ申候、爲其如件

天和貳年 戌二月十五日 土屋宗右衛門(印)

木負村名主 徳兵衛殿

同所年寄 權三郎

同所組頭 平右衛門

土屋惣右衛門殿

如レ斯ほとむらかミニテ御したため早々御遣可レ被レ成候、尤御判形被レ成可レ被レ遣候

三七二

乍恐御訴訟申上候御事

- 一伊豆之國內浦之内六ヶ村網戸場浮役定納ニ差上申候
- 一米貳拾三石貳斗五升貳合 定納海役 三津村
- 一米拾貳石七斗六升壹合 同斷 小海村
- 一米拾八石ハ 同斷 重寺村
- 一米四拾四石壹斗五升四合 同斷 長濱村
- 一米拾六石五升 同斷 重須村
- 一米五石七斗壹升 同斷 木負村
- 米合百拾九石九斗貳升七合

右之通、六ヶ村海役米定納ニ差上、其上六ヶ村船役永七貳貳百貳拾四文高下役年々相動、其上魚引申候ヘハ御改之上、魚高を以、三ヶ一、魚引申候度毎ニ代物ニ而、御公儀様江被ニ御召上ニ重ニ之御役相動、殊ニ地方御年貢并ニ諸役之義者萬御國なみニ相動申候、其上魚獵連ニ無ニ御座候ニ付網戸百姓何角賣代替、浮役米辨ひ差上ケ申候ヘ共最早近年者浮役米相動申義不ニ罷成ニ困窮仕、殊ニ未進重リ何共可仕様無ニ御座候、并之國浦ニ獵場、又伊豆之國浦ニニも浮役米無ニ御座、魚三ヶ一被ニ御召上候、拙者共六ヶ村斗諸浦ニ相替り重ニ之

浮役仕、年々百姓退轉ニ罷成候、ちかき御請負之浮役ニ御座候ハ、御訴訟申上ケ間敷候ヘ共末々之もの退轉仕、迷惑ニ奉レ存候、年々御代官様へ御訴訟申上候、殊ニ御國廻様方御通り之度々御訴訟申上候、もはや御役米御上納可仕ちからも無ニ御座罷成候間、御定納浮役米御救免被レ爲レ成被レ下候ハ、難レ有奉レ存候、若左様ニも無ニ御座候ハ、右六ヶ村網引場乍恐、御公儀様江差上申度奉レ存候、永ニ困窮仕、相動申候、ケ様ニ申上候義、乍恐御了簡奉レ願候、偏ニ御慈悲奉レ守候、以上

天和貳年 戌二月

伊奈兵右衛門御代官所 伊豆之國三津村網戸持

- 小海村網戸持 治兵衛(印)
- 重寺村網戸持 彌惣右衛門(印)
- 同所同斷 六左衛門(印)
- 長濱村網戸持 四郎左衛門(印)
- 重須村網戸持 儀太夫(印)
- 木負村網戸持 徳兵衛(印)
- 惣網戸百姓

御奉行様

三七二

天和貳年

長濱村飢人御改帳

戌二月

長濱村

家數三拾四軒内 三拾軒ハ本百姓 四軒ハ水吞百姓

此人數百七拾貳人

此わけ

- 高 一壹軒人數四人内 三人女青腫 本百姓 金兵衛
- かり在家 一壹軒人數三人内 一人男青腫 水吞百姓 權兵衛
- 高六斗壹升内 三斗八升四合賣申候御年貢ハ買人方勤申候
- 一壹軒人數四人内 一人男飢死年五十三 加左衛門
- 一壹軒人數四人内 一人女同斷年四十八

〔ハッ懸〕 高貳斗貳升六合 一軒人數四人内 但シ先規ハ高六斗壹升持申候、内三斗八升四合當所へ賣申候、御年貢諸役買主方出シ申候、殘高貳斗貳升六合只今〇〇候

かり在家

一壹軒人數貳人内 一人女青腫 水吞 たれ後家

高五升七合 一壹軒人數五人内 一人男青腫 一人女同斷 本百姓 商人 八郎右衛門

かり在家 一壹軒人數貳人内 一人男青腫 飢死年五十一 水吞百姓 長右衛門

高六升 一壹軒人數三人内 一人男青腫 一人女同斷 本百姓 與惣左衛門

高壹斗貳升七合 一壹軒人數三人内 一人男青腫 一人女同斷 本百姓 七左衛門

高壹石三升九合 一壹軒人數七人内 五人男青腫 一人女同斷 本百姓 五郎左衛門

高七斗貳升 一壹軒人數貳人内 一人男青腫 一人女同斷 本百姓 平四郎

高五升三合 一壹軒人數三人内 一人男青腫 一人女同斷 本百姓 太郎助

高壹石貳斗四升内 四斗八升賣申候但買人方御年貢納申候

一壹軒人數七人内 一人男青腫 一人女同斷 市兵衛

高貳斗七升 一壹軒人數貳人内 一人男青腫 一人女同斷 本百姓 才兵衛

高壹斗貳升七合 四人男青腫
 一壹軒人數七人內 三人女同斷
 本百姓 長兵衛
 高四斗壹升 壹人男青腫
 本百姓 十三郎
 一壹軒人數貳人內 壹人女同斷
 本百姓 作之助
 高貳石壹升四合內 壹石五斗三升四合賣申候但買人方年貢納申候
 一壹軒人數七人內 三人男青腫 二人女同斷
 角左衛門
 高壹石壹斗九升六合 三人男青腫
 一壹軒人數五人內 二人女同斷
 本百姓 八左衛門
 高三斗六升四合 三人男青腫
 一壹軒人數五人內 二人女同斷
 本百姓 庄右衛門
 高六升七合 壹人男青腫
 一壹軒人數貳人內 壹人女同斷
 本百姓 七郎兵衛
 高三斗三升七合 壹人男青腫
 一壹軒人數三人內 二人女同斷
 本百姓 兵左衛門
 高貳斗八升 貳人男青腫
 一壹軒人數四人內 貳人女同斷
 本百姓 吉右衛門
 人數八拾一人內 拾人男青腫 五人女同斷 五人男青腫 五人女同斷
 本百姓
 人數九人內 壹人男青腫 壹人女同斷 壹人男青腫 壹人女同斷 壹人男青腫 壹人女同斷 壹人男青腫 壹人女同斷
 水吞百姓

二口合九拾人 寺貳ヶ寺
 人數三人
 右之通、相違無御座候 以上
 天和貳年 長濱村名主
 戊之二月 四郎左衛門(印)
 御代官様 權三郎(印)
 平右衛門(印)
 家數廿三軒內何拾軒 本百姓
 此人數 何人男青腫 何人女同斷 何人男青腫 何人女同斷 何人男青腫 何人女同斷 何人男青腫 何人女同斷
 人數何拾人內 何人男青腫 何人女同斷 何人男青腫 何人女同斷 何人男青腫 何人女同斷 何人男青腫 何人女同斷
 家何拾軒ハ内何軒ハ 本百姓
 此人數何拾何人ハ飢人無御座候
 何ヶ所 寺
 此人數何人ハ飢人無御座候

三七三 請取申米之事 但黑米也
 米壹升三合
 右是ハ朝鮮人御用之御肴之儀ニ付浦、^浦通り刻、上下
 貳人之扶持米ニ請取申候、三合ハ鹽味之代也、以上
 天和貳年戊八月十一日 大和七郎右衛門(印)
 長濱村 四郎左衛門殿
 三七四 戊之年長濱村御年貢可納割付之事
 一高四拾三石五斗三升五合 田畑屋敷共
 此わけ
 上田六反八畝廿六步 内貳畝步 當荒
 殘わけ
 三反九畝廿六步 四斗五升取
 此取壹石七斗九升四合
 貳反七畝步 下毛 貳斗三升取
 此取六斗貳升壹合

中田七反七畝四步 内三畝廿五步 古荒
 殘わけ 三斗五升取
 四反三畝九步 此取壹石五斗壹升六合 壹斗八升取
 三反步 下毛
 此取五斗四升也 内六畝拾六步 古荒
 下田六反八畝拾貳步 殘わけ 貳斗五升取
 三反六畝廿六步 此取九斗貳升貳合 壹斗三升取
 貳反五畝步 下毛
 此取三斗貳升五合 内四畝三步 古荒
 上畑五反七畝拾壹步 殘五反三畝八步 貳斗七升取
 此取壹石四斗三升八合 中畑七畝九步 内廿步 古荒
 殘六畝拾九步 此取壹斗四升六合 貳斗貳升取
 下畑九反三畝廿四步 内三反六畝七步 古荒
 殘三反九畝廿三步 亥ノ水押倉荒
 此取六斗七升六合 七斗取
 屋敷六反六畝六步
 此取四石六斗三升四合
 取米合拾貳石六斗壹升貳合

外浮役

一米貳拾五石貳斗六升貳合 定納御香肴錢
 一米七石七斗八升八合 同 節季錢
 一米壹石壹斗五升ハ 同 歲暮錢
 一米六石四斗九升ハ 同 網戶錢
 一米三石四斗六升四合 同 夫錢
 一永貳拾五文 鐵炮查挺役

右如_レ新相定上_レ霜月廿日を切_レ急度可_レ致_レ皆濟_レ若_レ其通於_レ無沙汰_レ者謹實_レ以可_レ申付_レ者也、仍如件

天和貳年戌霜月十日

伊兵右(印)

名主百姓中

三七五

乍恐口上書を以御訴訟申上候御事

一長濱村之儀ハ田畑屋敷共ニ有高三拾九石余御座候而釣獵も不_レ仕、立獵斗ニて村中大小之百姓身命をつなき申候所ニ久_レ立獵不_レ仕、浮役御年貢た_レまり申_レ付去年未進御穿鑿被_レ爲_レ遊候故、去年當年來年迄三年ニ御上納可_レ仕と奉_レ願候得_レ難_レ有願ひ之通被_レ

爲_レ仰付_レ被_レ下候得共去年_レ永_レ之飢饉、獵も一圓不_レ仕、當春夏中度_レ御拜借被_レ爲_レ仰付_レ命助_レ難_レ有奉_レ存候得共右之仕合ニ御座候故、願ひ御訴訟之儀爲_レ罷成迷惑仕候御事

一拾ヶ年以前迄ハ大小之百姓數四拾軒余御座候所ニ連々草臥、取わけ三年以來彌退轉仕、只今貳拾軒余ニ罷成、御年貢御役難_レ勤奉_レ存候、退轉日記御手代様へ指上_レケ申候御事

一年_レ御厚恩ニ罷成、身命つなき罷有候へ共近年立獵不_レ仕、其日之すきあひも不_レ罷成、自分之儀ハ何分ニ罷成候共いとひ無_レ御座候、ケ様ニ年_レ御年貢未進た_レまり申候而ハ殿様御難儀ニも罷成可_レ申かと乍_レ恐奉_レ存候、只今及_レ退轉ニ御難題かましき申上様ニ御座候へ共一村御追放被_レ爲_レ遊百姓御入替被_レ爲_レ遊候共少も御恨と不_レ奉_レ存候、乍_レ此上_レたとへ今日ニも立獵仕候ハ、濱御役人様御改之御帳面之通、魚壹本も散シ不_レ申指上_レケ拙者共勝手ニ仕間敷候、此段爲_レりニも被_レ爲_レ思召_レ候ハ、神文致指上_レケ可_レ申候間、何分ニも御了簡奉_レ仰候御事

右之通一村退轉ニおよひ候ニ付御手代様へ委細ニ申上候間、此上之儀ハ何分ニも御了簡奉_レ守候

右之通、此上之儀ハ何分ニも御慈悲奉_レ守候、以上

天和貳年戌霜月十日

伊兵右(印)

名主百姓中

天和貳年戌十一月

長濱村名主 四郎左衛門

御代官様

ひかへ

三七六

請取金子之事

合貳兩壹分者 但小判也
 右是者三嶋宮金利益之由、戌ノ年分納ル者也、仍如件

天和貳年戌ノ十二月十二日

伊 宜徹(印)

長濱村名主百姓中

三七七

請取金子之事

合三兩者 但小判也
 右是者長濱村跡_レ未進金之内、三津村七郎左衛門分納者也、仍如件

天和貳年戌ノ十二月十九日

伊 宜徹(印)

長濱村名主百姓中

三七八

請取申金子之事

一金拾五兩壹分者 午ノ石代ニ納
 一金拾三兩貳分者 未ノ石代ニ納
 一金拾壹兩者 申ノ石代ニ納
 一金拾九兩京四百八拾五文 酉ノ石代ニ納
 四口合五拾八兩三分京四百八拾五文
 右之通、亥ノ春兩付未進帳仕上_レケ申_レ付壹年切ニ勘定仕、手形如_レ此ニ候、重而新庄森右衛門手形ニ引か_レ可_レ有_レ之候、以上

天和三年亥ノ

土屋宗右衛門(印)

四月十六日 長濱村名主四郎左衛門殿

三七九
(五紙共三枚)

(五紙)

天和三年
長濱村立獵書上
亥閏五月

長濱村

魚數百本

- 二 神
- 四 きり向
- 二 みね
- 四 あんこもらい
- 二 へら取
- 三 なます
- 五 是ハ高下物
- 同断

二 同断

十 同断

合三拾四本

殘六拾六本

高六拾六本

内

九本九分

殘五拾六本壹分有

内

十八本七分

貳本六分

是ハあま方之内ニ面差上申候

右書上仕候通り先規ハ水高ニ而三ヶ一海士方へ諸事入用ニ被下候、殘ハ三ヶ二高ニ仕差上申候
天和三年
壬五月

御代官様

是ハ殿様へ上申候留

舟

(萬酒) 小拂

諸引

御三ヶ一
御もらい

權三郎
平右衛門
四郎左衛門

三八〇

乍恐御訴訟申上候事

一重寺小海三津長濱重須木負右六ヶ村浮役定納米指上ケ申御事、百姓年々草臥退轉ニ罷成候、殊ニ諸浦ニ替り重役ニ御座候ニ付去年者 御公儀様へも罷出、御訴訟申上候へ共御許容無御座ニ迷惑仕候、右定納浮役米御上納可仕立も無御座ニ困窮仕、無是非次第ニ罷成候間、偏ニ御慈悲を以、御赦免ニ預り百姓相勤申度奉存候、然共定納浮役米御赦免難レ被レ爲レ成義ニ御座候ハ、御入國之砌、米之直段永百文ニ付米五斗替仕候由、其節永を米ニ御直シ被下候と申傳候、乍レ憚其積リニ御直シ被下候ハ、難レ有可レ奉存候、永ク百姓相勤申様ニ偏ニ御慈悲奉レ守候、以上

天和三年

亥六月

- 重寺村名主 彌惣右衛門(印)
- 同所網戸持 六左衛門(印)
- 小海村名主 八郎左衛門(印)
- 同所網戸持 伊兵衛(印)
- 三津村名主 傳左衛門(印)

御代官様

三八〇—三八一

同所網戸持

七郎左衛門(印)

同断 久左衛門(印)

同断 甚兵衛(印)

長濱村名主 四郎左衛門(印)

同所網戸持 權三郎(印)

重須村名主 仁右衛門(印)

同所網戸持 久兵衛(印)

同断 儀太夫(印)

木負村名主 徳兵衛(印)

同所網戸持 善右衛門(印)

三八一

乍恐願書を以御訴訟申上候御事

一長濱村居屋敷反歩六反六畝六歩御座候内、三反三畝拾壹歩近年百姓退轉仕、拾六軒明屋敷ニ罷成候間、

三八二
〔表紙共五枚〕

百姓有付申内屋敷成畑ニ被レ爲レ遊可レ被レ下候。右之屋敷反歩水帳ニ壹歩も違無御座。小日記別紙ニ指上ケ申候御事 直シ

一當田作之儀、御檢見被レ爲レ遊候通ニ御座候へ共高山影猪口、殊ニ海かせき節ニ無御座。及ニ飢命申候へ共退轉百姓許立申度奉レ存候間、御取ケ之儀も御指引可レ被レ下候御事

右之通奉願候、長濱村之儀者御年貢未進者大分仕、百姓者退轉仕候へ共是悲村中百姓居立申度奉レ存候間、此上之儀者何分ニも御介抱之御慈悲奉レ守候、以上

長濱村名主

四郎左衛門(印)

同所年寄

平右衛門(印)

同町年寄

權三郎(印)

同所長百姓

忠三郎(印)

同斷

德兵衛(印)

同斷

七兵衛(印)

同斷

善兵衛(印)

同斷

文右衛門

御代官様

三八二
〔表紙〕
刈敷山一件繪圖面御裏書控
名主 喜藤次

安政元寅年地震津波ニ付御本書流失ニ付同四年巳六月中木負村より借用仕寫置候

一重須村野山、先年者入込ニ馬草刈敷刈來候處、近年山を留、馬草刈敷爲レ刈不申迷惑仕候由、木負村之者訴訟申ニ付双方合ニ詮議ニ處、先年者重須村ニ鹽釜御座候而爲ニ鹽燒ニ薪重須村ノ伐り出し候枝木薪御留被レ成候由之繪圖證文出之、伊豆國小田原持之節、倉

地源太左衛門と申者、平澤久連木負河内重須村迄令ニ知行ニ付右之村ニ鹽釜役源太左衛門江納候ニ付御入國已來茂差上候と相聞候、然ル處ニ五十八年巳前寅年大久保六右衛門殿御廻り之節、右之村ニ而鹽燒不申ニ付御訴訟仕候得者御詮議之上、御赦免被レ成候と相聞へ候、然者鹽木之ため御留メ被レ成候山ニ候間、鹽釜御赦免之上者山留候儀難ニ心得候

一三拾四年以前古兵藏時分ニ重須村之内三福澤之義入込之内、木負村ノ申出及ニ公事ニ對決之上、木負入込ニ刈候義、無用之由、申付之由申候、三福澤令ニ見分候處、田方五ヶ所ニ相見へ候、其上林茂少ニ有レ之候、入込ミ山ニ候者御判 田方林有レ之間敷候、彼之田近年發シ候場ニ無レ之、五十三年以前辰年小林彦五郎出シ候割付ニ相見へ候得者三十四年巳前茂可レ有レ之候、然ル上者入込と難ニ申付候

一鞍置山尤重須田地取廻し有レ之林茂有レ之候間、入込與者難ニ申付候
一西之方田地有レ之處林茂有レ之候、河内山境迄者入込と難ニ申付候

一中尾之峯々南大澤境大道通り西者河内山境東ハ大澤より重須へ通り道之峯切ニ小畑猪あな此内ニ者林

無レ之所、木負村重須村并前ニ入來り候村ニ可レ爲ニ入込山繪圖ニ墨引判形加へ双方へ渡置者也
天和三癸亥年十一月七日 伊奈兵右衛門印
三八三

證文之支

一禪長寺御手前入用ニ付山登ケ所之立木、金子四兩貳分ニ久連村平左衛門ニ御賣被レ成候ニ付金子御入用も御座有間敷と存、立木御賣候ニ御無用と旦那共申上候、御腹立ニ成候故、旦那を離れ引申候へハ今度御代官様へ被レ仰立候、其以後古宇村其右衛門たれ御座候被レ成候様ハ禪長寺と和談いたし禪長寺旦那ニ罷成、其上御 朱印之地ニ御座候へハ立木御賣候事、旦那講ニ不申候答ニ相定申候故ハ何ニ而も申分無御座候、爲後日證文仍如件

天和三年 亥十一月

三八四

亥之年長濱村御年貢可納割付之事
一高四拾三石五斗三升五合

田畑屋敷共

此わけ

上田六反八畝廿六歩 内貳畝歩

申ノ川欠

殘六反六畝廿六歩

五斗取

此取三石三斗四升三合

中田七反七畝四歩

古荒

殘七反三畝九歩

四斗取

此取貳石九斗三升貳合

下田六反八畝拾貳歩

古荒

殘六反壹畝廿六歩

三斗取

此取壹石八斗五升六合

上畑五反七畝拾壹歩

古荒

殘五反三畝八歩

貳斗七升取

此取壹石四斗三升八合

中畑七畝九歩

古荒

殘六畝拾九歩

貳斗貳升取

此取壹斗四升六合

下畑九反三畝廿四歩

古荒

殘三反九畝廿三歩

壹斗七升取

此取六斗七升六合

屋鋪六反六畝六歩

此わけ

三反三畝拾壹歩

常安ノ上畑ニ成ル

貳斗七升取

此取九斗壹合

三反貳畝廿五歩

七斗取

此取貳石貳斗九升八合

取米合拾三石五斗九升也

外浮役

一米貳拾五石貳斗六升貳合

定納御番香錢

一同七石七斗八升八合

同 節季錢

一同壹石壹斗五升ハ

同 歲暮錢

一同六石四斗九升ハ

同 網戸錢

一同三石四斗六升四合

同 夫錢

一永貳拾五文

鐵炮壹挺役

右如ノ新相定上者極月廿日を切而急度可致ニ皆濟ニ若其通於ニ無沙汰ニ者謹責ヲ以可ニ申付ニ者也

天和三年亥ノ十二月 伊兵右(印)

名主百姓中

三八五

亥之年長濱村御年貢納目録

一米三拾九表三斗貳升五合 本途取米千米口米共ニ

但三斗七升入

此代金拾貳兩貳分京八百七拾九文 金納皆濟

但金壹兩ニ計立壹石壹斗六升

一金四拾貳兩壹分京八百拾六文 定納浮役高下船役共ニ

但浮役米金納右同前段

内金壹分京百貳拾壹文

納ル

殘金四拾貳兩京六百九拾五文 未進別紙ニ書文上ル

右之通、勘定出入相違無之者也、仍如件

天和四年子ノ三月二日

伊兵右(印)

伊藤宜徹(印)

長濱村名主百姓中

三八六

戊之年長濱村御年貢納目録

一米三拾七表三合但三斗七升入 本途取米千米口米共ニ

此代金拾貳兩壹分京三百四拾四文 金納皆濟

但金壹兩ニ計立壹石壹斗壹升ハ

屋鋪六反六畝六歩

此わけ

三反三畝拾壹歩

常安ノ上畑ニ成ル

貳斗七升取

此取九斗壹合

三反貳畝廿五歩

七斗取

此取貳石貳斗九升八合

取米合拾三石五斗九升也

外浮役

一米貳拾五石貳斗六升貳合

定納御番香錢

一同七石七斗八升八合

同 節季錢

一同壹石壹斗五升ハ

同 歲暮錢

一同六石四斗九升ハ

同 網戸錢

一同三石四斗六升四合

同 夫錢

一永貳拾五文

鐵炮壹挺役

右如ノ新相定上者極月廿日を切而急度可致ニ皆濟ニ若其通於ニ無沙汰ニ者謹責ヲ以可ニ申付ニ者也

天和三年亥ノ十二月 伊兵右(印)

名主百姓中

一金四拾四兩壹分京貳百九拾三文

定納浮役高下船役共ニ

内金拾壹兩貳分京六百五拾貳文

納ル

殘金三拾貳兩貳分京六百四拾四文 未進別紙ニ書文上ル

右之通、勘定出入相違無之者也、仍如件

天和四年子ノ三月十二日

伊兵右(印)

伊藤宜徹(印)

長濱村名主百姓中

三八七

指上ケ申證文之事

一今度御代官替リニ付跡々御年貢拂勘定被ニ仰付候、則拂札を以、勘定相究メ出入相違無ニ御座候、然共去ル拾四年以前亥之年満水以來、田畑作毛、迷惑仕候所ニ又候申酉兩年之風損ニ逢、在ニ因窮仕、其年切ニ御年貢皆濟不罷成ニ越ニ御勘定仕來り候、此度拂勘定被ニ仰付ニ未進大分ニ御座候

一金四百五拾六兩貳分京八百七拾貳文

定納浮役金御年貢未進負(印)

右之通り未進仕候儀、紛無ニ御座候、則負判付指上ケ

申候、此度皆濟仕候へと御催促被遊候へ共惣而畑少分之在、ニて小高之百姓共山遠ク罷成、稼ニ逢不申候ニ付雜□持不申、夫食ニ指詰り其上當村之儀者浦方一遍之稼、海獵斗足りニ仕、年々浮役御年貢諸役共ニ勤來り申候所ニ打續海獵一圓無御座、百姓共退轉仕候者、數多御座候而當分皆濟難成奉存候、海獵一圓無御座候間、大分之浮役金、年々御上納可仕様無御座、年々未進ニ罷成申候、奉願候者當年御延被成可被下候、御替り被遊候而も大切之御年貢金之儀ニ御座候へハ少も御如在仕間敷候、爲後日一證文仍如件

天和四年
子ノ三月

長濱村名主

四郎左衛門

同所年寄

平右衛門(印)

同所長百姓

權三郎(印)

御代官様

三八八

指上ケ申證文之事

一金百六拾壹兩貳分京八百九拾七文

長濱村名主

四郎左衛門未進負

一同六拾八兩壹分京八百八拾文同所長百姓權三郎未進負(印)右之通未進仕候儀、紛無御座候即負判ヲ付、別紙ニ面付ケ小帳ニも判形仕、指上ケ申候、此度急度皆濟仕候へと御催促被遊候へ共當分皆濟難罷成迷惑仕候、面付ケ之未進帳指上ケ申候通り名主長百姓大分未進ニ罷成申候、奉願候ハ當年御延可被下候、田地山林家財賣立候へ而成共無滯皆濟可仕候、浦方之儀ニ御座候へハ海獵無御座候而年々因窮仕、大分之浮役御年貢未進負ニ罷成申候、何共海獵仕候ハ、其節ハ一同ニ不殘御皆濟可仕候、御替り被遊候而も大切之御年貢之儀ニ御座候間、少も御如在なく急度御上納可仕候爲後日一證文仍如件

天和四年
子ノ三月

長濱村名主

四郎左衛門

同所長百姓

權三郎(印)

御代官様

貞 享 正 德 (自三八九至五〇五)

【貞享】元 澁川春海新曆(貞享曆)を撰進す 二 長崎貿易の額を定む 四 生類憐の令を下す 土地賣買を禁ず 東山天皇即位

【元禄】三 小普請金上納の制を令す 四 日蓮宗悲田派を禁ず 八 切支丹類族を定む 金貨改鑄の令を發す 諸國鐵山採掘を奨励す 九 金銀箔の商賣に關する令を下す 新古金銀財引替私鑄製造に關する令を下す 海内輿地圖を校正せしむ 一〇 舊金銀貨幣を悉く新鑄貨幣と交換せしむ 地圖改訂を命ず 新鑄二米判通用に關して令す 關東大地震 酒屋運上を賦課す 一一 金銀銅鐵試採の命を頒つ 一四 質屋條令を定む 貨幣兌換價格の令を申す 一五 令して新舊貨幣兌換を促す 物價低減及び造酒令を下す 全國繪圖成る 一六 關東大地震

【寶永】二 供御の料一萬石を増獻す 諸藩に命じ封内紙幣發行額を録せしむ 三 新舊貨兌換の令を下す 寶字銀を鑄す 柳澤吉保に用金鑄造を允す 再び質屋規則を令す

日蓮宗三島派の僧を罰す 四 諸國大地震 貨幣改鑄令 田圃典賣を禁ずる令を發す 富士山噴火、山腹に寶永山を生ず 五 京都錢座に大錢を鑄る 大錢に係る令を下す 六 大錢を廢す 生類憐の令を廢す 金銀改鑄の令を下す 酒運上箔運上を廢す 七 蘭人に通商の制を與ふ 金銀改鑄令を下す 武家法度を頒つ 奉公人受宿の制を定む 中御門天皇即位 將軍、琉球使を引見す

【正徳】元 家宣、朝鮮使を引見す 二 道中人馬の制を定む 沿海廻船に付き令あり 新銀改鑄を停め古銀元祿銀等を混用せしむ 三 新錢鑄造大錢改鑄の延期を命ず 新金改鑄を命ず 徳川家繼將軍宣下 諸國銅山の銅を大阪に送り長崎に廻送して外國貿易に資せしむ 銀錢改鑄の令を下す 四 新銀鑄造を停め銀座の輩數人を罰す 家繼、琉球使を引見す 五 長崎貿易の新令貿易年額唐船三十艘銀六千貫蘭船二艘銀三千貫とす 新金引替に係る令を下す 酒造の高を制限す

貞享元年
三津村覺書
子ノ六月

三津村
一 高百六拾貳石八斗ハ
五石九斗壹升五合
内三石五斗五升八合
八斗貳升ハ
殘テ百五拾貳石五斗七合
是ハ文祿三年午ノ八月彦坂小刑部様御手代衆御繩之由
外
一米貳拾三石貳斗五升貳合
是ハあんと場三ヶ所之浮役
御繩辻
古荒引方
近年荒引方
御陣屋敷引方
御番肴錢
同夫錢共ニ
一 村領内 東西貳町四拾間餘
南北四町半餘
一家數七拾八軒 内三拾九軒ハ
三拾七軒ハ
本百姓
水吞百姓
者

一 男女數三百六拾六人 内 貳百人 坊主
貳百人 男
一 馬貳疋 醫者
一 宮四ヶ所 内 壹ヶ所ハ大明神 壹ヶ所ハ愛宕方 壹ヶ所ハ天 壹ヶ所ハ彌宜 壹ヶ所ハ彌宜 壹ヶ所ハ彌宜
大明神壹ヶ所ハ除地殘三ヶ所ハ山ニ御座候
壹ヶ所ハ伊豆國奈古屋村善清寺末寺 濟家宗淨因寺
壹ヶ所ハ同國北條村光照寺末寺 淨土宗林正寺
壹ヶ所ハ京知恩院末寺 同 宗來迎寺
壹ヶ所ハ相模國藤澤清淨光寺末寺 時 宗海正寺
右淨因寺寺内六百七拾七坪除地ニ御座候
殘三ヶ寺者御年貢地ニ御座候
一 村中ニ御朱印寺社無ニ御座候
一 村中ニ牢人者壹人も不ニ罷有候
一 醫者貳人 本道
但シ壹人ハ快庵と申ししや廿五年以前、慥成請人
御座候而江戸ハ當村ハ參居住いたし候、壹人ハ當
村氣水と申人ニ而御座候
一 辻堂壹ヶ所 但庚申堂
淨因寺支配敷地除

一 御藏壹ヶ所 長四間 横貳間 萱ふき

御藏番之儀、定置不_レ申、郷中ニ而廻り番ニ家別ニ仕候、御藏屋敷壹反六畝廿步除地ニ而御座候

一 高壹石九斗貳升四合 當村高之内、長濱村ノ入作、是ハ御繩請候而入作

一 高三百三拾貳石六斗五升四合 村ニ買地出作ノ分 是ハ其村地主并小作ニ預ケ置申候 但高壹石ニ付三兩壹分宛

一 御年貢米江戸廻シ當村湊々江戸へ積廻し申候、御運賃四分五厘、但七八百九百俵積壹艘ニ壹人宛海上上乘金三分宛ニ而頼越申候、年ニ高下御座候

一 江戸御藏納才料ハ三津組中相談以ニ入札ニ成者越申候、賃金千俵ニ而金三兩、年ニ四五兩まで此外壹表ニ登升宛テ米越申、江戸御藏納以前海中損失ハ御公儀様御損之例ニ御座候

一 三嶋瓦御藏詰米無_ニ御座候

一 餅米紺犬、○ノ木掛り御割付次第、代出し申候、餅米○ノ木代跡ハ百性方ノ江戸請合之者江持セ越申候處ニ近年ノ御手代衆御請取被_レ成候、餅米之儀者御手代衆へ前ニ上納仕候

一 當村ニ御陣屋御座候而御修覆御入用之儀、内浦千石ニ而割掛り申候、御陣屋守佐平次給分無_ニ御座候

一 籠笹竹杭木前々出シ不_レ申候
一 大工貳人 但跡ニ御公儀様御用之節ハ罷出御役勤申候、御扶持方被_レ下候へとも跡とも極り無_ニ御座候ニ覺へ申候
一 御林村中ニ無_ニ御座候

赤土
一 田方ニ者猪はり申候故わせ方毛白稻多作り申候 但三津村之儀者天水場ニ御座候へ者雨降申候時分植申候、種ハ壹反ニ付八九升程宛蒔申候、こやしは壹反ニ付期敷貳拾駄斗宛入申候、右田方之内壹町四反余用水場御座候、此水長濱村之内、水上ケと申所ノ先規ノ引來り申候

はい土
一 畑方ニ者麥、秋作ニハ粟稗作り申候、こやしハしもこひ若ハ鰯とれ申候へ者入申候、麥種壹反ニ付壹斗貳三升程宛蒔申候

一 荒起かへり之場并新田新畑ニ可_レ成所、村中ニ無_ニ御座候

一 田方天水所ニ而日損かちニ御座候、勿論畑も日ニいたミ申候

一 かいこ不_レ仕、きぬつむき綿緒うるし無_ニ御座候

一 村中ニ茶畑一圓無_ニ御座候

一 四壁ニくりかき無_ニ御座候

御陣屋敷ニ罷有諸役ゆるし置申候

一 三嶋御鷹部屋并御殿御入用入足、其外諸色跡々かゝり高之内九拾石六合引石御座候而殘高七拾貳石七斗九升四合ニ而相動申候

一 内浦組大名主重須村久兵衛給分、三津村之儀者百石ニ付貳朱宛出し申候

一 當村名主給分、米六俵半宛出し申候

一 組頭壹人給分、壹年ニ金貳分宛ニ而御座候

一 三嶋籠番給、高割ニ而出シ申候

一 御年貢米納并取定使仕候給分、三俵半ツ、とらせ申候、但高割ニ出シ申候

一 三嶋助馬一切出し不_レ申候

一 石代金三分一宛納來り申候

一 往還長濱境ノ長瀬境迄拾四町半、道惡敷罷成候へ者當村人足斗ニ而作り來り申候

一 堤川除御普請無_ニ御座候

一 網戸場浪よけ島三ツ御座候へ共是又郷人足ニ而埒明申候、右三ヶ所之嶋、去ル亥ノ年申ノ年兩年大しけ之時、崩れ申候而船つなき場浪よけ島無_ニ御座候へ共村中衰微いたし罷在候ゆへ于_レ今石かき不_レ申候

一 河除御人足高割ニ而被_ニ仰付候へ者前々何方までも出シ申候、是も引石ヲ引殘高ニ而出し申候

一 村中ニ櫛柑之木七本御座候、七年以前御見分請候へ共前後上り無_ニ御座候

一 馬草薪、長瀬山へ前々入會ニ御座候而取來申候、山御年貢ハ無_ニ御座候

一 雜穀者所ニ而被_レ下候程無_ニ御座候 三津村半分ハぼていふりニ而在ニ江罷出、鹽鬮など賣候へて雜石ニ代替、其日くらし仕候、殘者ハいさは商人并あんこ、又上方ノ之米鹽之間屋三軒御座候

一 野菜村中ニ而被_レ下候程無_ニ御座候、野山ニてかん葉〇之葉其外ツミ草取候て給申候

一 板材木其外山かせき無_ニ御座候

一 鐵炮壹挺 久左衛門持 但御運上壹挺ニ付永廿五文宛出シ申候

一 村中ニ先年酒作り前之石め書上ケ申候もの貳軒御座候、其者共當分濁酒作り上酒ハ不_レ仕候

一 村中ニ橋無_ニ御座候

一 作少分ニ而常々男女之かせき色之儀仕、其日くらし仕候へ共かせきニあい不_レ申候

一 佗國江罷出候商人無_ニ御座候

一 古種かり借り不_レ申候 其兵衛と申者かり申候 但利足之儀者壹わり半、壹年ニ貳兩壹分每年利足

上ケ申候、此もの田地高五斗四升壹合、舟之儀ハ
 かり舟仕候あんと持ニ御座候
 一六尺給米年、御割付次第上納仕來り申候
 一箱根道作り人足當村者一切出し不申候
 一御用木ニ可ニ罷成ニ櫻楓松杉大木一切無ニ御座候
 一御茶御看立歸り賃錢百石ニ付京貳百拾八文宛出シ申
 候
 一薪御拾分一青石廿分壹
 是ハ十一ツと御運上割上ケ來り申候、但青石ハ戸
 澤村ハ出申候、長三尺は、壹尺あつさ貳寸五分、
 直段之儀ハ山本金壹兩ニ付百四拾枚かへ時ニ直
 段高下御座候、駄賃當村湊迄百本ニ付壹分三百文宛
 廿分一御運上之儀ハ買人方ハ出し申候、薪ハ近郷
 又百性居林ハきり出し賣申候、船持共買御拾分一
 出し江戸廻し仕候
 一立魚御運上三分一但内外なし
 一釣魚御運上拾分一但内外なし
 一ゆわし・ふり・いなた・はかつを・やへはら・さわ
 ら其外數ニ御運上無ニ御座候
 一かつこ舟御運上壹尋ニ付永三拾文宛出シ申候
 但舟數之儀ハ年々出來不足御座候
 一綱引舟三艘、是も右同斷

一網引場三ヶ所此浮役御年貢壹ヶ所ニ付七石七斗五升
 六勺宛惣米高六拾六俵壹斗五升貳合定納御役仕候
 一江戸廻船貳艘 但九百俵ツミ但壹艘 八人乗 舟主
 七郎左衛門壹人ニて御さ候 舟役水主壹人ニ付永百
 文宛出し申候
 一御茶鯛當村者上り不申候
 一寄荷物ひろい申候へ者何と書立、濱ニ札を立置ひ
 ろい申候もの半年預り荷主出來不申候ハ御注進
 仕、ひろい申もの取申候、半年之内荷主出來候へ者
 御定之通、浮荷物ハ廿分一、沈荷物ハ拾分一、ひろ
 い申者取之、荷物相渡シ荷主方ハ證文取置申候事
 一沖ニ而難風ニ逢、荷物拾參候舟有之之時分ハ船頭名主
 ニ斷申ニ付所ハ番等晝夜付置、濱御役人様江御注進
 申上候、御 公儀様御荷物不及ニ申上ニ御大名様方
 御荷物ニて御座候ハ御役人様名主組頭立合、舟頭
 水主色ハ吟味仕、口上證文取置、殘荷物相改、浦手
 形相認御役人様御裏書被成、船頭ニ相渡し、町人荷
 物之時分ハ御斷斗申、所之者番ニ付、荷主參次第、
 名主組頭立合荷物相改候、右同前ニ證文取、浦手形
 出シ申候
 一大嶋八丈其外御留嶋へ舟通路不仕候、勿論村中好身
 縁者無ニ御座候故、狀文取替不仕候

一諸廻船難風ニ逢申候節ハ助舟出し申候事
 右之通、少も無ニ相違書上ケ申候、以上
 貞享元年 傳左衛門
 子ノ六月 組頭 市左衛門
 三津村名主
 起證文前書之事
 一薪材木海魚類惣ニ諸色御運上被ニ召上候物之分、御役人衆
 御改被成候、其時ニ拙者立合申ニ付商人獵師其外御分一
 御改ニ付少相違之儀有之候ハ、無ニ隱可ニ申上旨被ニ仰渡
 承届申候間、少成共相違之儀見及聞及申候ハ、毛頭偽なく
 可ニ申上候事
 一諸色御分一被ニ召上候度、御帳面ニ拙者加判仕候上者自然
 御帳面ニ少成共相違之儀御座候ハ、無ニ延慮可ニ申上候
 事 附御分一上候者之方ハ普物一切受用仕間敷候事
 一御役人衆并小者衆少成共御非分儀御座候敷、又ハ依怙最負
 ケ間敷儀御座候ハ、是又少も無ニ延慮可ニ申上候、若口上
 二面申上惡敷候ハ、書付を封シ差上候様ニ被ニ仰渡候
 承届申候間、右之趣毛頭無ニ隱可ニ申上候度
 右之條、雖爲一事ニ於致違犯者 村、名主 神文前書

起證文前書之事
 一拙者共海中獵仕候諸魚御運上之儀其日ノ濱ニ御役人
 衆御改を請、魚品、從前ニ御定之通、御分一指上申候、
 就夫諸魚取申候時分、御改以前、少成共隱シ申間敷候、御
 運上指上申候御役人衆御付被成候御帳ニ拙者共印判仕候
 間、魚高御分一高御帳面少成共相違相見え申候ハ、印判仕間
 敷候事
 一御改請申候刻、魚數少成共偽申間敷候、勿論御改人衆江爲ニ禮
 物ニ魚類者不及申金銀米錢衣類道具酒肴以下少之物成共惣
 而普物一切違申間敷候事
 一御役人衆并小者衆御役目、其外不依何度御非分儀御座
 候敷、又ハ依怙最負ケ間敷儀御座候ハ、少成共延慮可ニ申
 上候、口上ニ面申上惡敷候ハ、書付認、封候差上候様ニ被
 ニ仰渡承届申候、毛頭無ニ隱可ニ申上候度
 右之條、雖爲一事ニ於致違犯者 浦、獵師 前書
 起證文前書之事
 一村、山、方取出申候薪材木竹類石類其外諸色御運上之儀、
 拙者共買取御役人衆御改請品、御分一先規御定之通、差上
 申ニ付毛頭偽り仕間敷候、御役人衆江爲ニ禮物ニ御分一上候
 品、物者不及申ニ金銀米錢衣類道具酒肴以下其外少之
 物成共惣而普物一切違申間敷候事
 附御分一上候度ニ御役人衆御付被成候御帳面ニ拙者
 共判形仕候間諸色御改高并御分一上候高御帳面少成共相

違之儀候ハ、判形仕間敷候事

一御分一御改請舟積仕、湊ニ舟掛置候刻、所之者ハ不_レ及_レ申
近村隣浦之者御運上上り候諸色、小舟ニ積參、賣度と申候
共一切買申間敷候事

一御役人衆ハ勿論小者衆ニ至_レ御役目其外何事ニよらず御非
分_レ成義御座候歟、依怙最負ケ間敷儀御座候ハ、無_レ遠慮
可_レ申上_レ候、口上ニ申出惡敷儀ニ候ハ、書付封シ差上可_レ
申旨被_レ仰渡_レ候間、毛頭無_レ遠慮ニ可_レ申上_レ候事
右之條、雖_レ爲_レ一事_レ於_レ致_レ違犯_レ者
御運上出候者神文
前書

記證文前書之事

一廻船沖ニ難風ニ逢、荷物刳捨、湊江寄船致候儀、隨分入念途ニ
詮儀ニ船頭水主口書を取、殘荷物舟具等少も無_レ相違_レ有體ニ
相改可_レ申候、并湊江入舟其外入掛り惡風ニ破損仕候舟荷
物前々從_レ御公儀様ニ御定浮物貳拾分一沈物拾分一宛之揚
貨、取可_レ申旨、村中惣百姓ニ堅申付置、御條目之通急度相
守、扱_レ取勝_レ不_レ仕、揚荷物其品々ニ應_レ御定之分可_レ取、
殘荷物相渡改正路ニ手形出シ少及相違儀仕間敷候、船頭水
子方金銀米錢衣類道具酒肴以下一切受用不_レ仕、毛頭依怙
最負仕間敷候事

附此旨妻子召仕等ニも堅申付、少之物共受用仕間敷候
事
一廻船湊江參、舟荷物之内、揚ケ賣候儀御座候ハ、能_レ吟味
仕、不_レ審度體ニ御座候物又ハ時之相場方下値ニ賣候儀御座

候ハ、兼_レ村中江、申付置、一切買申間敷候事

一廻船湊ニ掛ケ居舟頭水主博奕惣賭之諸勝負仕候宿一切仕
間敷候事

右之條、雖_レ爲_レ一事_レ於_レ致_レ違犯_レ者

湊之名主組頭
神文前書

梵天帝釋四大天王、惣日本國中六十余州大小神祇、殊伊
豆箱根兩所權現三嶋大明神八幡大菩薩天滿大自在天神、
部類券屬神爵宣符各可_レ罷蒙_レ者也、仍起請文如件

貞享元年子八月

三九一

乍恐口上書ヲ申上候御事

一三津村之儀、廿九年以前申_レ年_レ去_レ五_レ年以前申_レ
年迄廿五年之内、五度火事出來仕、段々百姓退轉仕
候、廿九年以前迄者屋別百三拾壹軒御座候所ニ五拾
三軒退轉仕、追々相殘ル百姓漸七拾八軒ニ罷成相勤
申候御事

一廿ヶ年以前迄者狩野山中_レ眞木炭大分當所へ出申ニ
付米鹽等ニ至_レまで商ひ申_レ付前所之勝手ニも罷成候
處ニ近年川平太船出來いたし沼津へ出申_レ付彌所衰

徴仕候御事

一近邊之浦ニ而魚獵御座候へいさば商等も仕候處
ニ近年者獵一圓無_レ御座何角迷惑ニ罷成候、廿ヶ年
以前までハ當村ニ廻船拾四五艘、馬廿疋御座候處ニ
是又只今ハ廻船壹艘馬貳疋ニ罷成候、當村之儀者
方々御用相勤申場所ニ御座候處ニ百姓多ク退轉
仕、殊ニ火事以來、所零落仕候間、御取付御慈悲奉_レ
守候、以上

貞享元年
子九月
三津村
名主 傳左衛門
組頭 市左衛門
御代官様

三九二

乍恐口上書を以御訴訟申上候事

一御入國以來_レ重寺村網戸八帖ニ相極り網戸場四ヶ所
網舟四艘津本四人ニ而魚漁仕候、右之御役米五拾壹
俵壹斗五升ハ御定納ニ指上申候、其上魚漁仕候得ハ
濱御奉行様御帳面ニヲ以、御三ヶ一御公儀エ指上
ケ殘リ申候分ニ而網子共方ハ三ヶ一分ケ渡シ網戸主
三ヶ二儲申候得ハ御定納相勤身命ヲモツナキ申候、

三九二
(御二通アリ)

網船網諸道具入目仕候、右八帖ノ内、貳帖ハ御代官
様御代_レ御相傳之御網戸ニ而御座候ニ付御代官様御
代_レ網舟網諸道具、其時之御代官様ヨリ御入目被_レ
遊、則御網戸御賄仕候者、重寺村ニ御座候得而御立
德指上申候處ニ去_レル十三ヶ年以前子ノ年右ノ御網戸
貳帖網船網諸道具一卷御定納御役米拾貳石壹斗船役
共相勤申答ニ御訴訟申上候得ハ、則伊奈兵右衛門様御
代官之御定ニ而三津村甚兵衛右之御網戸御賄被_レ仰
付_レ候御事

一魚漁之儀ハ他郷之者(網戸)仕配仕候得ハ五ニ手廻
り惡鋪御座候テ其上村中之不勝手ニ罷成候間(此度)
右之御網戸前々之通り段様へ相渡り申候ハ、重寺村
江被_レ仰付_レ被_レ下候ハ、難_レ御有_レ奉_レ存候、魚漁仕御
運上指上申候得ハ拙者共身命之タリニモ仕度奉_レ願
上_レ候

右之御網戸ニテ魚獵致シ御公儀様へ御三ヶ一指上
網子共方エ分渡シ諸引仕、網戸主儲ト申成ニ而御十
分一段様へ爲_レ御祝ニ指上申度奉_レ存候、其上御定納御
役米網船諸入目之儀ハ拙者共可_レ仕候御事

一連判仕候者之内、三郎右衛門儀ハ御代官様御代_レ伊
奈兵右衛門様迄御網戸御賄仕候得ハ津元百姓相勤申
候處ニ拾三ヶ年以來網子百姓ナミニ被_レ成候間、當殿

様御慈悲ヲ以、前々之通り津元百姓相勤(申)候様ニ被(爲)ニ仰付ニ可レ被下(候)被下ニ度御下知ニ奉守候御事

右之趣、御尋之上、乍レ恐口上ニテ可ニ申上候、以上

貞享元年

子ノ九月

重寺村

津元百姓

六左衛門

同所網子

勘兵衛

御網戸網子

三郎右衛門

同

小左衛門

同

伴右衛門

網子

半左衛門

津元百姓

安右衛門

御代官様

三九三

一連判仕候者之内、三郎右衛門義ハ御代官様御代ニハ伊奈兵右衛門様迄御網戸御賄仕候へ而津本百姓相勤申候所ニ十三年以來、網子百姓なみニ被レ成候間、

内貳畝歩

殘六反六畝廿六歩

申ノ川欠

中田七反七畝四歩

古荒

内三畝廿五歩

殘七反三畝九歩

古荒

下田六反八畝拾貳歩

古荒

内六畝拾六歩

殘六反壹畝廿六歩

古荒

上畑五反七畝拾壹歩

古荒

内四畝三歩

殘五反三畝八歩

古荒

中畑七畝九歩

古荒

内三反六畝七歩

殘三反九畝廿三歩

古荒

下畑九反三畝廿四歩

古荒

内壹反七畝廿四歩

殘三反九畝廿三歩

古荒

此取米六斗七升六合

反ニ壹斗七升取

此取米壹斗四升六合

反ニ貳斗貳升取

下畑九反三畝廿四歩

内三反六畝七歩

殘三反九畝廿三歩

此取米六斗七升六合

反ニ壹斗七升取

三九四

當殿様御慈悲を以、前々之通り津本百姓相勤申候様ニ被(爲)ニ仰付ニ可レ被下(候)御下知ニ奉守候御事

右之趣、御尋之上、乍レ恐口上ニテ可ニ申上候、以上

貞享元年

子ノ九月

重寺村

津本百姓

六左衛門

同所あんこ

勘兵衛

御網戸あんこ

三郎右衛門

同

小左衛門

同

伴右衛門

網子

半左衛門

津本百姓

宗右衛門

御代官様

三九四

豆州内浦組之内長濱村子御年貢可納割付之事
一高四拾三石五斗三升五合 高辻
此反別
上田六反八畝廿六歩

屋舖六反六畝六歩

此わけ

三反貳畝廿五歩

此取米貳石貳斗九升八合

反ニ七斗取

三反三畝拾壹歩

此取米九斗壹合

反ニ貳斗七升取

取米合拾貳石九斗八升四合

外

一米貳拾五石貳斗六升貳合

定納御番看錢

一米七石七斗八升八合

同 簡季錢

一米壹石壹斗五升

同 歳暮錢

一米六石四斗九升

同 網戸錢

一米三石四斗六升四合

同 夫錢

右之通、當御成ケ相究之間、村中大小之百姓并入作之者迄不殘立合無ニ相違ニ致ニ免割ニ來ル極月廿日以前ニ急度可レ令ニ皆濟ニ者也

貞享元年十一月

竹 三郎衛(印)

長濱村

惣百姓

三九五

納御運上金之事

合金貳拾三兩壹分京八百拾壹文

長濱村

右者子之正月、同極月迄諸色御運上金皆濟之所實正也、仍如件

貞享貳年

丑ノ正月

井上左衛門(印)

大山九兵衛(印)

長濱村名主

四郎左衛門殿

七兵衛殿

三九六

條々

一公儀之船者不及申、諸廻船共に遭難風一時は助船を出し船不_レ破損_ニ様に成程可_レ入_レ精事

一船破損之時は其所ちかき浦の者、入_レ精荷物船具等取揚へし其揚る荷物の内、浮荷物貳拾分一、沈荷物拾分一、川船

者浮荷物三拾分一、沈荷物貳拾分一取揚ものに可_レ遣之事

一沖にて荷物はぬる時は着船の湊にをひて其所之代官下代庄屋出合、遂_ニ穿鑿_ニ船に相殘荷物船具等之分、可_レ出_レ證文之事

附浦之者と船頭申合、荷物盗取之、はねたるよし偽申に

おゐてハ後日に聞といふ共船頭者勿論申合輩ハ悉可_レ被_レ行_ニ死罪_ニ事

一湊に長_レ船を懸置輩あらは其子細を所之者相尋、日和次第早_レ出船いたさすべし、其上にも令_ニ難遊_ニは何方の舟と承届之、其浦之地頭代官へ急度可_レ申達_ニ事

一御城米廻之刻、船具水主不足之惡船に不_レ可_レ積之并日和能節於_レ令_ニ船破損_ニは船主沖之船頭曲事たるへし、惣_ニ理不盡_ニ之儀申懸之、又者私曲於_レ有_レ之者可_レ申出_ニ之、縱_ニ雖_ニ爲_ニ同類_ニ其科をゆるし御褒美可_レ被_レ下_ニ之、且又あたを不_レ成様に可_レ被_ニ仰付_ニ之事

一自然寄船并荷物流來にをひては可_レ揚置_ニ之、半年過_レ荷主於_レ無_レ之者揚置ともから可_レ取之、若右之日數過、荷主雖_レ爲_ニ出來_ニ不_レ可_レ返之、雖_レ然其所之地頭代官可_レ受_ニ差圖_ニ事

一博突堅令_ニ制禁_ニ事

右條、可_レ相守_ニ此旨若於_レ令_ニ違背_ニ者申出_レし、急度御褒美可_レ被_レ下_ニ之、科人者罪之輕重にしたかひ可_レ爲_ニ御沙汰_ニ者也

貞享二年二月 日 奉行

三九七

證文之事

一壹七拾八歩

但屋舖也

右是ハ此度井上佐左衛門様御陳屋之外ニ家作仕候様ニ

と被_ニ仰付_ニ候ニ付場所所能無_ニ御座_ニ候故、貴殿へ御無

心申、右之屋敷、當丑ノ三月々來ル亥ノ三月迄中年拾

年季ニ借り申候、爲_ニ此地代と一壹ヶ年ニ金壹分貳朱

ツ、年々相渡し申答ニ相究メ申候、御年貢之儀ハ

御公儀様御指引不_レ被_レ下_レ候ハ、十四ヶ村にて出可_レ申候、爲_ニ後日_ニ仍如_レ件

重寺村名主

彌惣右衛門(印)

小海村名主

次兵衛(印)

三津村名主

傳左衛門(印)

長濱村名主

四郎左衛門(印)

重須村名主

仁右衛門(印)

河内村名主

善左衛門(印)

木負村名主 德兵衛(印)
久連村名主 伊兵衛(印)
平澤村名主 市郎左衛門(印)
立保村名主 兵左衛門(印)
古宇村名主 佐助(印)
足保村名主 伊右衛門(印)
久料村名主 金兵衛(印)
江梨村名主 市郎左衛門(印)
大名主 久兵衛(印)
十四ヶ村惣百姓

三九八

乍恐御訴訟申上候御事

一伊豆之國內浦組之内、六ヶ村網引場爲_ニ海御役米一定納_ニ差上_ケ申候御事

長濱村

一米合百拾九石九斗貳升七合定納浮役米

是者年、御石代御直段を以金納ニ差上申候

長濱村 重須村 三津村 木負村 小海村

右者小高之村ニ而大分之海役米辨相勤申ニ付年々百姓困窮仕候、先年者魚獵御座候ニ付御役米相勤申候所ニ貳拾ヶ年以來、魚獵一圓無ニ御座候ニ付百姓過半退轉仕、拾ヶ年以來者浮役米年々未進仕、只今相残り罷有候百姓共及ニ退轉罷有候間、右之網引場乍レ恐差上ケ浮役米御赦免奉レ願候御事

右之外ニ

一 魚獵御座候得者魚高三ヶ一差上ケ申候

一 獵船御役錢之儀ハ御國並ニ差上ケ申候

一 御茶漬鹽鯛毎月差上ケ申候

右之通、重ニ之御役相勤申候所ニ魚獵無ニ御座ニ百姓共多ク退轉仕候ニ付年々御訴訟申上候、此六ヶ村之儀者内海末之入江ニ御座候所ニ近年者浦ニ而新獵師共大分出來仕候故、拙者共網引場へ魚不レ參候付年々魚獵無ニ御座候、自然向後魚獵御座候ハ、幸濱御拾分一御役人衆御座候間、其時々之獵有次第、何分ニも御役米差上ケ申様ニ成共奉レ願候、左無ニ御座候ハ、右六ヶ村網引場差上ケ申度奉レ存候、如何

様ニも殘ル百姓共相續、御百姓相勤罷有候様ニ御慈悲奉レ守候

右六ヶ村高井浮役高之わけ

一米四拾四石壹斗五升四合 浮役 長濱村

内 貳拾五石貳斗六升五合 定納網引場役

同 拾壹石貳斗五升貳合 同 歲暮看夫錢共ニ

同 七石六斗四升八 同 歲暮看網戸錢共ニ

此村高四拾三石五斗三升五合 田畑屋敷共ニ

此御年貢米八年ニ御割付次第ニ御上納仕候

一米拾八石ハ 浮役 重須村

内 拾五石四斗壹升七合 定納網引場役

同 貳石五斗八升四合 同 歲暮看夫錢共ニ

此村高貳拾七石六斗三升七合 田畑屋敷共ニ

此御年貢米八年ニ御割付次第ニ御上納仕候

一米貳拾三石貳斗五升貳合 浮役 三津村

内 拾九石七斗八升貳合 定納網引場役

同 三石四斗七升八 同 夫錢

此村高百六拾貳石八斗ハ 田畑屋敷共ニ

此御年貢米八年ニ御割付次第ニ御上納仕候

一米拾六石五升ハ 浮役 重須村

内 拾四石九斗ハ 定納網引場役

同 壹石壹斗五升ハ 同 夫錢

此村高百五拾壹石七升四合 田畑屋敷共ニ

此御年貢米八年ニ御割付次第ニ御上納仕候

三九九

乍恐御訴訟申上候事

一 伊豆國內浦組之内六ヶ村網引場爲ニ海御役米ニ定納ニ差上申候御事

米合百拾九石九斗貳升七合 定納浮役

是八年、御石代御直段を以、金納ニ差上ケ申候

長濱村 重須村 三津村 木負村 小海村

右者小高之村ニ而大分之海役米辨相勤申候ニ付年々百姓退轉仕候故、年々御訴訟申上候、只今相残り罷在候百姓共及ニ退轉ニ拾ヶ年以來者海役米御上納ニ罷成ニ大分之未進仕罷在候、乍レ恐もはや御了簡迄ニ指詰リ罷在候百姓ニ御座候間、右之海役米御赦免被レ爲レ成可レ被レ下候、向後獵仕候ハ、何分被レ爲ニ御召上候共此重役米之義御赦免奉レ願候、若左様ニも無ニ御座候ハ、右之網引場乍レ恐差上申度奉レ存候御事

右之外ニ

一 魚獵仕候ハ魚高三ヶ一差上申候

一 獵船御役錢之儀ハ御國並ニ差上申候

一 御茶漬鹽鯛毎月差上ケ申候

右之通り重ニ之御役相勤申候所ニ年おとりニ魚獵無ニ御座ニ百姓共多ク退轉仕候ニ付年々御訴訟申上候、此六ヶ村之義者内海末之入江ニ御座候所、浦々道々新獵師共出來仕候故、拙者共

一米五石七斗壹升ハ 浮役 木負村

此村高百七拾五石六斗九升貳合 田畑屋敷共ニ

此御年貢米八年ニ御割付次第ニ御上納仕候

一米拾貳石七斗六升壹合 浮役 小海村

内 拾壹石四升壹合 定納網引場役

壹石七斗貳升ハ 同 夫錢

此村高貳拾壹石五斗六升四合 田畑屋敷共ニ

此御年貢八年ニ御割付次第ニ御上納仕候

米合百拾九石九斗貳升七合

右之御役米御赦免被レ爲レ成可レ被レ下候、偏ニ御慈悲奉レ守候、以上

長濱村名主 四郎左衛門(印)

重須村名主 彌惣右衛門(印)

三津村名主 傳左衛門(印)

久兵衛(印)

木負村名主 德兵衛(印)

小海村名主 治兵衛(印)

御奉行様

貞享貳年

丑ノ五月九日

網引場へ魚不參候付年々魚獲無御座候、自然向後魚獲御座候ハ、其時々之獵有次第ニ何分ニも被御石上之右之海御役米御赦免奉願候、左無御座候ハ、右六ヶ村網引場差上申度奉存候、如何様ニも殘ル百性共相續御百性相動罷有候様ニ御慈悲奉守候

右六ヶ村高井浮役米高ノわけ

村高百七拾五石九斗九升合	田畑總數共ニ御割付次第ニ御上納仕候	定納御番有錢	木負村
一米五石七斗壹升		同 御番有錢	小海村
一米拾壹石四斗壹合	田畑總數共ニ御割付次第ニ御上納仕候	同 夫錢	同 村
同 壹石七斗貳升		同 夫錢	同 村
米合拾貳石七斗六升壹合	六ヶ村海役米		
德米合百拾九石九斗貳升七合	右之通、御浮役米御赦免之儀、年々只今迄御訴訟申上候共餘國ニもケ様之類御座候間、御赦免之儀難被遊被爲思召之由、無ニ是非奉存候、然上者達御訴訟難申上ニ義ニ御座候間、先年者永錢ニ御取上ケ被遊候様ニ傳承申候、跡々之通永ニ御直シ被遊被下候ハ、先者百姓相續可申様ニ奉存候間、御慈悲ニ永錢ニ御直シ被下候者難有可奉存候、以上		
貞享貳年 丑六月廿六日			
四郎左衛門			
彌惣右衛門			
久右衛門			
久兵衛			
清兵衛			
治兵衛			

村高百七拾五石九斗九升合	田畑總數共ニ御割付次第ニ御上納仕候	定納御番有錢	三津村
一米拾九石七斗八升貳合		同 夫錢	同 村
同 三石四斗七升ハ		同 夫錢	同 村
米合貳拾三石貳斗五升貳合			
村高百六拾二石八斗也	田畑總數共ニ御割付次第ニ御上納仕候	定納御番有錢	重寺村
一米拾五石四斗壹升七合		同 夫錢	同 村
同 壹石四斗三升三合		同 夫錢	同 村
同 壹石壹斗五升		同 歲暮錢	同 村
米合拾八石也			
村高百五拾壹石七斗四合	田畑總數共ニ御割付次第ニ御上納仕候	定納御番有錢	重須村
一米拾四石九斗ハ		同 夫錢	同 村
同 壹石壹斗五升ハ			

四〇〇

永代ニ賣渡シ申山之事

一山壹ヶ所 但シ所ハ小池と申也
右是ハ我等買置申所ニ今度長々煩申故、様々申、代金三分ニ賣渡シ其方へ相返し申候、此上ハ何様之諸懸り仕候共其方苦勞ニ者かけ申間敷候、金子之儀ハ只今壹分請取、殘而之儀ハ負ニ金子請取可申候、爲其如此ニ一筆進申候、仍而如件

貞享二歲 丑ノ七月五日
木負村本人 又左衛門(印)
同所詮人 長福寺(印)
同 斷 與惣左衛門(印)

德兵衛殿

四〇一

長濱村御運上金請取覺

丑
六月分 一金四兩三分京五百八拾三文 薪運上 請取
内三百貳拾九文 薪運上 請取
同七月分 一金拾貳兩壹分京百貳拾壹文 薪運上 請取
同八月分 一金四兩京八百三拾五文 請取
十月分 一金三分京三百五拾文 請取

貞享貳年丑七月六日
加藤四郎兵衛(印)
大山九兵衛(印)

長濱村名主 四郎左衛門殿

四〇二

一當村湊之儀、諸廻船掛居候所ニ在^レ之^ハ候間從^テ御公儀被^レ仰付^テ候御高札之面を急度相守、名主組頭常々小百性共ニ無^ニ斷絶^ニ申付、御法度之趣、少も爲^レ相背^ニ申間敷候事一國々より相廻候御城米、御公儀諸御荷物之儀不^レ及^ニ申^ニ諸大名衆米其外諸荷物積舟并商人船、遭^ニ難風^ニ候寄船、在^ニ當湊近所^ニ荷物別^ニ拾候と船頭荷主於^テ申^ニ其旨趣、所之役人ニ爲^レ知早速小舟を出^シ拾候荷物浮物沈物精^ニ入、相替取揚^ケ貨物之儀御定之通可^レ取之、商人舟ニ候貨物御定之外、少も取之間敷候、浮荷物勿論沈荷物拾揚^ケ候時分有^ニ所存^ニ候隱置、時過密々取揚^ケ候と後日ニ於^テ相聞^ハ可^レ爲^レ曲事^ニ旨、小百性等ニ堅可^レ申付、若^ク候節不^レ見出^ニ程過見出^シ候ハ、其品々名主組頭ニ爲^レ申聞^ニ所之役人ニしらせ荷主方へ申遣可^レ相渡^ニ事

一諸廻船江賣物いたし其船ニ積候荷物類一切價に不^レ可^レ取事一渡海之船遭^ニ難風^ニあかの通出^シ荷物を拾候か其外荷拾舟湊へ入候ハ、前度掛り居候舟と一所に不^レ掛置^ニ様ニ申渡、晝夜を不^レ限、則時番を付、所之役人ニしらせ名主組頭相添、船中殘荷物船具等入念相改少も無^ニ相違^ニ様ニ浦手形可^レ出^シ事一風雨之節ハ船頭一兩人百性一兩人相添、晝夜湊ニ附置、流舟相見へ候ハ、早速さひ舟を出^シ湊へ引入、番附置流荷

四〇二

物有^レ之ハ取揚^ケ舟具等まで相違無^レ之様ニ役人ニ爲^レ改置、船主荷主出來次第吟味之上紛^レ於^レ無^レ之旨證文を取^レ相渡、半年過、船主荷主無^レ之候ハ、所之役人受^ニ指圖^ニ可^レ爲^レ御仕置之通^ニ事

一湊ニ掛り居候船、風雨之節、友舟ニあたり合致^ニ破損^ニ荷物流事有^レ之ハ品々役人ニ爲^レ知、名主組頭相添、人足出^シ荷物紛失不^レ致様ニ取揚^ケせ^シ、人足之外、堅其場へ寄間敷候、若^ク少之物或共盜取輩於^レ有^レ之者曲事たるへき事

附^リ濕荷物荷主船頭賣候儀有^レ之候ハ、其所^ニ一切商賣爲^レ仕間敷候事

一濱邊ニ諸道具衣類刀脇指其外織物等見付候ハ、早々名主組頭へしらせ所之役人可^レ受^ニ指圖^ニ事

一廻船湊ニ永掛りいたす輩有^レ之ハ様子相尋、日和次第早々可^レ爲^レ致^ニ出^シ舟^ニ、若^ク船頭令^ニ違背^ニ之、其品、所之役人ニ爲^レ申聞^ニ可^レ受^ニ指圖^ニ事

一女并出家、其外手負なと乘參候船於^レ有^レ之ハ様子承、是又役人ニしらせ可^レ受^ニ指圖^ニ事

一荷主舟頭水主、博奕掛之諸勝負仕候ハ、少之間も宿借申間敷候、船頭水主喧嘩口論仕出^シ候ハ、名主組頭立合取扱可^レ申候事

一嶋々ニ親類縁者好身の者有^レ之候間^ニ狀遺事有^レ之ハ其狀、所之役人ニ爲^レ致^ニ内見^ニ其上封^ニ遺事

右拾壹條被^レ仰付^テ候御法度之趣、當浦大小之百性門屋店借の者ニ至^ニ違^ニ奉^ニ承^ニ和^ニ百性仲間常々受^ニ致^ニ吟味^ニ少も相背

御代官様

申間敷候、若違背仕者御座候ハ、親子兄弟に御座候とも毛頭無^レ隱有體^ニ可^レ申上^ニ候、隱置後日^ニ被^レ閉召上^ニ候ハ、當人之儀ハ不^レ及^ニ申上^ニ名主組頭五人組迄、何分之曲事ニも可^レ被^レ仰付^テ候、爲^レ後日^ニ村中大小之百性連列仕、一札差上^ケ申候、仍如件

貞享貳年^乙之年 十一月 木負村

三外次庄孫四茂五彌五七忠清源惣九市四惣五仁多増兵彦多長助三太郎	右右左左郎平右五郎右左兵左平左郎左兵左左右右十左八	右衛門衛門衛門衛門衛門衛門衛門衛門衛門衛門衛門衛門	印印印印印印印印印印印印印印印印印印印印印印
---------------------------------	---------------------------	---------------------------	------------------------

一高四拾三石五斗三升五合 高辻

此反別 豆州内浦組長濱村丑御年貢可納割付之事

上田六反八畝廿六步 古荒
内 貳畝四步 當丑早損檢見引
殘六反四畝廿貳步
此取米三石貳斗三升七合 反ニ五斗取
中田七反七畝四步
内 三畝廿五步 古荒
貳反九畝七步 當丑早損檢見引

彌作 平次	權右衛門	太右衛門	徳左衛門	善左衛門	久四郎	伊五郎	次五郎	勸左衛門	勤左衛門	善右衛門	徳右衛門	伊左衛門	次左衛門	徳右衛門	善左衛門
-------	------	------	------	------	-----	-----	-----	------	------	------	------	------	------	------	------

殘四反四畝貳步
此取米壹石七斗六升三合 反二四斗取

下田六反八畝拾貳步
內六畝拾六步 古荒
九畝拾步 當丑早損檢見引

殘五反貳畝拾六步
此取米壹石五斗七升六合 反二三斗取

上畑五反七畝拾壹步
內四畝三步 古荒

殘五反三畝八步
此取米壹石四斗三升八合 反二貳斗六升取

中畑七畝九步
內廿步 古荒

殘六畝拾九步
此取米壹斗四升六合 反二貳斗貳升取

下畑九反三畝廿四步
內五反四畝壹步 古荒

殘三反九畝廿三步
此取米六斗七升六合 反二壹斗七升取

屋舖六反六畝六步
此わけ

三反貳畝廿五步
此取米貳石貳斗九升八合 反二七斗取

三反三畝拾壹步
上畑二畝

此取米九斗壹合 反二貳斗七升取

取米合拾貳石三升五合
外

一米貳拾五石貳斗六升貳合 定納御番看錢

一米七石七斗八升八合 同 節季錢

一米壹石壹斗五升 同 歲暮錢

一米六石四斗九升 同 網戶錢

一米三石四斗六升四合 同 夫錢

右之通、當丑之御成ヶ相究之間、村中大小之百姓并入作之者迄不殘立合無相違一致免割來ル極月廿日以前、急度可令濟一者也

貞享貳年十一月 竹三郎兵衛(印)
長濱村 惣百姓

一米三石四斗六升四合 同 夫錢

小以米五拾六石壹斗八升九合
此表百六拾表貳斗也 但三斗七升八

一米壹石六斗六合
是ハ御取リ米淨後米六拾貳貳斗六升出ル 但壹斗二付一升宛
合米百六拾四表三斗貳升六合 但三斗七升八
此金四拾兩永百三拾五文五分三厘
但斗立金壹兩二付壹石五斗貳升ハ

外

永貳拾五文 鐵炮壹挺役

永壹貫八百五拾四文 舟拾七艘役

但壹貫ハいさ取寄三人御取寄年九役 但永主主人二付永百文宛拾六兩ハ、雖此等五拾壹兩四寸五分 但壹貫二永三拾文宛

永五拾八文貳分 右之口錢

是ハ永壹貫八百七拾九文五分出ル永百文二付三交壹分宛

合金四拾貳兩永七拾貳文七分三厘 納

右者長濱村丑之御年貢淨役納勘定目録如レ此ニ御座候、若算用相違御座候ハ、何時ニ而モ仕直シ指上ケ可申候、以上

貞享三年 長濱村 名主 四郎左衛門(印)
寅之五月 三郎 忠三郎(印)
御代官様

四〇五

相渡し申手形之事 所ハくふしたん

一 芝起シ畑壹卷 同所

一 林 壹卷 同所

此代金貳分也

右是者去ル丑ノ御年貢皆濟不罷成候ニ付右之畑林共ニ代金貳分ニ賣渡し御年貢御上納仕所實正ニ御座候、但年季之儀ハ當刁ノ年々ノ年迄拾年季ニ相定申候間、只今ハ其方御支配可被成候、此畑林ニおゐて脇ハ少も構申もの無御座候、年季究り右之本金一倍出シ申候ハ、畑林無相違御返し可被成候、爲後日手形仍如件

貞享三年 三津村賣主 甚兵衛(印)
刁ノ十月 証人 三郎左衛門(印)
三津村 名主 市左衛門(印)
八左衛門殿

四〇六

豆州内浦組長濱村寅御年貢可納割付之事
一高四拾三石五斗三升五合 高辻

此反別

上田六反八畝廿六步

内貳畝步

古荒

殘六反六畝廿六步

此取米三石貳斗壹升

反四斗八升取

中田七反七畝四步

内三畝廿五步

古荒

殘七反三畝九步

此取米貳石七斗八升五合

反三斗八升取

下田六反八畝拾貳步

内六畝拾六步

古荒

殘六反壹畝廿六步

此取米壹石七斗三升貳合

反貳斗八升取

上畑五反七畝拾壹步

内四畝三步

古荒

殘五反三畝八步

此取米壹石四斗三升八合

反貳斗七升取

中畑七畝九步

内廿步

古荒

殘六畝拾九步

此取米壹斗四升六合

反貳斗貳升取

下畑九反三畝廿四步

内五反四畝壹步

古荒

殘三反九畝廿三步

此取米六斗七升六合

反壹斗七升取

屋舖六反六畝六步

此わけ

三反貳畝廿五步

此取米貳石貳斗九升八合

反七斗取

三反三畝拾壹步

此取米九斗壹合

反貳斗七升取

取米合拾三石壹斗八升六合

外

一米貳拾五石貳斗六升貳合

定納御番有錢

一米七石七斗八升八合

定納節季錢

一米壹石壹斗五升

定納歲暮錢

一米六石四斗九升

定納網戶錢

一米三石四斗六升四合

定納夫錢

右之通、當寅御成ヶ相究之間、村中大小之百姓并入作之者、是、不、殘立合無、相違、致、免割、來、極、月、廿日以前、急度可、令、皆、濟、者、也

貞享三年十一月

竹 三郎兵衛(印)

長濱村
惣目主

四〇七

相渡シ申手形之事

一重寺村ニ代々御代官網戸貳帖御座候、時々之御代官様御支配被レ成候、其賄代々貴殿被レ致候所ニ伊奈兵右衛門様御代ニ三津村七郎左衛門同所甚兵衛重寺村彌惣右衛門兩三人ニ而申請、支配被レ致候所ニ竹内三郎兵衛様御代ニ罷成可レ被レ召上ニ所ニ古未進五拾兩御座候ニ付貴殿我等御訴訟申上候へハ右之網戸貳帖四人ニ者ニ下シ被レ置候事

一右之人數之内、我等儀三嶋大明神御金拜借仕、元利共ニ拾七兩貳分ニ罷成、今度御代官様御取立被レ成候ニ付貴殿請人ニ頼、御請負爲レ致候ニ付我等家財を賣立、殘ル金拾兩三分、貴殿辨御 公儀様江指上ケ被レ申候故、右之網戸我等分半帖之義、貴殿へ相渡シ申候、自今以後、立德諸事貴殿御取可レ被レ成候、尤浮役共ニ貴殿御勤可レ被レ成候、爲レ後日ニ村々名主衆連判手形進候、仍如件

貞享四年

卯ノ三月晦日

三津村本人 甚 兵 衛(印)

同所名主 八左衛門(印)

長濱村證人名主 四郎左衛門(印)

重須村證人名主 仁右衛門(印)

小海村證人名主 次 兵 衛(印)

重寺村證人名主 忠右衛門(印)

三津村網戸組 七郎左衛門(印)

重寺村 三郎右衛門殿

四〇八

請取申御宮金之事

金合八兩ハ

但江戸小判也

右ハ三津村甚兵衛跡々三嶋御宮金御拜借仕候處ニ其方去年請人ニ相立被レ申所ニ則國中不殘御取立被レ遊ニ付甚兵衛身體禿シ候ても大分不足仕候故、甚兵衛重寺村ニ所持仕候網戸半帖請取、右之金八兩辨納被レ致候、

向後右網戸之儀、貴殿支配可被申候、爲後日金子請取證文仍如件

貞享四卯年 四月廿九日

内浦組大名主 重須村 久兵衛(印)

重寺村 三郎右衛門殿 まいる

四〇九

乍恐御訴訟申上候御事

一伊豆國內浦組之内、六ヶ村網引場爲海御役米一定納ニ差上ケ申候御事

一米合百拾九石九斗貳升七合定納浮役米 是八年、御石代御直段を以、金納ニ差上ケ申候

長濱村 重津村 重須村 木負村 小海村

右者小高之村、二面大分ノ海役米辨相動申上候年々、百性困窮仕候、先年ハ魚獵御座候ニ付御役米相動申候所ニ貳拾ヶ年以來、魚獵一圓無御座候ニ付百性過半退轉仕、拾ヶ年以來者浮役米年々未進仕、只今相残り罷有候百性共及退轉ニ罷有候間、右之網引場乍恐差上ケ浮役米御赦免奉願候御事 右之外ニ

此村高百六拾貳石八斗ハ 田畑屋敷共ニ

一米拾六石五升ハ 浮役 重須村

内拾四石九斗ハ 定納網引場役

壹石壹斗五升ハ 同 夫錢

此村高百五拾壹石七斗四合 田畑屋敷共ニ

一米五石七斗壹升ハ 浮役 木負村

此村高百七拾五石六斗九升貳合 田畑屋敷共ニ

一米拾貳石七斗六升壹合 浮役 小海村

内拾壹石四升壹合 定納網引場役

壹石七斗貳升ハ 同 夫錢

此村高貳拾壹石五斗六升四合 田畑屋敷共ニ

一米合百拾九石九斗貳升七合

右之通、御浮役米御赦免之儀、年々、只今迄御訴訟申上候御共餘國ニもケ様之願可有御座候と御赦免之儀、難被遊被爲思召之由無是非奉存候、然上者達御訴訟難申上義ニ御座候間、先年ハ永錢ニ御取上ケ被遊候と申傳候、右之御米御免狀ニのり不申候、先年之御指紙も御座候、跡々之通、永御慈悲ニ永錢ニ御直シ被下候ハ、難有可奉存候、以上

貞享四年 卯ノ五月 長濱村名主 四郎左衛門(印) 重寺村名主 忠右衛門(印)

一魚獵御座候者魚高三ヶ查指上ケ申候 一獵船御役錢之儀ハ御國並ニ差上ケ申候 一御茶漬鹽鯛毎月差上ケ申候 右之通、重々之御役相動申候所ニ魚獵無御座百性共多ク退轉仕候ニ付年々御訴訟申上候、此六ヶ村之儀ハ内海末之入江ニ御座候所ニ近年ハ浦々ニ新獵師共大分出來仕候故か拙者共網引場へ魚不參候ニ付年々魚獵無御座候、自然向後魚獵御座候ハ、幸濱御拾分一御役人衆御座候間、其時々之獵有次第、何分ニも御役米差上ケ申様ニ成奉願候、左無御座候ハ、右六ヶ村網引場差上ケ申度奉存候、如何様ニも殘ル百性共相續御百性相動罷有候様ニ御慈悲奉守候

右六ヶ村高并浮役高之わけ 浮役 長濱村

一米四拾四石壹斗五升四合 定納網引場役

内拾壹石貳斗六升五合 同 歳季看夫錢共ニ

七石六斗四升ハ 同 歳季看網戸錢共ニ

此村高四拾三石五斗三升五合 田畑屋敷共ニ

一米拾八石者 浮役 重寺村

内拾五石四斗壹升七合 定納網引場役

貳石五斗八升四合 同 歳季看夫錢共ニ

此村高貳拾七石六斗三升七合 田畑屋敷共ニ

一米貳拾三石貳斗五升貳合 浮役 三津村

内拾九石七斗八升貳合 定納網引場役

同 夫錢

御奉行様

四一〇

内浦組長濱村寅ノ御年貢納勘定目録

一米拾三石壹斗八升六合 御割付米辻

一米貳拾五石貳斗六升貳合 定納御番看錢

一米七石七斗八升八合 同 節季錢

一米壹石壹斗五升 同 歳暮錢

一米六石四斗九升 同 網戸錢

一米三石四斗六升四合 同 夫錢

小以米五拾七石三斗四升 同 夫錢

此表百六拾三表三斗七合 但三斗七升入

一米壹石六斗壹升八合 御口米

合米百六拾八表九升五合 但三斗七升入

三津村名主 八左衛門(印)

重須村名主 久兵衛(印)

小海村名主 治兵衛(印)

木負村名主 徳兵衛

御割付米辻

定納御番看錢

同 節季錢

同 歳暮錢

同 網戸錢

同 夫錢

但三斗七升入

御口米

但三斗七升入

此金六拾壹兩貳分永百三拾八文六分
但金壹兩二付斗立壹石壹升かへ

外

永貳拾五文 鐵炮壹挺役
永壹貫七百四文貳分 船拾七艘役
但壹艘ハいさは舟三人乗壹ヶ年丸役但水主壹人ニ付永百文ツ、
拾六艘ハ獲舟此尋四拾八尋壹尺貳分壹尋ニ付永三拾文ツ、
永五拾三文六分
是ハ永壹貫七百廿九文貳分ハ出ル永百文ニ付三人壹分ツ、

合金六拾三兩壹分永百七拾壹文四分

右長濱村寅御年寅浮役納勘定目録如シ此ニ御座候、若算用相違御座候ハ、何時處共仕置ニ指上ケ可申候、以上

貞享四年 卯八月

長濱村名主
四郎左衛門(印)
阿房組頭
忠三郎(印)

御代官様

四二二
〔表紙共〕
六枚

殘六畝拾九步

此取米壹斗四升六合

反貳斗貳升取

下畑九反三畝貳拾四步

內五反四畝壹步

古荒

殘三反九畝貳拾三步

此取米六斗七升六合

反ニ壹斗七升取

屋舖六反六畝六步

此わけ

三反貳畝貳拾五步

此取米貳石貳斗九升八合

反七斗取

三反三畝拾壹步

此取米九斗壹合

反貳斗七升取

取米合拾三石壹斗八升六合

外

一米貳拾五石貳斗六升貳合 定納御番有錢
一米七石七斗八升八合 同 節季錢
一米壹石壹斗五升 同 歳暮錢
一米六石四斗九升 同 網戶錢
一米三石四斗六升四合 同 夫錢

右之通、當卯之御成ケ相究上ハ村中大小百姓并入作之者迄不殘立合無ニ相違ニ割合、極月廿日以前、急度可令ニ皆濟ニ者也

貞享四年卯十一月

五 小左(印)

長濱村
名主
惣百姓

四一一

豆州内浦組長濱村卯御成ケ割付之事
一高四拾三石五斗三升五合 高辻
此反別

上田六反八畝貳拾六步

內貳畝步

古荒

殘六反六畝貳拾六步

此取米三石貳斗壹升

反四斗八升取

中田七反七畝四步

內三畝貳拾五步

古荒

殘七反三畝九步

此取米貳石七斗八升五合

反三斗八升取

下田六反八畝拾貳步

內六畝拾六步

古荒

殘六反壹畝貳拾六步

此取米壹石七斗三升貳合

反貳斗八升取

上畑五反七畝拾壹步

內四畝三步

古荒

殘五反三畝八步

此取米壹石四斗三升八合

反貳斗七升取

中畑七畝九步

內貳拾步

古荒

四一二

〔表紙〕

貞享四年

君澤郡長濱村田畑かうち書

長濱村名主
四郎左衛門

九拾四年以前午ノ年彦坂小刑部様御檢地

一高四拾三石五斗三升五合

一家三拾貳軒

君澤郡 長濱村
男八拾五人 馬壹疋
女六拾人 草山薪山江道拾五丁

一薪山草山御座候村ハ

草山薪山江道拾五丁

一薪切賣申候

一田ニ麥蒔不申候

田畑屋敷合四町三反九畝貳步

此わけ
上畑八斗代
中畑六斗代
下畑五斗代
上田壹石三斗代
中田壹石三斗代
下田壹石三斗代
上畑五反三畝八步 寅ノ反ニ貳斗七升取

中畑六畝拾九步 反ニ貳斗貳升取
 下畑三反九畝廿三步 反ニ壹斗七升取
 外ニ五反八畝廿四步引方
 畑小以九反九畝廿步 寅ノ取米貳石貳斗六升也
 上田六反六畝廿六步 寅ノ反ニ四斗八升取
 中田七反三畝九步 反ニ三斗八升取
 下田六反壹畝廿六步 反ニ貳斗八升取
 外ニ壹反貳畝拾壹步引方
 田小以貳町貳畝壹步 寅ノ取米七石七斗貳升七合
 右畑名所わけ
 宮ほら
 外ニ壹反貳畝拾壹步引方
 土畑三反四畝廿六步
 上畑貳反八畝廿九步
 内中畑壹畝壹步
 下畑四畝廿六步
 大久保
 外ニ貳反壹畝拾壹步引方
 赤土畑壹反五畝拾三步
 内上畑壹畝四步
 下畑壹反四畝九步
 水上ヶ
 外ニ貳反五畝三步引方
 輕土畑四反九畝拾壹步
 内中畑貳反三畝五步
 上畑五畝拾八步
 下畑貳反拾八步
 屋敷六反六畝六步 寅ノ取米三石壹斗九升九合

三反貳畝廿五步 寅ノ反ニ七斗取
 内 三反三畝拾壹步 亥年上畑ニ成 反ニ貳斗七升取
 右田名所
 外ニ壹畝拾壹步引方
 赤土田四反貳畝廿五步 天水 大久保
 内 上田壹反八畝步 麥蒔不レ申候
 中田貳反四畝廿五步 同斷
 外ニ壹反壹畝壹步引方
 輕土田壹町五反九畝六步 天水 水上ヶ
 上田四反八畝廿六步 麥蒔不レ申候
 内 中田四反八畝拾四步 同斷
 下田六反壹畝廿六步 同斷
 右之外除キ地
 屋敷三畝七步 住本寺
 四二三
 内浦組之内長濱村未進金勘定指引目錄
 一金四百五拾六兩貳分京八百七拾貳文 金未進帳辻
 是者定納浮役未進
 右之内
 金貳兩者 丑ノ四月廿三日 武元與兵衛殿 納御手形
 金壹兩三分者 丑ノ七月二日 伊藤宜兵衛殿 納御手形

金壹分者 丑ノ十二月四日 伊藤宜徹殿 納御手形
 金貳分者 寅ノ十一月廿八日 伊藤宜兵衛殿 納御手形
 金貳分者 卯ノ十一月廿八日 伊藤宜兵衛殿 納御手形
 指引殘テ
 金四百五拾壹兩貳分京八百七拾貳文 負(印)
 右之通り此度差引勘定仕、未進負如レ斯少しも相違無ニ御座候、以上
 貞享五年 辰ノ三月十九日
 伊藤兵右衛門様御内
 大和七郎右衛門殿
 新庄森右衛門殿
 豆州内浦組之内長濱村
 名主 四郎左衛門(印)
 頭 權三郎(印)
 同 平右衛門(印)
 同 善兵衛(印)

未進負奉願證文之事
 一金四百五拾壹兩貳分京八百七拾貳文 長濱村未進
 是ハ定納浮役金未進
 内九兩貳分朝鮮人拜借入宜徹殿方手形
 重須大和七郎右衛門殿新庄森右衛門殿〇〇申候
 此わけ
 四二四
 右者伊奈兵右衛門様御代官被レ遊候時分、大分未進仕候御事者高四拾三石五斗三升五合之村ノ御定納海役百貳拾六表五升四合年ノ御石代御直段を以、御上納仕候處ニ三拾ヶ年以來、連々魚獵少ク殊ニ十四五年以來ハ魚獵一圓不レ仕年ノ辨金重リ未進ニ罷成候、尤年ノ稠敷御催促被レ遊候へとも何共御上納之手立不レ罷成ニ迷惑ニ奉レ存候處ニ別而此度御催促被レ遊候へとも當分何共不レ罷成ニ候故、當辰ノ年ノ來ル丑ノ年迄年數ニ奉レ願候、御慈悲ニ被レ仰付ニ可レ被レ下候、右之年數之内、魚獵仕候ハ、濱御奉行様御帳面を以、少も不レ殘金子差上ヶ可レ申候、魚獵不レ仕候而も右願之通ハ急度年ノ御上納

當辰ノ年ニ上納可レ仕候
 巳ノ年ニ上納可レ仕候
 午ノ年ニ上納可レ仕候
 未ノ年ニ上納可レ仕候
 申ノ年ニ上納可レ仕候
 酉ノ年ニ上納可レ仕候
 戌ノ年ニ上納可レ仕候
 亥ノ年ニ上納可レ仕候
 子ノ年ニ上納可レ仕候
 丑ノ年ニ上納可レ仕候

金貳兩者
 金貳兩者
 金貳兩者
 金貳兩者
 金貳兩者
 金貳兩者
 金貳兩者
 金四百三拾三兩貳分京八百七拾貳文
 丑ノ年ニ上納可レ仕候

可仕候、爲後日一名主組頭惣百姓證文差上ケ申候、仍如件

貞享五年 辰ノ三月 豆州内浦組之内長濱村 名主 四郎左衛門 組頭 權三郎 伊奈兵右衛門様御内 大和七郎左衛門殿 同斷 平右衛門 新庄森右衛門殿 同斷 善兵衛 惣百姓

四一五

内浦組三津村未進米金勘定指引目錄 一米六拾壹表三斗壹升七合 但三斗七升八 未進帳辻 一金貳百拾壹兩貳分京八百六文 同斷 是者定納浮投金未進 申之年火事拜借金 一金七拾兩者 金合貳百八拾壹兩貳分京八百六文 右之内 米貳斗九升七合 丑ノ四月未進御催促之時 伊奈兵右衛門御扶持御手形 米三升四合 丑ノ霜月未進御催促之時 伊奈兵右衛門御扶持御手形

金三兩者 丑ノ四月廿四日 武元兵衛殿 納御手形 但御拜借之内 金壹兩者 丑ノ七月三日 伊奈兵衛殿 納御手形 右國 金壹兩者 丑ノ十二月八日 伊奈兵衛殿 納御手形 右國 金貳分者 寅ノ十一月廿八日 新庄森右衛門殿 納御手形 伊奈兵衛殿 納御手形 右國 金貳分者 卯ノ十一月廿八日 伊奈兵衛殿 納御手形 伊奈兵衛殿 納御手形 未進之内 指引殘テ 米六拾表三斗五升六合 負(印) 金貳百七拾五兩貳分京八百六文 同斷(印) 右之通、此度差引勘定仕、未進負如、此少も相違無御座候、以上

貞享五年 辰ノ三月

豆州内浦組之内三津村 名主 八左右衛門(印) 組頭 市左右衛門(印) 伊奈兵右衛門様御内 大和七郎右衛門殿 新庄森右衛門殿

四一六

預り申金子之事

合四兩者

但シ江戸小判也

右是ハ貴殿網戸金子拾四兩ニ相定、我等方へ請取申等ニ相究り申候、右之金子只今拾兩相渡し殘而四兩之儀、來年中ニ急度相渡し可申候、若其内立獵御座候者當幕ニ成共相渡し可申候、爲後日一證文手形仍而如件

貞享五年 辰ノ六月十五日 長濱村 主 四郎左衛門(印) 證人 平右衛門(印) 與惣右衛門殿

元

祿

—
正

德

(自四一七
至五〇五)

〔元祿〕 三 小普請金上納の制を令す 四 日蓮宗悲田派を禁ず 八 切支丹類族を定む 金貨改鑄の令を發す 諸國鐵山採掘を奨励す 九 金銀箔の商賣に關する令を下す 新古今銀財引替私鑄贗造に關する令を下す 海内輿地圖を校正せしむ 一〇 舊金銀貨幣を悉く新鑄貨幣と交換せしむ 地圖改訂を命す 新鑄二朱判通用に關して令す 關東大地震 酒屋運上を賦課す 一一 金銀銅鐵試採の命を頒つ 一四 質屋條令を定む 貨幣兌換價格の令を申す 一五 令して新舊貨幣兌換を促す 物價低減及び造酒令を下す 全國繪圖成る 一六 關東大地震

〔寶永〕 二 供御の料一萬石を増獻す 諸藩に命じ封内紙幣發行額を録上せしむ 三 新舊貨幣兌換の令を下す 寶字銀を鑄す 柳澤吉保に用金鑄造を允す 再び質屋規則を令す 日蓮宗三島派の僧を罰す 四 諸國大地震 貨幣改鑄令・田圃典賣を禁ずる令を發す 富士山噴火、山腹に賣永山を

生ず 五 京都錢座に大錢を鑄る 大錢に係る令を下す 六 大錢を廢す 生細鑄の令を廢す 金銀改鑄の令を下す 酒運上・箔運上を廢す 七 蘭人に通商の制を與ふ 金銀改鑄令を下す 武家法度を頒つ 奉公人受宿の制を定む 中御門天皇即位 將軍、琉球使を引見す

〔正徳〕 元 將軍、朝鮮使を引見す 二 道中人馬の制を定む 沿海廻船に付き令あり 新銀改鑄を停め古銀元祿銀等を混用せしむ 三 新錢鑄造大錢改鑄の延期を命す 新金改鑄を命す 徳川家繼將軍宣下 諸國銅山の銅を大阪に送り長崎に廻送して外國貿易に資せしむ 銀錢改鑄の令を下す 四 新銀鑄造を停め銀座の幫數人を罰す 將軍、琉球使を引見す 五 長崎貿易の新令貿易年額唐船三十艘銀六千貫蘭船二艘銀三千貫とす 新金引替に係る令を下す 酒造の高を制限す

四一七

相渡申手形事

一下田六畝拾貳步

但山共二

所ハ水上

一下畑八步

同所

一屋敷拾八步

右是ハ長濱村徳左衛門相傳之田畑屋敷ニ候ヘ共拾余歳以前ニ徳左衛門死果、男子三人有レ之候得共欠落致候ヘ而一兩年以來、子共も三津村ニ居住致之由、申候ニ付子共此地ヘ參候様ニと申付候得共田畑屋敷請取申力不ニ御座候者渡被レ下候ヘと訛言申ニ付貴殿ヘ右之田畑屋敷渡シ候而徳左衛門古未進三兩三分京百五拾九文、連々村中百姓并ニ古未進上納被レ申、右之田畑屋敷永代ニ貴殿支配可レ被レ致候、自然徳左衛門子共も諸親類後日ニ何角申候とも名主年寄相百姓相談ニ而相渡、古未進進貴殿相勤被レ申候得ハ村中大小百姓申分可レ致、爲ニ後日ニ連判手形仍如件

長濱村名主

四郎左衛門(印)

年寄

平右衛門(印)

元祿元年 辰十月初日

長百姓 權三郎
同 忠三郎(印)
同 孫兵衛(印)
同 善兵衛(印)
同 伊平次(印)
同 八兵衛(印)
同 角左衛門(印)
同 文右衛門(印)
同 金左衛門(印)
同 伊左衛門
同 仁平次
同 半三郎殿
同 徳左衛門親類
同 伊左衛門
同 仁平次
同 半三郎殿
同 徳左衛門親類
同 伊左衛門
同 仁平次
同 半三郎殿

四一八

手形之事

一下田六畝拾貳步

但シ山共ニ

所ハ水上

一下畑八步

同所

一屋敷拾八步

右者長濱村徳左衛門相傳之田畑屋敷ニ御座候所ニ拾ケ
年余以前ニ徳左衛門相果、子共欠落仕候砌、跡式ニ罷
在、村中百姓并ニ御役仕罷有、其故當年立離可申與御
理申候得者徳左衛門子供諸親類構無之候間、田畑屋
敷永代貴殿請取、御年貢御役古未進上納致、右之田畑
屋敷請取申候上ハ何様之義御座候共一言之異義申間敷
候、殊ニ名主老寄相百姓衆御手形被下忝奉存候、爲
後日ニ仍而如件

元祿元年

無神月朔日

半三郎(印)
七右衛門(印)
權四郎(印)
文右衛門(印)
七左衛門(印)
名主老寄衆
相百姓衆中

四一九

豆州内浦組長濱村辰御成ケ割付之事

一高四拾三石五斗三升五合

高辻

此反別

上田六反八畝廿六步

内貳畝步

古荒

殘六反六畝廿六步

此取米三石九合

反四斗五升取

中田七反七畝四步

内三畝廿五步

古荒

殘七反三畝九步

此取米貳石五斗六升六合

反三斗五升取

下田六反八畝拾貳步

内六畝拾六步

古荒

殘六反壹畝廿六步

此取米壹石六斗七升

反貳斗七升取

上畑五反七畝拾壹步

内四畝三歩

古荒

殘五反三畝八歩

此取米壹石三斗三升貳合

反貳斗五升取

中畑七畝九歩

内廿歩

古荒

四二〇

豆州内浦組木負村辰御成ケ割付事

一拾五石六斗九升貳合

高辻

此反別

上田四町六反四畝拾貳步

内九畝拾三歩

古荒

殘四町壹反四畝拾五歩

此取米三拾石貳斗五升九合

反七斗三升取

中田壹町七反六畝廿壹歩

内五畝廿歩

古荒

殘壹町四反九畝拾九歩

此取米拾石貳升五合

反六斗七升取

下田壹町四反九畝拾四歩

内壹畝拾貳歩

古荒

殘壹町三反五畝九歩

此取米七石七斗壹升貳合

反五斗七升取

上畑貳町七反九畝廿八歩

此取米九石貳斗三升八合

反三斗三升取

中畑三町四反八畝拾四歩

此取米八石七斗壹升貳合

反貳斗五升取

下畑三町九反五畝拾歩

此取米八石七斗壹升貳合

反貳斗五升取

殘六畝拾九歩

此取米壹斗三升三合

反貳斗取

下畑九反三畝廿四歩

内五反四畝壹歩

古荒

殘三反九畝廿三歩

此取米五斗九升六合

反壹斗五升取

屋敷六反六畝六歩

此譯

三反貳畝廿五歩

此取米貳石貳斗九升八合

反七斗取

三反三畝拾壹歩

此取米八斗三升四合

反貳斗五升取

小以米拾貳石四斗三升八合

外

一米貳拾五石貳斗六升貳合

一米七石七斗八升八合

一米壹石壹斗五升

一米六石四斗九升

一米三石四斗六升四合

右之通、當辰之御成ケ相究上者村中大小之百姓并入作之者也

不殘立合無相違割合、極月廿日已前、急度可令皆濟

者也

元祿元年辰十一月 五 小左(印)

長濱村

名主

相百姓

此取米六石三斗貳升五合 反壹斗六升取
 屋敷五反廿六步 此取米三石五斗六升壹合 反七斗取
 小以米七拾五石八斗三升貳合 外
 一米五石七斗壹升 定納御番有錢
 一永三百六拾五文 同 歲暮錢
 一米五合 茶烟上木年貢
 右之通、當辰之御成ケ相究上寄村中大小之百姓并入作之者迄
 不殘立合無相違割合、極月廿日以前、急度可令皆濟
 者也
 元祿元辰十一月 五 小左(印)
 木負村 名主 惣百姓

四三二

豆州内浦組小海村辰御成ケ割付之事
 一高貳拾壹石五斗六升四合 高辻
 此反別
 上田五畝七步

四三三

豆州内浦組重寺村辰御成ケ割付之事
 一高貳拾七石六斗三升七合 高辻
 此反別
 上田五反壹畝拾七步 古荒 常辰檢見引
 內 壹反貳畝拾八步 常辰檢見引
 內 五畝廿九步
 殘三反三畝步 反六斗取
 此取米壹石九斗八升
 中田壹反三畝拾三步 古荒 常辰檢見引
 內 壹畝九步
 內 壹畝廿步
 殘壹反拾四步 反五斗取
 此取米五斗貳升三合
 下田九畝五步 古荒 常辰檢見引
 內 三畝貳步
 內 拾步
 殘五畝廿三步 反四斗取
 此取米貳斗三升壹合
 上畑七反四畝八步 古荒
 內壹反壹畝廿貳步
 殘六反貳畝拾六步 反貳斗五升取
 此取米壹石五斗六升三合
 中畑四反壹畝廿步
 內貳反八步 古荒

此取米三斗壹升四合 反六斗取
 中田拾八步 當不作
 取なし
 上畑壹町壹反九畝三步 反貳斗五升取
 此取米貳石九斗七升八合
 中畑四反五畝廿七步 反貳斗取
 此取米九斗壹升八合
 下畑壹町貳反六畝五步 反壹斗五升取
 此取米壹石八斗九升貳合
 屋敷貳反壹畝四步 反七斗取
 此取米壹石四斗七升九合
 小以米七石五斗八升壹合 外
 一米拾壹石四升壹合 定納御番有錢
 一米壹石七斗貳升 同 夫錢
 右之通、當辰之御成ケ相究上寄村中大小之百姓并入作之者迄
 不殘立合無相違割合、極月廿日以前、急度可令皆濟
 者也
 元祿元辰十一月 五 小左(印)
 小海村 名主 惣百姓

四三三

殘貳反壹畝拾貳步 反貳斗取
 此取米四斗貳升八合
 下畑壹町三步 反壹斗五升取
 此取米壹石五斗貳合
 屋敷三反七畝廿八步 反七斗取
 此取米貳石六斗五升五合
 小以米八石八斗八升貳合 外
 一米壹石壹斗五升 定納歲暮錢
 一米壹石四斗三升三合 同 夫錢
 一米拾五石四斗壹升七合 同 御番有錢
 右之通、當辰之御成ケ相究上寄村中大小之百姓并入作之者迄
 不殘立合無相違割合、極月廿日以前、急度可令皆濟
 者也
 元祿元辰十一月 五 小左(印)
 重寺村 名主 惣百姓

四三三

仕切狀之事
 百本ニ付貳兩かへ
 一きり石拾本内貳本ハ尺たらず
 是ニ八分引
 代拾壹匁貳分

一 おれ石四本

代貳匁

二 口代銀拾三匁貳分

内

一 八匁四分 舟賃ニ引

一 四分五厘 賣手ニ引

指引殘而

銀四匁二分五厘

右之通り無出入ニ相渡シ相濟申候

元祿貳年

江戸新川ニ而

.....(ハリ紙).....

四二四

一 拙者御代官所豆州内浦組重寺小海三津長濱重須木負六ヶ村浮役米御訴訟之儀、近年申上候ニ付去夏中委細遂ニ詮儀ニ拙者了簡書被ニ仰付指上置申候、就夫當春も彌爲ニ御訴訟ニ百姓共罷下、于今御當地ニ一兩人相詰罷在候、右御訴訟之趣、近年次第ニ魚獵無ニ御座、其上並之村ニ者無レ之六ヶ村斗ニ歳暮錢御番

.....(ハリ紙).....

肴錢節季錢并申候而大分之浮役米上納仕來、連々困窮及ニ退轉ニ候間、右御役米共ニ御赦免奉レ仰候旨、願上ケ候付去年ノ段々吟味候處、百姓共申上候通御年貢之儀者其年立物相應ニ致ニ收納ニ其上右之通(リ)名義之由知レ不レ申浮役米、大分上納仕、尤近年魚獵一圓無ニ御座候處ニ分一船役等ハ相定(リ)候通上納仕、外ニ毎年九月ノ三月迄壹ヶ月ニ一兩度宛御茶御肴差上、如レ斯重ニ之御役相勤候ニ付次第ニ潰百姓御座候而年々未進仕致ニ困窮ニ候段、紛無ニ御座候、依レ之拙者奉レ存候ハ右浮役米、年久敷上納仕來候處、今般不レ殘御赦免被レ遊候義、如何奉レ存候間、右譯知レ不レ申浮役米名義相除、米高斗リ拾ヒ其内三分二之積(リ)米七十九石九斗七升七合永貳百四十五文御免許被ニ仰付三分一米三十九石九斗五升永百廿文之分ハ殘シ置、浮役米と名付、毎年急度爲レ致ニ收納ニ其外魚獵分一井船役御茶御肴等ハ不ニ相替ニ先規之通り(ニ)相勤申候ハ、百姓共御爲可レ被レ宜様ニ奉レ存候、則只今迄之浮役米之わけ委細別紙ニ書記差上申候、如何可レ被レ仰付候哉奉レ親候、以上

元祿貳年巳六月

五味小左衛門 印

御勘定所

.....(ハリ紙).....

四二五

重寺村 小海村 三津村 長濱村 豆州内浦組 浮役三ヶ一御免許御證文寫 重須木負村

豆州内浦六ヶ村浮役米之覺

一 浮役米拾八石

高廿七石六斗三升七合

重寺村

壹石壹斗五升ハ

歳暮錢

内拾五石四斗壹升七合

御番肴錢

壹石四斗三升三合

夫錢

右之外ニ獵仕候得者網獵ハ三分一、釣獵ハ拾分一、舟ニも尋懸リニ役永上納仕候、毎年九月ノ三月迄壹ヶ月一兩度宛御茶御肴差上ケ申候

米拾八石

.....(ハリ紙).....

.....(ハリ紙).....

一 浮役米拾貳石七斗六升壹合 高廿一石五斗六升四合 小海村

内拾壹石四升壹合ハ 御番肴錢 右同斷

但當村三津兩村ニハ歳暮錢無ニ御座候、如何様之儀ニ而除申候哉、子細存候者無ニ御座候、其外漁獵分一御茶等ハ右同斷

米拾貳石七斗六升壹合

.....(ハリ紙).....

一 浮役米貳拾三石貳斗五升貳合 高百六拾貳石八斗 三津村

内拾九石七斗八升貳合ハ 御番肴錢 右同斷

三石四斗七升ハ 夫錢 右同斷

米貳拾三石貳斗五升貳合

.....(ハリ紙).....

一 浮役米四拾四石壹斗五升四合 高四拾三石五斗三升五合 長濱村

内貳拾五石貳斗六升貳合ハ 御番肴錢 右同斷

壹石壹斗五升ハ 夫錢 右同斷

三石四斗六升四合ハ 節季錢 右同斷

七石七斗八升八合ハ 節季錢 右同斷

六石四斗九升ハ 網戶錢 右同斷

右其外之儀小海村三津村重寺村同斷

〔ハリ紙〕
米四拾四石壹斗五升四合

〔内〕廿九石四斗五升四合ハ御赦免可被下分
内 陸拾四石七斗八合上納可仕分

一 浮役米拾六石五升

高百五拾壹石七升四合
重須村

〔内〕拾四石九斗ハ

御番肴錢 右同斷
歲暮錢 右同斷

但當村木負兩村斗ニ夫錢役無御座一段、子細知
レ不申候、其外之儀ハ小海三津長濱重寺同斷

〔ハリ紙〕
米拾六石五升

〔内〕拾石七斗八合御赦免可被下分
内 陸五石三斗五升向後上納可仕分

一 浮役米五石七斗壹升

高百七拾五石六斗九升貳合
木負村
御番肴〔錢〕 右同斷

〔ハリ紙〕
米五石七斗壹升

〔内〕三百八斗壹升ハ御赦免可被下分
内 陸壹石九斗ハ向後上納可仕分

一同永三百六拾五文

歲暮錢 右同斷

但右重須當村斗ニ夫錢役無御座、子細知レ不
申候、并當村之歲暮錢斗於ニ只今ニ永納ニ仕來
候子細存候者無御座候、其外之儀ハ右六ヶ村
共ニ同斷

〔ハリ紙〕
永三百六拾五文

〔内〕貳百四拾五文ハ御赦免可被下分
内 陸百廿五文ハ向後上納可仕分

浮役米合百拾九石九斗貳升七合
同永合三百六拾五文
六ヶ村
高合五百八拾貳石三斗貳合
右浮役米之儀致吟味候所、如斯ニ御座候、以上
已六月
御勘定所
五味小左衛門印
〔右ト紙面ヲ取メテ第四二四號ト同様ノ文書〔寫〕ヲ添附セリ、茲ニハ之ヲ略ス〕

四二六

覺

豆州内浦組長濱村諸色浮役米、累年大分致ニ收納ニ連
及ニ困窮ニ候ニ付近年頻ニ御訴訟申上候、依レ之段
ニ遂ニ愈儀ニ其趣紛無レ之ニ付今度我等了簡書を以、
委細御勘定所江親上ケ候處、則御許容有レ之、浮役米
高四拾四石壹斗五升四合之内、三分二之積貳拾九石
四斗五升四合御赦免被ニ仰出候間、得ニ其意ニ難レ有
可レ存候、然上者殘拾四石七斗之分者毎年無レ滯急度
可ニ皆濟ニ之、但跡ハ右譯不レ知御番肴錢歲暮錢夫錢
節季錢網戸錢之名儀相除之、向後者浮役米と斗名付、

定納可レ申候、且又魚獵分一船役御茶御肴等者如ニ先
規ニ不相替ニ可レ勤之者也
元祿貳年己巳七月 五 小左衛門〔印〕

五 小左衛門〔印〕

長濱村

名主
百姓

四二七

覺

豆州内浦組木負村諸色浮役米、累年大分致ニ收納ニ連、及ニ困
窮ニ候ニ付近年頻ニ御訴訟申上候、依レ之段、遂ニ愈儀ニ其趣紛
無レ之ニ付今度我等了簡書を以、委細御勘定所江親上ケ候處、
則御許容有レ之、浮役米高五石七斗壹升永高三百六拾五文之
内、米永共ニ三分二之積リ米三石八斗壹升永貳百四拾五文、
當巳年方御赦免被ニ仰出候間、得ニ其意ニ難レ有可レ存候、然
上者殘米壹石九斗永百貳拾五文之分者毎年無レ滯急度可ニ皆濟
之、但跡ハ右譯不レ知歲暮錢御番肴錢之名儀相除之、向後者
浮役米と斗名付、定納可レ申候、且又魚獵分一船役御茶御肴等
者如ニ先規ニ不相替ニ可レ勤之者也
元祿貳年己巳七月 五 小左衛門〔印〕

五 小左衛門〔印〕

四二八

覺

豆州内浦組小海村諸色浮役米、累年大分致ニ收納ニ連、及ニ困
窮ニ候ニ付近年頻ニ御訴訟申上候、依レ之段、遂ニ愈儀ニ其趣紛
無レ之ニ付今度我等了簡書を以、委細御勘定所江親上ケ候處、
則御許容有レ之、浮役米高拾貳石七斗六升壹合之内、三分二之積
リ八石五斗壹升壹合、當巳之年方御赦免被ニ仰出候間、得ニ
其意ニ難レ有可レ存候、然上ハ殘四石貳斗五升之分ハ毎年無レ滯
急度可ニ皆濟ニ之、但跡ハ右譯不レ知御番肴錢夫錢之名儀相
除之、向後ハ浮役米と斗名付、定納可レ申候、且又魚獵分一船
役御茶御肴等ハ如ニ先規ニ不相替ニ可レ勤之者也
元祿貳年 己巳七月 五 小左衛門印

元祿貳年 己巳七月

五 小左衛門印

小海村

名主
百姓

右寫之通り御免狀壹本、私正ニ預リ申一同江見セ候而早ニ相返
シ可レ申候也

四三〇

明治十年 五月十六日 小海村 大沼彦兵衛(印) 増田七兵衛殿

四二九

覺

豆州内浦組三津村諸色浮役米、累年大分致ニ收納ニ連々及ニ困窮ニ候ニ付近年頻ニ御訴訟申上候、依レ之段、遂ニ金儀一其趣紛無レ之ニ付今度我等了簡書を以、委細御勘定所江窺上候處、則御許容有レ之、浮役米高貳拾三石貳斗五升貳合之内、三分二之積り拾五石五斗貳合御赦免被ニ 仰出ニ候間、得ニ其意ニ難有可存候、然上者殘七石七斗五升之分ハ毎年無レ滯急度可ニ皆濟ニ之、但跡々右譯不レ知御番有錢夫錢之名儀相除之、向後ハ浮役米斗名付、定納可レ申候、且又魚獵分一船役御茶御着等ハ如ニ先規ニ不ニ相替ニ可レ勤之者也 元祿貳年己七月 五 小左衛門(印)

三津村 名主 百姓

四三〇

覺

豆州内浦組重寺村諸色浮役米、累年大分致ニ收納ニ連々及ニ困窮ニ候ニ付近年頻ニ御訴訟申上候、依レ之段、遂ニ金儀一其趣紛無レ之ニ付此度我等了簡書を以、委細御勘定所江窺上ケ候處、則御許容有レ之、浮役米高拾八石之内、三分二之積り拾貳石當已年御赦免被ニ 仰出ニ候間、得ニ其意ニ難有可存候、然上ハ殘六石之分ハ毎年無レ滯急度可ニ皆濟ニ之、但跡々右譯不レ知歲暮錢夫錢御番有錢之名儀相除之、向後ハ浮役米斗名付、定納可レ申候、且又魚獵分一船役御茶御着等ハ如ニ先規ニ不ニ相替ニ可レ勤之者也 元祿貳年己七月 五 小左衛門(印)

重寺村 名主 百姓

四三一

乍恐以書付御訴訟申上候事

一今月十三日ニ拙者網ニ而いわし引候て商人ニ賣申候所ニ長濱村ニ罷有候牢人長右衛門と申者、忠三郎兩

人ニて買可レ申と申候を我等下男作兵衛、彼牢人へ申候様ハ貴殿魚御買候ても拂方ニ滯申候間げん金ニ御買候ハ、實可レ申由申候へ共彼牢人拙者男作兵衛ヲ忠三郎所江ふみ込さんくニてうちやく仕候、依レ之作兵衛義是非共此さうとう仕度候間、御隙被下候様ニと我等方へ立テ訴訟仕候、私譜代之男ニてりやうかい爲レ致、身命つなき申候處ニ此牢人てうちやく故、野心ニなりて欠落可レ仕茂不レ存候へハ拙者何共迷惑ニ奉レ存候事 一此牢人義、前々魚買候ても拂金仕候時分ハ前度相定候直段ヲ引違へ押買ニ仕候故、自今以後此牢人方へ魚賣候者現金ニ爲レ買申候様ニと下男作兵衛ニ我等申付置候故、右之いわし之義げん錢ニて買申候へと作兵衛申候をすいさん之由、彼牢人申候て作兵衛ヲてうちやく仕候、剩へいわし牢人方へ押買ニ取被レ申候へ共我等義一言不レ申候事 一此牢人萬事我儘仕候へ共構申者無ニ御座ニ候故、拙者男ヲ私ニ無斷てうちやく仕候、作兵衛ニ申分御座候ハ、主人我等方へ理非を相斷可レ申候所ニ村中ニ不レ恐我かま、致、何共迷惑仕候間、御訴訟申上候事 右之通、彼牢人作兵衛ヲとらへ、てうちやく仕候時分、立合さへ申候者共、長濱村忠三郎權四郎長八郎三左衛

門取掛り佐致候へ共此牢人義兵法やハラ殊に大力ニて作兵衛儀さんくニてうちやくニあい申ニ付むねんニ存シ御隙被下候様ニ申候て我等ニ奉公不レ仕、何共迷惑仕候間、右之立合人宿角左衛門五人組御召出し御尋之上、如何様ニも御了簡ヲ以、被ニ仰付ニ可レ被下候、偏御下知奉レ守候、以上 元祿二年 己ノ九月十五日 長濱村 權三郎 御代官様

四三二

豆州内浦組長濱村已御成ケ割付之事 一高四拾三石五斗三升五合 高辻 此反別 上田六反八畝廿六步 古荒 内貳畝步 殘六反六畝廿六步 古荒 此取米三石貳斗壹升 反四斗八升取 中田七反七畝四步 古荒 内三畝廿五步

殘七反三畝九步	此取米貳石七斗八升五合	反三斗八升取
下田六反八畝拾貳步	內六畝拾六步	古荒
殘六反壹畝廿六步	此取米壹石八斗五升六合	反三斗取
上畑五反七畝拾壹步	內四畝三步	古荒
殘五反三畝八步	此取米壹石四斗三升八合	反貳斗七升取
中畑七畝九步	內廿步	古荒
殘六畝拾九步	此取米壹斗四升六合	反貳斗貳升取
下畑九反三畝廿四步	內五反四畝壹步	古荒
殘三反九畝廿三步	此取米六斗七升六合	反壹斗七升取
屋舖六反六畝六步	此わけ	
三反貳畝廿五步	此取米貳石貳斗九升八合	反七斗取
三反三畝拾壹步	上畑二成	反貳斗七升取
此取米九斗壹合		

取米合拾三石三斗壹升

外
一米拾四石七斗〔ハリ等〕內壹石壹斗五升四合六勺「定納浮役
夫錢米納辻」

外貳拾九石四斗五升四合 當已方御赦免

右之通、當已之御成ケ相究之間、村中小百姓并入作之者迄
不殘立合無相違割合、極月廿日以前急度可皆濟一者也

元祿貳年巳十一月 五味小左衛門(印)

長瀬村
名主
惣百性

四三三

豆州内浦組重寺村已御成ケ割付之事

一高貳拾七石六斗三升七合 高辻

此反別

上田五反壹畝拾七步 古荒

內壹反貳畝拾八步 古荒

殘三反八畝廿九步

此取米貳石四斗壹升六合 反六斗貳升取

中田壹反三畝拾三步	內壹畝九步	古荒
殘壹反貳畝四步	此取米六斗三升壹合	反五斗貳升取
下田九畝五步	內三畝貳步	古荒
殘六畝三步	此取米貳斗五升六合	反四斗貳升取
上畑七反四畝八步	內壹反壹畝廿貳步	古荒
殘六反貳畝拾六步	此取米壹石六斗貳升六合	反貳斗六升取
中畑四反壹畝廿步	內貳反八步	古荒
殘貳反壹畝拾貳步	此取米四斗四升九合	反貳斗壹升取
下畑壹町三步	此取米壹石六斗貳合	反壹斗六升取
屋舖三反七畝廿八步	此取米貳石六斗五升五合	反七斗取
取米合九石六斗三升五合	外	
一米六石		定納浮役

外拾貳石當已方御赦免

右之通、當已之御成ケ相究之間、村中小之百姓并入作之者
迄不殘立合無相違割合、極月廿日以前急度可皆濟一者也

元祿貳年巳十一月 五味小左衛門(印)

重寺村
名主
惣百性

四三四

豆州内浦組小海村已御成ケ割付之事

一高貳拾壹石五斗六升四合 高辻

此反別

上田五畝七步 此取米三斗貳升四合 反六斗貳升取

中田拾八步 當不作

取なし

上畑壹町壹反九畝三步 此取米三石貳斗壹升六合 反貳斗七升取

中畑四反五畝廿七步 此取米壹石壹升 反貳斗貳升取

下畑壹町貳反六畝五步

此取米貳石壹斗四升五合 反壹斗七升取
屋敷貳反壹畝四步

此取米壹石四斗七升九合 反七斗取
取米合八石壹斗七升四合

一米四石貳斗五升 定納浮役

外八石五斗壹升壹合 當已方御赦免

右之通、當已之御成ケ相究之間、村中大小百姓并入作之者迄
不殘立合無相違割合、極月廿日以前急度可皆濟一者也

元祿貳年巳十一月 五味小左衛門(印)

小書村
名主
惣百姓

四三五

豆州内浦組木負村巳御成ケ割付之事

一高百七拾五石六斗九升貳合

高辻

此反別

上田四町六反四畝拾貳步

内九畝拾三歩
三五畝五歩

殘四町壹反九畝拾貳步

此取米三拾壹石三升六合

反七斗四升取

中田壹町七反六畝廿壹歩

内五畝廿歩
貳反廿八歩

殘壹町五反三歩

反六斗八升取

此取米拾石貳斗七合

下田壹町四反九畝拾四歩

内壹畝拾歩
壹反四畝拾七歩

殘壹町三反三畝拾七歩

反五斗八升取

此取米七石七斗四升七合

上畑貳町七反九畝廿八歩

反三斗五升取

此取米九石七斗九升八合

中畑三町四反八畝拾四歩

反貳斗七升取

此取米九石四斗九合

下畑三町九反五畝拾歩

反壹斗八升取

此取米七石壹斗壹升六合

屋敷五反廿六歩

反七斗取

此取米三石五斗六升壹合

取米合七拾八石八斗七升四合

定納浮役

一米壹石九斗

古院
近年院
當已拾見引

古院
當已拾見引

古院
當已拾見引

四三六
【他三官シ一通
アリ】

外三石八斗壹升

當已方御赦免

一永百貳拾文

同斷

外貳百四拾五文

當已方御赦免

一米五合

茶畑上木年貢

右之通、當已之御成ケ相究之間、村中大小之百姓并入作之者迄
不殘立合無相違割合、極月廿日以前、急度可皆濟一者也

元祿貳年巳十一月

五味小左衛門(印)

木負村

名主
惣百姓

四三六

賣渡し申網戸之事

一網戸半狀

但大網舟方

代金八兩ハ

但江戸小判也

右是ハ巳ノ御年貢御上納不罷成候ニ付右之網戸半
狀、巳極月ノ亥ノ極月迄中六年季ニ賣渡し右之代金儘
ニ請取、御年貢ニ納申所實正也、此網戸ニおゐて親類
又ハ横合少もかまい無御座候、右浮役半狀分并ニ
網網入目御勤候而魚直ニ濱ニ而御引取可被成候、年
季來り申候ハ、右之代金八兩急度相濟、網戸請返シ可

申候、若其時金子濟申儀不罷成候者右之網戸永代御
仕配可被成候、銚御年貢魚之儀ハ貴殿右之抱半狀共
ニ壹狀分御買可被成候、并取網之魚萬村舟之魚ハ萬
半狀分御取可被成候、勿論勘定之時分左右可申
候、御立合可有候、且又右之網戸ニ古未進等無御座
候、大切之時分御取替候故ハ縱如何様之義出來申候共
一言之異儀申間敷候、爲後日之證人連判仍如件

元祿貳年

巳十二月十七日

長濱村本人名主

四郎左衛門

同所組頭

權三郎

同所證人

平右衛門

同所證人

金左衛門

同所證人

三津村證人

同所證人

二郎左衛門

同所證人

三津村

同所證人

久左衛門殿

四三七

覺

一博奕御法度之儀、度々相觸候共不_レ相止_レ蜜々相催之由、風
 閉有_レ之候、宿を致_レ候者、別_レ不_レ届_レ候、五人組内、遂_レ愈
 議_レ當分之義者不_レ及_レ申_レ一銘、博奕宿致候者をも可_レ申出_レ
 之旨、雖_レ申觸候_レ終_レ申出候者無_レ之、畢竟博奕御法度ゆる
 かせ_レ存候故と存、不_レ届_レ候、向後_レ風閉_レ候共不_レ免、捕
 當人ハ不_レ及_レ申_レ五人組同罪ニ可_レ申付_レ候間、無_レ油斷_レ
 致_レ愈議、若此上博奕致候風閉ニ相候者たりといふとも捕、
 江戸へ差下_レ可_レ申候、宿致候者勿論右之通ニ可_レ申付_レ候、
 自然村々名主組頭之内、博奕をいたし宿致者有_レ之ハ脇
 百性共支配人_レ蜜々可_レ訴之、あたを不_レ致候様ニ可_レ申付_レ
 候、隠置候ハ、可_レ爲_レ曲事ニ事

附_レ在_レ本百性ハ不_レ及_レ申_レ水呑門屋等夜あるき致
 候者ハ五人組_レ心_レ付、支配人_レ可_レ訴、若諸親類内病人
 見廻、其外無_レ據儀_レ一夜泊リニも他へ罷出候者名主五
 人組へ其斷致候可_レ罷出、尤地主名主組頭可_レ遂_レ吟味_レ
 水呑門屋ニ至_レ博奕致者并宿等致者有_レ之ハ名主組頭五人
 組_レ其科不_レ可_レ過事

一寺院之内博奕宿有_レ之由、風閉有_レ之候、其以爲_レ惡事_レ其村
 之名主組頭急度可_レ遂_レ愈議、如_レ此相觸候上、重_レ其風閉於_レ
 有_レ之ニハ名主組頭不_レ存と申候共申分ケ不_レ相立_レ曲事ニ可_レ

申付_レ候事

一衣類諸道具質物ニ取候ハ、儘_レ證人を取、質物ニ可_レ取之、
 證人有_レ之候共不_レ審_レ質物ハ不_レ可_レ取之、若蜜々取候_レ盜物ニ
 候者可_レ爲_レ曲事、質物吟味之上可_レ取之事

一野火付候事野火御法度之旨、例年相觸候共火をそまつ_レい
 たし折々山燒候事有_レ之不_レ届_レ候、自今以後野火出候者近村
 方早々山へ登_レ捕_レ三嶋へ召連可_レ參候、若致_レ不_レ念_レ當人
 不_レ相知_レ野火出候ハ、近村之名主組頭一言之申譯不_レ相立_レ
 籠舍ニ可_レ申付_レ候、兼_レ其覺悟いたし枯草之時分山持_レ出
 候者共たはこ道具火打たと爲_レ持候事、堅法度ニ可_レ仕候事
 一道中筋、盜賊雲助等御全議きひしく候ニ付_レ乞食非人ニ紛、
 在_レへからまり候由、相觸候、向後_レ心_レ付_レうさん成もの村
 送りニ三嶋の方へ出_レ可_レ被_レ申候、勿論うたかわしきものニ
 宿かし申間敷候、蜜々宿仕者有_レ之候ハ、急度曲事ニ可_レ申
 付_レ候事

附_レ在_レ村はつれ之小百性或ハ山伏博士町離之家ニ住來
 乞喰等之宿致候由、相觸候、自今以後宿不_レ仕候様ニ其村
 名主組頭急度可_レ申付_レ候、若致_レ違背_レ候ハ、早々三嶋
 へ召連可_レ參候、若又宿を見のかしたし候ハ、名主組頭
 可_レ爲_レ越度_レ事

元祿貳年巳十二月
 右御觸之通承届ケ向後急度相守、其筋、無_レ油斷_レ遂_レ愈議_レ可_レ
 申候、若此上御ケ條之趣一事も相背申候ハ、何分之曲事ニも
 可_レ被_レ申付_レ候、少も御恨_レ奉_レ存間敷候、爲_レ其村中百性門屋

水呑百性遊民等迄連判證文仍如件

元祿貳年巳十二月

御代官様

何處何村
 名主たれ
 組頭たれ
 百性不_レ残
 水呑不_レ残
 門屋不_レ残
 山伏不_レ残
 博士不_レ残
 家持不_レ残
 座頭不_レ残

四三八

乍恐書付を以御訴訟申上候事

一長濱村忠三郎酒藏たて申_レ付去ル廿六年以前巳ノ三
 月我等あ_レ干場之内、長三間貳尺横者濱切ニ借シ給
 候様ニと所所四郎左衛門ヲ頼、様々申_レ付右之通ふ
 ミ切_レ借シ候而藏建させ申候、年季之義ハ其年々貳
 拾年季ニ相定、證人四郎左衛門判形ニて借シ申候、
 年季ハ六年以前ニ明キ申候へ共其節忠三郎娘嬢ニも
 らひ申_レ付其まゝニて只今迄指置申候、又五年以前
 刁ノ年、忠三郎屋作仕候ニ付居屋敷せまく候て普請
 難_レ成候間、屋敷續ニ候間、貴殿屋敷之端シ借シ給候
 様ニと所所徳兵衛と申者ヲ頼候而我等方へ申候ニ付
 屋敷之内拾坪余忠三郎ニ借シ申候而家作爲_レ致申候、

四三九

追而御訴訟申上候事

一忠三郎娘拙者嬢ニ仕候時分、草畑壹枚諸道具持參致
 候所ニ去々年永々相煩、其上相果申候時分、親忠三郎
 申様ハ一度貴殿之嬢ニ進候上ハ其方ニ而死か_レ御取
 置、悴次郎兵衛同宗ニ被_レ成永ク善提御とい_レ可_レ給候、
 持參之諸道具并畑等も貳分ニも三分ニ茂御しろかい
 退善之儀、頼入候と申_レ付尤_レ存シ其趣ニ仕、此方
 ニて他所_レ上人申請、佛事供養仕候而三年迄指置候
 所ニ忠三郎俄ニ當二月十二日ニ同村七兵衛と申者ヲ

元祿三年 午二月

長濱村

權三郎

御代官様

下ノ行ハハ
本ノ行ハハ

遣シ娘道具改させ帳面ニ印シ烟共に取かへし申候、
剩へ我等仕付置候麥毛迄も忠三郎方へ取申候、依
之右申上候表ニケ所之屋敷借シ地之事ニ候得者此方
へ相返シ候様ニと申候へ共忠三郎何角と申、返不申
候ニ付無ニ是非一 御代官様へ罷出候所ヲ三嶋ニて兩
宿惣右衛門殿清右衛門殿并大名主久兵衛殿名主四郎
左衛門殿御扱被成候品ハ、忠三郎抱之網戸之内、津
本半分、右之畑壹枚并金子壹兩相添遣シ可申候間、
其方ニケ所之屋敷、自今忠三郎支配ニ爲、致候様ニ
と右之衆中御扱被成候へ共我等合點不仕、御訴狀
指上ケ罷歸り候所ニ其後在所ニ而大名主久兵衛殿重
寺村名主忠右衛門殿小海村名主次兵衛殿三津村名主
八左衛門殿同村久左衛門殿七郎左衛門殿長濱村平右
衛門同徳兵衛角左衛門八郎右衛門、此衆中數度御扱
被成候ニ付無ニ是非一拙者儀ハ御扱之通相濟申候所
ニ又候哉忠三郎我ま、申、扱ニ付候事も屋敷返シ申
儀も罷成間敷と申候由、扱衆ハ被ニ申渡候事ニ付右
之通御訴訟申上候、以ニ御慈悲を御論儀奉仰候

元祿三年 長濱村 權三郎(印)
午之六月 御代官様

四四〇

相渡し申手形之事
一三津村御陣屋 殿様ノ組中へ被ニ仰付候ニ付組中ニ
而入札ニ而拙者落札ニ而金四兩壹分銀五匁ニ申請候
處ニ貴殿御入用ニ候間、御所望被成候ニ付金五兩
〔銀〕五匁ニ而賣渡申候處實正ニ御座候、か様ニ相定
申候故ハ我等入札貴殿へ相渡申候、以上

元祿三年 戶田村 清左衛門(印)
午ノ十一月二日 重須宿 喜兵衛(印)
長濱村 四郎左衛門殿

四四一

相定申證文之事
一此度ねつミ鋪壹本さかさ網戸ニてもりニ
つき申候所ニ四津本并網子立合相談之〔上〕

毎々之通、其網戸場之方支配ニ相定申
尤余方ノ網子手傳も御座候得共前
式ニ御座候間、代金ニ應シ手間代を出し申候〔自今〕
以後何様之大獵御座候而も右定之通少
相違申間敷候、併壹かたニ而取申儀不罷成
御公儀様へ御運上り申儀ニ御座候間、押〔寄〕
取揚ケ可申候、則其場へ立合申候方ハ寄〔合〕
割取可申候

元祿六年酉ノ八月八日 四津本 惣右衛門(印)
六左衛門(印)
三郎右衛門(印)
吉右衛門(印)
權左衛門
半右衛門(印)

但シ網戸主其時惣右衛門殿一番もり伊兵衛二番もり伊
左衛門三番もり傳十郎

四四二

賣渡シ申畑屋しき之事
上畑壹反九畝拾六步 所南屋しき也
屋しき八步 同所也
高合壹石五斗八升貳合 但江戸小判也
此代金四兩者
右是者我等母分之屋しき畑ニ候へ共今度我等不叶ニ身
體ニ入用ニ付貴殿へ様ニ申、賣渡シ申所實正也、此畑御
年貢御役之義、貴殿ノ御勤可被成候、横合ノ少も違
亂申もの無御座候、もし相違之儀申者御座候者我
ニ罷出、急度埒明可申候、爲後日一證人ヲ手形進
候、仍如件

元祿六年 河内村本人 五郎兵衛(印)
西十月十三日 長濱村 證人權三郎(印)

同 斷善右衛門(印)
同 斷平次郎(印)
同 親類七兵衛(印)
名主四郎左衛門(印)

長濱村
惣兵衛殿

四四三

(表紙)

内浦組三津村未進米金指引勘定目録

一米六拾壹表三斗壹升七合 未進帳面辻
一金貳百拾壹兩貳分京八百六文 右 同 斷
是ハ定納浮役金未進共
一金七拾兩ハ 申ノ年火事拜借

米六表三斗四升七合 貞享貳丑ノ元祿五申年迄納
金拾五兩貳分 右 同 斷

指引殘而

米五拾四表三斗四升 未進負辻
金貳百六拾六兩京八百六文 右 同 斷
右之通、此度差引勘定仕、未進負辻如、此少茂相違無
御座候、以上

元祿六年酉十二月十七日
右之通、指引致勘定、殘未進辻如、此候、以上

西十二月十七日

伊奈兵右衛門内
石井角右衛門(印)
新庄森右衛門(印)

三津村
名主百姓中

(ハリ紙)
古未進納御手形預覺

金四兩西子丑三年分
是ハ石井角右衛門殿鳥井柳滿殿新庄森右衛門殿
御手形三枚預リ申候、以上

元祿十一
寅ノ二月廿二日

重須
仙右衛門(印)

三津村
名主八左衛門殿

四四四

乍恐口上書を以御訴訟申上候御事

一入合山之儀、三津長瀬小坂戸澤此四ヶ村、先規入合馬草刈敷薪等取來り申候御事
一去霜月俄ニ長瀬小坂戸澤三ヶ村之者共、構ニ私欲ヲ一味いたし右入合山ヲ新林ニ可仕たくミニ而新法ニさいみをさし廻し我儘仕候、然共先規入合ニ御座候故、前々之通り入込申候所ニ又候當二月四日三ヶ村之者共大勢を催し山へ登り狼籍仕候御事
一右之山、先規入合ニ御座候段、隣郷之者まで能存知申候、殊ニ古來大通り之山道三筋御座候、其道之わけ三津横道長瀬道小坂横道と申候、それ洞へ踏分ケ入合申段毛頭紛無ニ御座候御事
一伊奈兵右衛門様御替りめ竹内三郎兵衛様へ御引渡し之時分、村々例所書御取被レ爲遊候節も前々より入合申段書上ケ申候、田地之儀者三津坂を越、長瀬田頭ニ三津分之田地高貳拾壹石余、長瀬田地と一面に御座候御事
一三津村之儀、此入合山ニ而萱薪等を取、朝夕之煙ヲ立、百姓身命をつなき申山ニ而御座候所ニ新林之企

いたし三津一在所禿シ可申たくミ不寄ニ存知も義ニ御座候、三津村相立申様ニ先規之通り被レ爲ニ仰付被レ下候ハ、難レ有可奉レ存候御事
右之通ニ御座候間、偏ニ御慈悲奉レ守候、以上
元祿七年 戊五月 三津村 名主八左衛門(印) 組頭市郎右衛門(印) 惣百 姓

御代官様

四四五

相渡シ申證文之事

一去ル十三日をわ舟方網代ニ而鮪貳本立獵仕、御代官様御改被レ遊候所實正ニ御座候、就夫拙者義彼鮪貳本御座候所ニ四本と年寄七兵衛殿ニ咄シ候へハ貴殿其様子御聞出シ五人組長百姓御斷吟味之分至極仕候、拙者申違之義、紛無ニ御座候、自今以後か様之儀申候者村中ニ而何様ニも可被レ成候、爲其一札連判仍如件

元祿七年
戌之七月廿日

長濱村本人
八右衛門(印)
同所五人組
文右衛門(印)
同斷
里兵衛(印)
同斷
七左衛門(印)
同斷
庄右衛門(印)

名主
四郎左衛門殿

四四六

相渡し申證文之事

一拙者去ル二日ニ當村二又ニ而又兵衛と少し之義、申違仕候、就夫五人組長百姓寄合吟味之段右所仕候、自今以後、左様成口論仕間敷候、爲後日五人組連判一札相渡し申候、仍如件

元祿七年
戊八月八日
本人
平次郎(印)
五人組
仁平次(印)

同
與左衛門(印)
同
角左衛門(印)
同
十三郎(印)
同
文右衛門(印)
同
德兵衛(印)

長濱村
名主
四郎左衛門殿

四四七

請狀之事

一此伊之助と申者、拙者身體不罷成候ニ付キ貴様へ様々申、御奉公爲致申候、年季之儀ハ戌之極月廿八日ハ亥ノ極月廿八日迄中年貳拾五年季ニ相定置申候、御奉公之儀ハ晝夜を不レ限、何分ニも御意次第ニ相勤可申候、若此者取逃欠落仕候者ハ請人之者、尋出シ相返し可申候、永見へ不レ申候ハ、取逃之品ハ早速辨返可申候、しきせ之儀ハ外家なニ御きせ可被成候、爲後日連判證人仍如件

元祿七年
戌極月廿八日
人主
市(印)

四四八

乍恐御訴訟申上候御事

一入相山之儀、三津長瀬小坂戸澤此四ヶ村先規入相、秣刈敷薪等取來り申候御事
一去秋申上候通、右入相山を去々年酉之霜月不慮ニ新林之巧仕、我儘ニさいミを指廻し申候へ共先規入相ニ御座候故、不ニ相構ニ薪等刈申候へハ年明ケ程過申候而三ヶ村之者、狼籍仕、剩公事をたくミ入相ニ而無ニ御座候たと虚言申上候ニより先元衆双方鎌留メ被ニ仰付ニ其上山繪圖等被ニ仰付ニ何角と仕候内、御引渡シニ罷成候御事
一長せ内ニ三津分之地地高廿壹石余御座候而古來ノ田地之好身をつなき申候、則此田地之水を以、長せ村ノ田地を養申候、依其三津分之地頭より

證人
八兵衛(印)
同
權四郎(印)
大河四郎左衛門様
參

一面ニ入相申候、是則入相之根元ニ而御座候御事

一右之山へ入相申段、古來ノ之儀ニ御座候へハ何百年以前ノ入來候も其元根存知候者無ニ御座候、依其ニ大通之山道三筋御座候、其道之わけ三津横道長瀬道小坂横道と申候、夫々洞々江踏分ケ入相申段、毛頭紛無ニ御座、隣郷之者迄能存知申候、右大通山道之外ニ三津山口ノ直ニ炭焼洞へ當リ眞直ニ道壹筋御座候、是ハ江敷大洞梅之木入藤洞角洞杯江通ひ申時、此道を下り自由仕候證據ニ御座候、又三津横道半ハ過せつな坂と申道を下り釜入登岩ひやころはし等へ之名所江入込申道筋、礎成義ニ御座候、其外入相申山道數多洞々江踏分ケ置申候段古來ノ之證據ニ御座候御事
一入相山之内へ入、古來ノ名付申候大通の山道、三筋御座候、其道のわけ三津横道長瀬道小坂横道と申候
一三津坂を越、長瀬水落ニ三津分之地地高貳拾壹石余御座候而長瀬田地と一面ニ御座候、則三津田地之水ニ而長瀬村田地を養ひ申候、依其三津分之地頭ノ一面ニ入相申候、是又古來ノ之證據ニ御座候御事
一伊奈兵右衛門様御替りめ竹内三郎兵衛様へ御引渡シ

之時分、村々例所書御取被遊候節も前々入來り申段、書上ケ申候御事
一 小坂村戸澤村此貳ヶ村右入相山之水落ニはなれ申候在所ニ御座候得共入相申候處ニケ様成公事をたくミ申候ハ此貳ヶ村之儀ハ秣刈敷薪等之野手大分之場所、其在所之内地林之外ニ持申候故、右之入相山へ常々入不申候とても事かき不申候ニ付新林之公事をたくミ申候間、此上ハ小坂村并戸澤村向後右之入相山へ入不申候様ニ付恐被仰付可被下候御事

一 三津村之儀、此入相山ニ而萱薪等を取、朝夕之煙を立、其上小百姓之分ハ毎日此山ニ而かせき仕、日ニ賣代替、其日を送り申候所ニ去二月ノ鎌御留メ置被成候ニ付無ニ是非ニ罷有候へハ最早百姓數多及ニ喝命、去冬ノ當春迄ニ人數四拾人余、江戸其外へ奉公ニ罷出、在所明キ申候、此分ニ御座候ハ、相殘百姓諸事相動可申様も無御座ニ迷惑ニ奉存候、前々右之山へ入來り申段、毛頭紛無御座候間、御慈非ニ先規之通被爲ニ仰付三津村相立申様ニ被遊被下候者難有可奉存候御事
右之段ニ御尋之上、乍恐口上を以、可申上候、偏ニ御慈悲奉守候、以上

元祿八年 亥之三月
三津村名主 八左衛門(印)
同所組頭 市郎右衛門(印)
惣 百姓(印)

御代官様

四四九

乍恐返答書を以申上候御事

一 長瀬小坂戸澤此三ヶ村、古元一村之由、不承申候、若古元一在所之節御座候ハ、其時節ハ小坂戸澤も入相申候而尤ニ奉存候、其後三ヶ村ニ分り申候由、然上者小坂戸澤此貳ヶ村入相山江入申管ニ而無御座候處ニ三津長瀬之者油斷仕、入申候、小坂村戸澤村之儀ハ居村ニ大分之野山地林持申候ニ付御田地之儀も心安ク仕付申候、依其右入相山へ入不申とても事かき不申候ニ付新林之巧仕、古來ノ之入相山へ我儘ニ去々年酉之霜月さいみを指廻し申候故、田中組御支配須藤市右衛門殿高橋用右衛門殿江御斷申上候ハ古來ノ之入相山へ我儘ニさいみを差廻し新林之たくミ仕候、か様成我儘仕程之者共ニ御座

候故、何様之狼藉可仕も知不申候、拙者共在所之者ハ毎日參候山ニ而御座候間、重而狼藉不仕候様ニ被仰付可被下候と御斷申上、前々之通、互ニ入相、萱薪等刈申候處ニ年明ケ去戌ノ二月四日三ヶ村之者、棒ちきりきを持、大勢山へ登り三津村之者共を散ニ打擲仕、數多手を負セ就中伊之助と申者半死半生ニ罷成候ニ付伊之助伯父源右衛門其外山人共伊之助を山々連レ參、長瀬村名主與左右衛門方へ儘ニ預ケ置申候御事

一 去ル酉之極月三日三津村之者山へ棒を持參候由、大偽リニ御座候、三津之者共ハ鎌を持、山へ參候而萱薪刈申候、極月三日ニ限り不申候、前々毎日山へ參候、但さいみ之内ヲ刈申候とて須藤市右衛門殿高橋用右衛門殿へ御斷ニ罷出候哉、我儘ニさいみをさし新林之たくミ仕候故、此方ハ爲念と存、須藤市右衛門殿高橋用右衛門殿へさいみ之段、御斷申上、毎之通り山へ入、萱薪刈申候處ニ須藤市右衛門殿へ三ヶ村之者、何事を御斷申上候哉、私成義ニ御座候、須藤市右衛門殿ハ是ニ御入不被成候間、高橋用右衛門殿ニ乍恐御尋被爲遊可被下候御事
一 去戌之二月四日三ヶ村之者、狼藉仕候段、右ニ申上候通ニ御座候、其節三津村之者共、鎌をも八九枚と

られ申候、右手負之伊之助、長瀬村へ連レ參、其方を打候者ハ何ものニ而有レ之候哉と尋申候ハハゆひをさし申候故、其者をとらへ申候而山著壹ツ證據之ためニ取申候由、又鎌をも四五枚取參候、長瀬村久左右衛門其兵衛善右衛門所へ踏込なへ釜諸道具打碎申候由、是又大偽ニ御座候、手負伊之助を被預ケ何共迷惑致、其挨拶ニ様ニ拵事之虚言申上候御事

一 右之手負伊之助、名主與左右衛門方江預ケ置、山人罷歸候ニ付直ニ三嶋江御斷ニ罷出候へハ其跡ニ而三ヶ村之者、次五右衛門忠右衛門七兵衛此三人似セ手負ニ拵、駕籠ニ乗セ夜ニ入、三津村へ荷ひ參候處ニ我等共三嶋へ罷出候ニ付跡ニ居申候もの共迷惑いたし則御役人重田彦六郎殿長岡與右衛門殿へ其段申上候へハ兩御役人衆御申被成候ハ名主組頭居不申候ハ、是迄つれ參候様ニと御申被成候ニ付三人之似セ手負、陣屋江つれ參候へハ被入御念一、御改被成候所ニ針ニ而つき申候程も疵相見へ不申候ニ付不思儀ニ思召、直ニ三嶋江可被遣之由、被仰候内、駕籠かき人足逃散り似セ手負三人から駕籠をかつき罷歸候由、夜中三津ノ三嶋迄申來候ニ付其段先元ノ衆其外御手代衆御立合之所ニ而夜中か様ニ申參候由申上候、か様成拵謀事ニ而御了簡被遊可被下候、

なへ釜少茂打碎不_レ申候處ニ打わり申様ニ様ニ偽共申上候、我等共申上候ハ古來ノ之入相山へ我儘ニさいみを差廻シ其上ニ而又候哉か様成狼籍仕候と手負之御注進申上候へハ名主與左右衛門ニ手負之伊之助を連レ其外小坂戸澤名主組頭被_レ爲_ニ御召寄_ニ其上ニ而双方御詮義之上、手負伊之助儀者疵見届け候間、先三津へ請取候様ニと被_ニ仰付_ニ又證據ニ取置申候山著物者長瀬村へ渡し申様ニと被_ニ仰付_ニ其上ニ而立合繪圖并双方録留之儀被_ニ仰付_ニ候故、互ニ山へ登り立合繪圖拵見申候へ共埒明不_レ申候ニ付又内繪圖を以つき合見申候へ共三ヶ村之者共、何角と我儘申、埒明ケ不_レ申候ニ付其段三嶋へ御訴申上候へハ双方繪師登人頼出し申様ニと御意被_レ成候故、則繪師登人つれ参り候へハ神文被_ニ仰付_ニ山繪圖出來之時分、繪師并双方共ニ三嶋へ罷出、繪詮儀請申候へハ其繪圖相違御座候ニ付又候被_ニ仰付_ニ其後之繪圖出來仕候節ハ御引渡シニ罷成候故、先元ノ衆兩大名主方へ繪圖御預ケ被_レ成候御事

一 小坂御林之儀、乍_レ恐不_ニ存知寄_ニ御事申上候、何方も御林之儀ハ其儘在所相守申段、小坂村ニ限り不_レ申候、又風折木之事、定而少斗之御事ニ可有_ニ御座_ニと奉_レ存候、大分之儀ニ御座候得者何方迄も人足被_レ仰

付候、少斗之時者何方之御林も其儘在所之者、人足等相勤申候所ニ御林御用人足ニ入相山を引かけ申段、邪成義ニ御座候、若小坂御林御用人足近郷長岡古奈天野杯江被_ニ仰付_ニ候時者此村にも右入相山江入可_レ申候哉、様ニ之横事申上候、何れ之御林ニ而茂人足御用之節者何れの村へ被_ニ仰付_ニ候而も何方迄も御意次第ニ人足出シ申候、御林御奉行様方御越被_レ遊候節ハ山人足之儀、何方も其儘在所の者相勤申候、是も大分御用之節ハ何方が茂御意次第ニ人足出シ申候、去ル拾六年以前御法塔御用石井田山ニ而出來仕候、其節は_{（被_レ）}場御普請又ハ修羅木等御用ニ付河内御林田中御林奈古屋御林が御材木御竹山出シ之時分、三津村がも人足相勤申候、其上浦役ニ而船を出シ井田村へ相届ケ申候、然上者何方之者茂河内山田中山江入込可_レ申候へ共左様ニハ不_ニ罷成_ニ候、又河内山之内ニ木負久連入相山御座候得共御林風折木之時分ハ河内村ニ而人足等相勤申候、大分人足御用之節者村がも人足出シ申候、然時ハ河内山へ其村ハ茂入込可_レ申候へ共左様ニ者不_ニ罷成_ニ候、何方之御林ニ御座候共御意次第ニ人足相勤申候處ニ様ニ之よせ事申上候、右入相山之儀、去ル西之霜月俄ニ新林之巧仕、其上去戌之二月狼籍仕候間、三ヶ村之者乍_レ恐御詮議被_レ

遊可_レ被_レ下候御事

右之通、三ヶ村之者、様ニ偽申上候間、乍_レ恐御穿鑿被_レ爲_ニ遊先規之通御慈悲ニ被_レ爲_ニ仰付_ニ被_レ下候ハ、難_レ有奉_レ存候、以上

元祿八年

亥ノ九月廿八日

三津村名主

八左右衛門

組頭

市郎右衛門

佐兵衛

七郎左衛門

御代官様

惣百姓

四五〇

乍_レ恐口上書を以申上候御事

一 長瀬水落ニ三津分貳拾壹石余之田地ハ長瀬洞入之田頭ニ御座候故、此田地之水長瀬田地を養ひ申候、入相山大境之辻ハ三津坂峠ニ而御座候、峠が往來を行、長瀬の方ハふき洞迄ニ御座候、依_レ其往來之道が南之方ハ三津分も長瀬分も田畔畑畔が一面ニ入相申候ニ付古來が互ニ南之方ハ地林少も無_ニ御座_ニ候御事

一 入相山大境之儀三津之方ハ城山みよ通り三津坂峠大境之辻ニ御座候、是が往來を行、長瀬の方大境ハふき洞野畔がくぬきあり江敷野畔小坂大とつけみよ通り汁谷峠迄ニ御座候、入相山洞ノ名所之儀、長瀬地林畔が順ニ申上候、江敷大洞梅木ハ入炭焼洞藤洞角洞釜入登岩根上り汁谷峠澤ひやころはしあち七曲り大瀧小瀧ちかや洞城山洞猪洞平ラ下立岩四人作りぬた打場石原洞ふき洞くぬきあら、此分入相之名所ニ御座候御事

一 入相山之内へ入、三津横道と名之付申候所、古來ノ之證據ニ御座候、此道之名云消シ可_レ申様無_ニ御座_ニ候とて益山觀音道と偽り申上候、參詣之者ハ重須を往來仕候、殊ニ札打女順禮之儀者三嶋之一雲法印願主ニ而あミ立近年之儀ニ御座候、三津横道之儀古來ノ之山道ニ紛無_ニ御座_ニ候御事

右之通ニ御座候間、御慈悲ニ乍_レ恐先規之通、被_レ爲_ニ仰付_ニ可_レ被_レ下候、以上

元祿八年

亥ノ九月

三津村名主

八左右衛門(印)

組頭

市郎右衛門(印)

同斷

佐兵衛(印)

御代官様

同断
七郎左右衛門(印)
惣 百 姓(印)

四五二

〔設樂喜兵衛様へ三津村の上ル御訴狀扣也〕

乍恐御訴訟申上候御事

一入相山之儀、三津長瀬小坂戸澤此四ヶ村、先規入相稗刈敷萱薪等取來り申候御事
一去秋申上候通、右入相山を去々年酉之霜月三ヶ村之者一味いたし不慮ニ新林之巧仕、我儘ニさひみを指廻し申候へ共先規入相ニ御座候故、不ニ相構萱薪等刈申候へ八年明ヶ程過、去戌之二月三ヶ村之者狼籍仕、剩公事をたくミ様々之虚言申上候ニより先元ノ衆双方録留被ニ仰付ニ其上山繪圖等被ニ仰付ニ何角と仕候内、御引渡シニ罷成候御事
一長瀬水落ニ三津分之地高貳拾壹石余御座候而長瀬田地と一面ニ御座候、則三津田地之水ニ而長瀬村田地を養ひ申候、依其三津分之地畔々一面ニ入相申候段、古來々之證據ニ御座候御事

一入相山之内へ入、古來々名之付申候大通之山道、三筋御座候、其道之わけ、三津横道長瀬道小坂横道と申候、夫々洞々江踏わけ入相申段、毛頭紛無ニ御座、隣郷之者迄能存知申候、右大通山道之外ニ三津山口の直ニ炭焼洞へ當り眞直ニ道壹筋御座候、是ハ江敷大洞梅之木入藤洞角洞江坏通ひ申時、此道を下り自由仕候證據ニ御座候、又三津横道半過せつな坂と申道を下り釜入登ッ岩ひやころはし等へ之名所江入込申道筋、慥成義に御座候、其外入相山道、數多洞々江踏分ヶ置申候段少も紛無ニ御座候御事
一伊奈兵右衛門様御替りめ竹内三郎兵衛様江御引渡シ之時分、村々例所書御取被遊候節も前々入來申段、書上ヶ申候御事
一小坂村戸澤村此貳ヶ村右入相山之水落ニはなれ申候在所ニ御座候へ共入相申候處ニヶ様成公事を巧申候ハ此貳ヶ村之義ハ稗刈敷萱薪等之野手、大分之場所、居村之内ニ持申候故、右之入相山江常々入不申候とても事かき不申ニ付新林之公事たくミ申候間、此上ハ小坂村戸澤村向後右之入相山へ入不申候様ニ乍恐被ニ爲ニ仰付ニ可被下候御事
一三津村之儀、前々右入相山江入來り申候段、毛頭紛無御座候處ニ三ヶ村之者新林之巧ニ而何角と我

四五二

伊豆國君澤郡三津村與同郡小坂村長瀬村
戸澤村入相山并三津長瀬山境論裁許條

一三津村百姓申出趣、長瀬村山内江三津長瀬小坂戸澤此四ヶ村先規入相、稗刈敷萱薪等取來處、五味小左衛門支配之節、四年以前酉年霜月小坂長瀬戸澤三ヶ村之者申合、右山ニ新林を巧、傍示を指、致我儘ニ付小左衛門手代江相斷、先規之通入相萱薪等刈之處、翌戌二月三ヶ村之者、令ニ狼籍ニ及ニ諍論ニ錄七八枚押取、其上伊之助と申者ニ手負セ候ニ付長瀬村名主與左右衛門方江預ヶ置爲ニ證據ニ伊之助打候者之山着物壹ツ取、小左衛門手代江訴候處、伊之助、疵所見分之上、伊之助ハ三津村江請取、山着物者長瀬村江可相渡旨、小左衛門手代致ニ差圖候、其跡ニ而三ヶ村似手負三人仕立駕籠ニ乘セ三津村江遣之、其節名主組頭三嶋江出居候ニ付所之役人相改疵所無レ之手負と不ニ相見ニ付三嶋江可遣旨申處、人足逃散、手負と申候三人之者、明駕籠持退候ニ付三嶋江訴、小左衛門手代双方録留申付置候由、三津

御代官様

元祿八年
亥ノ九月

三津村名主
八左右衛門
組頭
市郎右衛門
惣 百 姓

儘仕候間、長瀬村名主與左右衛門同村善右衛門小坂村名主與右衛門同村庄右衛門戸澤村名主佐右衛門此者共乍恐被ニ爲ニ御召寄ニ御詮議之上先規之通被ニ爲ニ仰付ニ被下候ハ、難レ有可レ奉レ存候御事

一三津村之儀、此入相山ニ而萱薪等を取、朝夕之煙を立、其上小百姓之分ハ毎日此山ニ而かせき仕、日々ニ賣代替、其日を送り申候所ニ去二日ヶ録御留置被レ成候ニ付無ニ是非ニ罷有候へハ最早百姓數多及ニ喝命、去多ヶ當春迄ニ人數四拾人餘、江戶其外へ奉公ニ罷出、在所明キ申候、此分ニ御座候ハ、相殘百姓諸事相勤可レ申様も無ニ御座、何とも迷惑奉レ存候、前々右之山へ入來り申候段、毛頭紛無ニ御座候間、御慈悲に先規之通り被レ爲ニ仰付ニ三津村相立申様ニ被遊下候者難レ有可レ奉レ存候御事
右之段、御尋之上、乍恐口上を以可ニ申上候、偏ニ御慈悲奉レ守候、以上

村百姓申之

一三ヶ村百姓申出趣、小坂長瀬戸澤往古一村ニ而中古より三ヶ村ニ分り其節彦坂小刑部其外支配之面ニ出置候古書物等有之、依之長瀬山者三ヶ村之持山ニ而勘敷秣刈採來候ニ付三津村入相ニ而無之、然處三ヶ村困窮ニ付新林仕立度願、小左衛門手代江相連處、元ノ手代と可ニ相談ニ由、支配之手代申所、酉極月三津村之者共大勢催、長瀬山江押込、我儘ニ刈採、長瀬居村迄踏込、大戸諸道具打破斧鎌等迄押取、其上次五右衛門忠右衛門と申者之帯衣類迄はき取ニ付小左衛門手代江訴、詮議之上、鎌留申付置候由答之右令ニ詮議ニ處、致ニ狼藉ニ候義者双方利不盡成仕方及ニ詮論、三津村伊之助手負候事無之紛、其上三ヶ村ノ似手負遺候儀、三津役人ニ相尋處、相違無之、小坂長瀬戸澤元一村之由、彦坂小刑部并先年之役人書物等雖ニ有之與、長瀬山江三津村入相間舖譯者不ニ相見ニ付證據難ニ立候事

一三津村ノ申出者長瀬水落三津分ノ田地高貳拾壹石餘、長瀬田地と一面ニ有之而三津田地之水ニ而長瀬田地を養、依之三津分田畔ノ一面ニ入相候旨、且又入相山之内江古來ノ名付候大通之山道、三筋有之、其譯三津横道長瀬道小坂横道と申候、此外三津山口

ノ直ニ炭燒、洞江當眞直ニ道壹筋有之而洞、江通候段、證據由申之

一三ヶ村ノ申出ハ山緒無之他之山江三津村可ニ入相ニ證據無之、長瀬水落ニ三津分田地有之段、偽ニ而三津坂左右ニ四人作之洞并ほろく山と兩洞ニ、三津村田地有之、殊地付之自分林兩洞に有之而三津水落之持山ニ無之紛、三津長瀬山境者峯有之ニ付三津水落者三津田地江落、長瀬水落者長瀬田地江落、且又長瀬山江三ヶ村入相山道之儀、長瀬居村ノ洞通之、馬道壹筋小坂御林道ノ長瀬山江通横道壹筋神益ノ長瀬山之内を通、益山觀音堂之前江通道、三津ノ右觀音堂并狩野江茂通直路、又三津山口ノ炭燒、洞江當眞直ニ道壹筋、右三ヶ村人馬上リ本草刈候道、但此道洞半過ノ三津山境道形駭無之段、不ニ入相ニ證據之由答之

右場所見分之上、遂ニ吟味ニ處ほろく山之洞ニ者地付之林有之、四人作之洞三津坂之方ニ者木立少有之、同所田地續長瀬山之方ニ者木立無之、野手山故、双方より申所之境目水落不分明也、長瀬山内三通之道、儘ニ有之、且又三津山口ノ炭燒、洞江當眞直ニ通道、洞半過ノ三津山境者道形駭無之由、三ヶ村ノ雖ニ申與ニ儘成道有之候事

一三ヶ村之百姓申候者小坂村御林之松木、拾九年巳前午年風折根返り有之而御臺所薪ニ伐出候節并御林奉行衆曲木改之時分、小坂長瀬戸澤三ヶ村ノ人馬相勤候處、三津村入相ニ而無之故、人足壹人茂不ニ相勤ニ由申之

一三津村百姓申候者御林之儀者其麓在所相守候ニ付小坂村に不ニ限、少許之人足者麓之在所ノ相勤、大分人足御用之節者何方迄茂差圖次第、村ノ相勤候、先年御法塔石、井田山ノ出候時分、修羅木河内田中奈古谷御林ノ出候ニ付三津村茂人足相勤候、且又河内山ニ木負久連入相山有之處、御林風折木御用人足河内村ニ而相勤候由答之

右人足之儀、河内田中木負久連之百姓共ニ相尋處、少分之儀者御林有之村ノ相勤、人足大分御用之時者何方之村ニ茂相勤、入相之村斗ニ不ニ限由、申ニ付小坂長瀬戸澤三ヶ村ノ申趣、相違ニ相聞候、且又竹内三郎兵衛支配之節、差出候例所書ニ入相山之儀、相記由、三津村百姓訴狀返答書ニ雖ニ書載ニ其節之儀可ニ相尋ニ様無之ニ付不レ及ニ詮議ニ候事

右論山立合繪圖申付、場所見分之上遂ニ詮議ニ處、村付之山者各別、入相山者田地水落ニ不レ可ニ限長瀬山江三津村不ニ入來ニ旨、小坂長瀬戸澤村百姓申趣、證據無之、

且又三津村百姓方ニ入相之證文雖ニ無之與、三津山口ノ長瀬山之内江相續道、入相之證據也、他之山道と違、無ニ子細ニ此道可ニ有來ニ様無之、右山内之道、狩野筋村ニより益山觀音江參詣之者、三津小海重寺村江通り右三ヶ村ノ狩野筋江茂通山道ニ而三津入相之道ニ無之由、小坂長瀬戸澤村百姓申ニ付而狩野筋村ニ并小海重寺村之百姓ニ相尋處、益山觀音江參詣之者、三津小海重寺村江通道者重須江下り長濱を通り狩野筋江者長瀬村下を通由、右村ノ之百姓書付依ニ差出ニ彌以三津村入相之道ニ紛無之、然上者立合繪圖ニ相記名所、三津山口ノ長瀬山之内、炭燒、洞江眞直ニ當道を下り其より長瀬道續大畑平ノ江敷大洞大とつけ梅之木、洞炭燒、洞藤、洞釜、洞七曲大瀧猪ノ洞、右之内所ニ小洞迄小坂長瀬戸澤三津四ヶ村可ニ入相、此外石あら洞ふき、洞くぬ木あら立岩、右四ヶ所者長瀬村續之山ニ而道隔有之ニ付小坂長瀬戸澤三ヶ村可ニ入相ニ三津長瀬山境者三津田地四人作之上峯通、兩村境ニ相定畢、自今以後、永守ニ此旨、不レ可ニ違背ニ者也

元祿九年子十月十四日 設 喜兵衛(印)

小坂村
長瀬村
戸澤村
三津町
名主百姓

四五三

相渡申證文之事

一右相定申候魚わけ之義ハ水高三ヶ壹請取申咎ニ御座候、御年貢諸引之義ハ此方かまひ無ニ御座候、并ゆわひなます之儀ハ遅ニ相談可レ仕候、爲後日一如此候、以上

元祿十

丑三月四日

重須村

津本

仙右衛門(印)

木負村

津本

徳兵衛殿

四五四

相渡シ申一札之事

一當村角左衛門居屋敷脇ニ道一筋御座候、是ハ角左衛門道のんきよ道水くミ道ニ御座候所ニ角左衛門何角と申候故、貴様御〇様へ御訴可レ被成由ニ御申被成候所ニ我等共様々貴様へわびいたし先年之通り仕候、自然以後彼者違義申候者我等共罷出埒明可レ申

候、併せつちんつふれ候内ハ我等共ニ御借シ可レ被成候、せつちんつふれ申候者急度先年之通り可レ仕候、爲後日一連判仍如件

元祿拾年

丑ノ九月十一日

名主

四郎左衛門殿

(別紙ツギ目)

權四郎(印)
忠左衛門(印)
善右衛門(印)
長兵衛(印)

同 又兵衛(印)
同 九平次(印)
同 金左衛門(印)
五人組 重三郎(印)
同 利兵衛(印)
同 與左衛門(印)
同 八右衛門(印)
組頭 忠三郎(印)

四五五

相渡シ申證文之事

一拙者儀、久々大網舟方網子相勤候所ニ今度貴様御心ニ入不申候ニ付大網舟方網子御引をろし被成候事、御尤至極ニ存候、依之而村中長百姓衆頼入、貴様江色、わび仕候得ば右之通り大網舟方網子ニ被成被下候事忝奉存候、自今以後何時成共御心ニ入不申義、御座候者彼舟網子御引おろし可レ被成候、其節少モ違儀仕間敷候、爲後日一連判證人仍而如件

元祿拾年

丑ノ極月十七日

長濱村本人

角左衛門(印)

同所網子中間

久右衛門(印)

同斷

又兵衛(印)

同

仁平次(印)

同

庄右衛門(印)

同

伊兵衛(印)

同所證人

權四郎(印)

四五六

指上ケ申一札之事

一高九斗九升壹合 御年貢地 住本寺
外ニ三畝七步 御繩除地 同寺
一高貳斗五升 御年貢地 安養寺
一三社 辨才天 無年貢地 禰宜
大明神 住本寺

同斷 忠左衛門(印)
同所組頭 忠三郎(印)
同所證人 善右衛門(印)
同斷 長兵衛(印)
同斷 惣左衛門(印)
同斷 平次郎(印)
同斷 文右衛門(印)
同斷 金左衛門(印)

右之通、當村寺社書付指上ケ申候、少しも相違無御座候、以上

内浦組長濱村 住本寺(印)

元祿十一年

寅之六月

同所彌宜 同寺(印)

同所 同安養寺(印)

同所名主 四郎左衛門(印)

同所組頭 忠三郎(印)

御代官様

四五七

覺

一三津村御高札之儀、寛文七年未之年、船手御浦廻り坂井八郎兵衛様伴野作平様御廻り御高札場御見立、御案文壹枚御渡し置被成候、翌年申之三月石黒市右衛門様淺岡勘兵衛様此御兩人様御高札御持參被成、三津村ニ御建被成候、其以後札古ク成、文字見へ兼申故、竹内三郎兵衛様御代官所之節、右之御札、舟

二而江戸へ被遣御書替、貞享貳年丑四月三日御手代加藤勘右衛門殿加藤武左右衛門殿此御兩人ニ而御札江戸へ御持參被成御建被成候、未文字見へ申候、以上

元祿十貳年

卯壬九月十七日

内濱組三津村

名主八左右衛門

組頭市郎左衛門

御代官様

右御高札由來書致上候様ニ申候、設樂喜兵衛様方御役人衆へ被仰出候ニ付鈴木與惣右衛門様岡田安右衛門様へ如此書上ケ申扣也、壬九月十七日

四五八

元祿十二卯御石代金請取申通

大名主重須村

仙右衛門(印)

長濱村

名主四郎左衛門殿

一金四兩者

卯十月朔日納

一金三兩者

十一月朔日納

四五九

口上書

一内浦組長濱村兵庫分遺跡、惣右衛門慶安四年卯ノ年明曆元年午ノ年同貳年未之年、三津村七郎左衛門彌左衛門方へ賣置申候網戸場、兵庫由緒御座候ニ付拙者祖父惣兵衛代金三拾五兩にて三津村を請出シ申候得而七郎左衛門彌左衛門方へ入置申候、網戸場年季證文、惣兵衛方へ請返し今以所持仕候、其後惣兵衛鞆長岡村市郎右衛門方へ右之網戸場賣申候得共親類之儀ニ候故、網戸場ハ親四郎左衛門支配致立德年ニ市郎右衛門方へ遣し申候、其以後金子才覺致市郎右衛門方へ段々相濟、網戸場請返し拙者支配仕來候、年久儀ニ御座候而惣兵衛方より市郎右衛門ニ網戸場賣候様子、拙者若年之節故、委細之儀不存候、右之通少も偽り不申上候、以上

元祿拾三年辰三月十六日

長濱村

四郎左衛門

御代官様

- 一金四兩者 十二月朔日納
- 一金五兩者 同 九日納
- 一金壹兩者 同 十九日納
- 一金三兩ハ 同 廿七日納
- 一金壹兩ハ 辰、四月十二日納
- 一金三兩ハ 同 廿八日納
- 一金貳兩ハ 五月十四日納
- 一金貳分 同 廿四日納
- 一金七兩貳分 六月四日納
- 一金貳分 同 日
- 一金拾兩ハ 同 七日納
- 一金壹兩三分永貳百三拾三文九厘 同 八日納
- 四拾六兩壹分永貳百三拾三文九りん 皆濟

四六〇

證文之事

一 鋪之儀、先年、長濱重須寄合、其以後重須、小海迄四ヶ村寄合ニ而立來候處、去ル四年以前丑之年、鋪參候ニ付四ヶ村寄合ニ而重須へよせ候節、跡、めしか參候而長濱ニ而立申ニ付出入ニ罷成、依レ夫重須長濱寄合を離申候處、三津小海名主組頭を以、又候寄合ニ相定申候事

一向後鋪立候而重須長濱兩村之内へよせ候時、立魚仕候ハ、鋪あら立之内ハ立魚之儀も兩村寄合ニ可レ仕候、右鋪長濱へよせ候時者あしる嶋宮戸へこきり候ハ、夫ハ立魚之儀、分立ニ仕、又重須江よせ候時ハ辨才之腰、燒山之崎へこきり候ハ、夫ハ立魚之儀、分立ニ仕答ニ相定申候事

一 鋪割合之儀ハ如ニ先規ニ當座のけ物をのけ殘高割合兩村之分拾五分ニ割、五分重須拾分長濱江取可レ申候、且又鯨子寄合之儀ハ何れ之網戸場へ立候共小たけをうち不レ申、内外之網戸場ニ而立獵仕候共夫共ニ寄合可レ申候、鯨子寄合七候而小たけ打候ハ、それハ立魚之儀、分立て可レ仕候、若又鯨鋪壹本成共走り上り候

ハ、立鋪同前ニ寄合割取可レ申候事
右之通、此度三津小海之衆を以、互ニ合點仕、相定申上ハ以來何角與不レ申定之通、寄合可レ申候、爲ニ後日ニ互證文仍如件

元祿拾三年
辰ノ三月

重須村 津本 仙右衛門(印)
同斷惣右衛門(印)
同所 惣網戸持
長濱村 津本 四郎左衛門殿
同所 惣網戸持中
同所 小海村 同斷作左右衛門(印)
同所 同斷彦兵衛(印)

四六一

伊豆國設樂喜兵衛御代官所

〔御訴方〕 〔御訴人〕
内浦組河内村 御訴訟人 入 法

五兩季拾年季ニ賣置申テ四郎左衛門妹むこ長岡村市郎右衛門ヲ金元ニ仕、年季之内ニ三津村ヲ請出候、市郎右衛門網戸主ニ而四郎左衛門賄長ニ仕候得共立徳一圓四郎左衛門市郎右衛門ニくれ不レ申候ニ付乍ニ迷惑ニ去ル十三年以前辰之年少ニ之代金ニ而市郎右衛門ハ四郎左衛門方江渡し置候由、今度巡ニ請出し我等方江網戸可レ返と申候得ハ四郎左衛門我ま、申、網戸爲レ請問敷候由、申拂候ニ付市郎右衛門茂我等一同ニ御訴訟申上候御事

一 私悴五郎助儀、何とそ長濱村ニ而ゆく、少し之百姓ヲも相勤させ申度奉レ存候ニ付網戸之儀、御訴訟申上候、四郎左衛門代、相傳之網戸二帖半四分一横合カマイ申者無之、于今支配仕候兵庫分一帖四分一ハ四郎左衛門カマイ可レ申筋目御座有間敷候ニ市郎右衛門方ヲ賄捕ニ仕、網戸返候儀、不罷成候と我ま、申候段、御召出し御證儀之上無相違、網戸相渡し申候様ニ偏御下知奉レ守候、并ニ網戸買人七郎左衛門彌左衛門儀、四郎左衛門市郎右衛門右之網戸請申時分、惣右衛門子共以來、此網戸請申度由申候節、何時成共爲レ請可レ申候ト四郎左衛門ハ手形ヲ取、四郎左衛門市郎右衛門請申候由、七郎左衛門彌左衛門御召出し御せんさく奉レ仰候

同國 小菅新五左衛門知行所 長岡村御訴訟人 市郎右衛門
同國 同御代官所 内浦組長濱村 相手 四郎左衛門
同斷三津村 七郎左衛門
同村 彌左衛門

一 豆州内浦組長濱村中網戸拾帖御座候内、一帖半四分一ハ兵庫分ニ而代、相傳之網戸ニ紛無御座候、然ハ私親惣右衛門、兵庫遺跡ニて長濱之百姓相勤罷有候所ニ年々無仕合ニ而一圓たり獵不レ仕、殊ニ其節之儀ハ浮役御上納米百貳拾六表之儀、伊奈兵藏様一粒一勾御借しなく年内ニ皆濟仕候、依レ之我等親抱之網戸一狀半四分一之御定納米拾七表ニ年々指詰り代金五拾兩ニ右之網戸三津村七郎左衛門彌左衛門茂右衛門江賣申候、四郎左衛門長濱村名主役仕候時分、浮役米毎年引負申ニ付四百兩ニ及申迄四郎左衛門手前分之網戸ハ少しも賣不レ申候而我等親惣右衛門三津村江年季ニ賣置候網戸ヲ横請ニ仕、今ほと相傳之網戸ニ御座候と我ま、申候御事

一 右之網戸之内、一帖四分一長澤方四郎次方、私親惣右衛門、先年三津村七郎左衛門彌左衛門江代金三拾

元祿十三年 辰四月 豆州内浦河内村 入 法 同子 五郎 助

御代官様 同國長岡村 市郎右衛門

四六二

乍恐返答書を以御訴訟申上候御事

一古來長濱村兵庫と申候者ハ拙者先祖之隠居ニ而御座候、兵庫遺跡勘兵衛相果申ニ付兵庫河内村惣右衛門を呼寄、跡式爲ノ賄申所、四五年之内、身代禿シ申候而何角賣拂、河内村へ罷歸候由、其節四郎次方之網戸壹帖四分一三津村七郎左衛門彌左衛門方へ賣渡し置申候處ニ年季過去候へハ網戸流申ニ付先祖之網戸之儀ニ御座候故、拙者祖父惣兵衛代金三拾五兩出シ三津村兩人ノ請出シ網戸場并ニ古證文共惣兵衛方ニ所持仕候、其後惣兵衛長岡村市郎右衛門方へ右之網戸賣申候得共親類之儀ニ御座候故、網戸場拙者親四郎左衛門支配致シ立德有之年者市郎右衛門方へ遣申候、其以後金子才覺致、市郎右衛門方へ相

濟シ網戸場請返シ拙者方へ讓申候(ニ)付支配仕來候而則古證文共ニ拙者所持仕候御事 一兵庫網戸之内、法船方半帖をも其節惣右衛門三津村茂右衛門方へ金子拾五兩ニ賣置申候所、其後長濱村權三郎求め申候而支配仕候、好身無之者さへ兵庫網戸所持仕候、拙者先祖之ためニハ兵庫者隠居ニ紛無ニ御座候御事

四六三

一右惣右衛門方ハ三津村へ賣申候ハ慶安四年卯之年明曆元年午之年同貳年未之年、何茂五拾三年又ハ四拾七年以前之儀ニ御座候、祖父惣兵衛三津村ノ請出シ其後長岡へ爲ノ持申候節之儀者拙者生れぬ時分ニ御座候故、委細之儀ハ不奉存候得共祖父代ノ拙者迄三代、右之網戸被ノ讓申候所ニ、ケ様之申かけ仕候段、存知之外成邪申上候、三津村ノ請出シ申候節之儀、彌左衛門ハ相果申候間、三津村七郎左衛門ニ乍恐様子御尋可被下候、委細拙者所持仕候古證文ニ而乍恐御了簡被爲遊可被下候、偏御下知奉守候、以上

元祿十三年 辰之五月 内浦租長濱村 四郎左衛門(印) 御代官様

四六三

〔(實事) 元祿十四巳七月被仰渡事〕

覺

一手石村番所下畑五畝步 一瓜生野村番所屋舖五畝七步 一字久須村番所屋舖三畝貳步 一稻取村上畑三畝壹步 一妻良村番所屋舖五畝步 一八木澤村下畑貳畝拾壹步 一仁科村番所屋舖四畝九步 一三津村番所屋舖八畝六步 一松崎村番所屋舖七畝步 一土肥村番所上田三畝拾八步 一御蘭村番所上田三畝步 右分一番所拾壹ヶ所、御年貢地之内ニ立置、年々檢見之節、不作荒引之内へ入引來候由、番人差置、魚漁薪其外諸色御運上取立候役所之儀ニ候故、此度御勘定所江申達、當巳年ノ御年貢免許被仰付候間、向後村差出諸帳面等、右之通可書出候、以上

元祿十四年巳七月 小 勘左衛門

右村ノ 名主 組頭

四六四

一札之事

一拙者子虎松、去ル閏八月廿七日ニ同所善右衛門田地之内へ入込、稻かり盜申候所實正ニ御座候、從是善右衛門、名主組頭衆へ相斷申ニ付拙者方へ御詮義被成、其者尋出し候様ニ御申被成候所、五人組并ニ私好身共ニ様々尋申候得共行へしれ不申候故 御公儀様へ御訴可被成由、御申被成候得共様々内證ニ而わび仕、向後私并ニ兄半左衛門共ニ悍虎松何方ニても見出シ申候者何れ方へ急度注進可仕候、此上とら松出申候而も親類之好身思切り申候上ハ善右衛門方ニも自今以後少もうらみ無御座候、爲日後日五人組好身之者連判仍如件

元祿十五年 長濱村本人 由左衛門(印) 午九月三日 兄 半左衛門(印)

長濱村 名主組頭衆中 好身 久右衛門(印) 同斷 金左衛門(印) 五人組 半三郎(印) 同斷 利兵衛(印) 同斷 十左衛門(印)

四六五

相渡シ申證文之夏

一今度我等醫術ニ罷成候ニ付貴殿息長之助と申者、所以有之候故、醫弟子ニ仕候、か様ニ相定申上ハ長之助身之上ニ如何様之義御座候共無沙汰ニ仕間敷候、其上長之助器量働次第ニ能醫者ニ仕、長之助廿歳之時ハ藥篋壹ツ持せ貴殿方へ相渡シ可申候、其時少も違亂申間敷候、若違背候ハ、如何様ニも御望ニ埒明可申候、爲後日一證人立之手形仍如件

木負村本人

山田 衛 庵(印)

寶永元年 甲申十月廿一日 同所 證人 愛淵與三左衛門(印)

豆州内浦木負村

愛淵徳兵衛殿

まいる

四六六

乍恐御訴訟申上候御事

一御入國此方、御茶御濱鹽鯛指上ケ候所者重寺村長濱村小海村、右三ヶ村之御茶鯛取上ケ候海場之儀者重寺海面久料海面迄三ヶ村ニ而古來ハ支配仕來候御事
一御茶取上ケ候道具之儀ハ重寺村ニ而者先規ハ長繩ニ而御茶相動申候、長濱村小海村之儀ハ先規ハ網ニ而御茶相動指上ケ申候處ニ五七年此方重寺村ニ而新網ヲ仕立、網壹狀之長百尋程御座候網千狀餘所持仕、御茶場海江置ちらし申候ニ付網場江鯛之儀者不レ及申、いか様之小着ニ而も一圓無ニ御座候、殊更三年以前ハ長濱小海兩村之網、海江入不申仕合ニ御座候故、御茶鯛調可仕様無ニ御座候、右之新網置不申候様ニ重寺村江段、斷申候得共重寺村之者我儘申承引不仕迷惑仕候、殊ニ鯛取上ケ候節ハ九月ハ二月三月中旬迄先年ハ長繩網共ニ海江入申候處ニ重寺村之者近年夏鯛大分取上ケ申候故、網海江入申候時分ハ網場江鯛壹枚も寄不申、兩村之者御茶鯛調申儀不罷成候ニ付方、商人ヲ頼、直段高直ニ買納難儀仕候、

右重寺村之者、先規ハ長繩ニ而御茶相動申上ハ新網之儀只今ハ海江置不申候様ニ御慈悲ヲ以、被レ爲ニ仰付可被下候、左様ニ御座候者長濱小海兩村之御茶無ニ遲滞ニ永ク相勤め申度候、重寺村之者御召被出御證儀之上、被レ爲ニ仰付被下候者難有奉存候、偏ニ御慈悲奉守候
右之通、兩村之儀、御茶永ク相勤申度奉願候、御尋(之)上委細可申上候、以上

寶永貳年

酉ノ五月

内浦組長濱村

名主 四郎左衛門(印)

組頭 太兵衛(印)

小海村

名主 次左衛門(印)

組頭 彦兵衛(印)

兩村惣百姓

御代官様

四六七

乍恐以返答書御訴訟申上候御事

一御入國以來、重寺村之儀、御茶濱御鹽鯛差上來り申候、依レ之高貳拾七石餘之高役御免被遊御茶御役相勤申候、獵道具之儀者長繩并網ニ而濱御鹽鯛取揚

ケ差上申候、長濱小海兩村之儀者高六拾五石餘之高役御免被遊御鹽鯛兩村ニ而相勤申候、獵道具之儀者貳人引六人引と申網ニ而濱御鹽鯛取揚、重寺村ナニニ差上ケ申候御事
一今度重寺村ニ長百尋程之新網千狀出來仕候と長濱小海兩村之者共申上候儀、曾テ左様成新網者壹狀茂無ニ御座候、其上三ヶ年以前ハ長濱小海兩村之網海江入不申候と申上候儀、大キ成偽リニ御座候、五七年以來別而貳人引六人引之網ニ而諸魚大分引揚ケ申候、今年ハ八月ハ拙者共海面ニ而右之網ニ而鯛引揚申候、又重寺村ニ而夏鯛つり申義者先規ハつり來り申候御事

一當三月長濱村組頭太兵衛小海村組頭彦兵衛兩人、重寺村江參候而申候ハ房州石子浦と申商人ニ請海ニ致せ長繩船四五艘も入候而はへさせ候様ニ相談致くれ候得と申來り候、拙者共申候ハ先規ハ無ニ御座候義ニ有レ之候間、請海ニハ罷成間敷と申、相返シ候處ニ又候右兩村之者共申候ハ重寺ナニニ網網おかせくれ候得と申候得共此網之儀も御入國以來、拙者共所持仕候得而長繩之ゑさ無レ之時分、正二月兩月斗置來り御茶御用相勤申候網之儀ニ候得者新規におかせ候儀、罷成間敷と申候、殊ニ重寺村之儀者伊豆駿河之國境之

浦ニ而御座候故、かせぎ仕候海邊、長繩はへ來り候
場處、網置來り候場處、網引來り候場處、先規の所
持仕候、其村之獵道具ヲ以、魚獵仕來り候得者新
法成儀、相互ニ不仕例式ニ御座候、縱御茶之御事ニ
御座候而茂新法成儀仕候而者所之獵場獵ニ罷成候
處ニ此度長濱村小海兩村之者共新法之義申出し彼是
我儘仕候、乍恐御證儀之上、前之通りニ被レ爲ニ
仰付被レ下候者難レ有可奉レ存候御事
右之通、御尋之上、口上ヲ以可ニ申上候、以上

寶永貳年 西九月

内浦組重寺村
組頭 團右衛門印
同 六右衛門印
名主 忠右衛門印
惣百姓

御代官様

四六八

證文之事

一此度重寺村ニ新網有レ之由ニ而長濱村小海村と重寺
村と出入ニ罷成候へ共新網無ニ御座候ニ付三嶋へ罷

四七〇
表紙
一枚ニ寫シ
一摺アリ

四六九

乍恐口上書ヲ以申上候御事

一長濱村ニ先年御茶鯛網貳狀御座候而濱鹽鯛相勤申
候處ニ去ル四日之津浪ニ而右貳狀之網、浪ニとられ
申候、此網之儀、芋網長百尋余をあミ袋三拾尋余繩網
手貳百尋余綱手千尋余之網ニ而御座候得者早速仕立
申義、不罷成候、右之あミ無ニ御座候而御用難
辨候間、網出來致候迄ハ御茶一納ニ鯛壹枚宛被レ仰
付可レ被レ下候、然上ハ買調候而急度御用ニ相立可
申候、右之網無ニ御座候而御茶之義ハ不レ及ニ申ニ
百姓渡世も不罷成難儀仕候間、御慈悲ニ右之通被
爲ニ仰付可レ被レ下候、偏ニ御介抱奉レ守候、以上

寶永四年亥十月

内浦組長濱村名主
四郎左衛門
小海村名主
八郎右衛門
御代官様

出於ニ御前ニ可レ及ニ評論ニ處、重須村大名主仙右
衛門殿木負村彌右衛門殿三津村覺右衛門殿七右衛門
殿左次右衛門殿御肝煎を以、重寺村鯛網之儀者累年
正月の三月中迄置、四月の極月迄ハ置不レ申候様ニと
御愛被レ成候ニ付其趣双方承引仕、右出入之儀、御愛
之通り内ニ而相濟シ申候、然上ハ向後相互ニ申分
無ニ御座候、勿論新法之儀、互ニ仕間敷候、爲ニ後日
双方證文取替し申候、仍而如件

寶永二年酉ノ九月

重寺村
名主 忠右衛門(印)
同所 團右衛門(印)
同所 六右衛門(印)
同所 幸助(印)
同所 惣百姓(印)

長濱村
四郎左衛門殿
太兵衛殿
小海村
治左衛門殿
彦兵衛殿

四七〇

(表紙)

寶永五年

伊豆國君澤郡三津村差出シ帳
子ノ五月 上ケ之扣也

一高百六拾貳石八斗 伊豆國君澤郡 三津村
九拾石六合 役引高
内拾壹石四斗四升三合 古荒引方
八斗貳升 役人屋敷引方
此反別拾四町九反四畝廿七步
此わけ
上田五町三畝拾五步 壹石五斗代
此分米七拾五石五斗貳升五合
内三石壹升 古荒引方
中田壹町九反六畝步 壹石三斗代
此分米貳拾五石四斗八升
内五斗六升三合 古荒引方
下田壹町七反貳畝貳步 壹石代
此分米拾七石貳斗七合

内四石貳斗 古荒引方
 上畑壹町五反九畝廿步 八斗代
 此分米拾貳石七斗七升三合
 内壹石六斗一升三合 古荒引方
 中畑六反九畝拾六步 六斗代
 此分米四石壹斗七升貳合 古荒
 内壹斗八升 五斗代
 下畑貳町三反六畝廿八步 古荒引方
 此分米拾壹石八斗四升七合 古荒引方
 内壹石八斗七升七合 古荒引方
 展敷壹町五反七畝六步 古荒引方
 此分米拾五石七斗貳升 古荒引方
 内八斗貳升 古荒引方
 右之寄 古荒引方
 田合八町七反壹畝拾七步 古荒引方
 内六反六畝拾貳步 古荒引方
 此分米百拾八石貳斗壹升貳合 古荒引方
 内七石七斗七升三合 古荒引方
 畑屋敷合六町貳反三畝拾步 古荒引方
 内六反廿壹步 役人屋敷引方
 内八畝六步 役人屋敷引方
 此分米四拾四石五斗壹升貳合

内四石四斗九升 右引方
 田畑屋敷合拾四町九反四畝廿七步 古荒引方
 内壹町貳反七畝三步 役人屋敷引方
 内八畝六步 役人屋敷引方
 此分米百六拾貳石七斗貳升四合 外七升六合不足
 内拾貳石貳斗六升三合 右引方
 一當村之義文祿三年午ノ八月彦坂小刑部様御檢地ニ而水帳御座候御事
 一新田畑井ニ見取之場、永荒立返り之場所無御座候御事
 一米七石七斗五升内ニ夫錢米も御座候 定納浮役
 是ハ網引場三ヶ所之海役米年々金納ニ仕候御事
 一網戸場三ヶ所網舟三艘ニ而立獵仕來候御事
 一御三ヶ市魚品、鱒、鮭、鱈、鯉、此分立漁仕候時ハ御運上御三ヶ壺被御召上候御事
 一右之魚釣漁之時ハ御運上御拾分一被御召上候御事
 一薪竹御運上御拾分一被御召上候御事
 一青石御運上貳拾分一被御召上候御事
 是ハ戸澤村ハ出申候、當村ニ御役ニ合申候御事
 一大小宮四ヶ所 内壹ヶ所ハ大明神、壹ヶ所ハ天方神、壹ヶ所ハ福神

一禪宗淨因寺 寺屋敷六百七拾七坪御除地
 一寺三ヶ寺御年貢地 内壹ヶ寺ハ淨土宗林照寺、壹ヶ寺ハ淨土宗來迎寺、壹ヶ寺ハ時宗海照寺
 一庚申堂壹ヶ所 淨因寺支配
 一御年貢米本石三斗五升ニ貳升出目共三斗七升外指米壹表ニ壹升ツ、出申候、外御口米壹表に壹升宛出申候
 一御年貢米之儀、濱場ニ御座候故、御藏直ニ舟積仕、江戸廻し仕候、運賃米百表ニ付四表半被下來候
 一所ハ漁船小揚ヶ船御座候而御運上指上ヶ申候
 船敷漁船五艘、但敷次立長登尋ニ付壹ヶ年ニ永三拾文宛小上ヶ船貳艘、但敷つき立登尋ニ付壹ヶ年ニ永廿五文つゝ指上ヶ申候、年々舟出來不足御座候而高下物ニ御座候御事
 一當村ハ三嶋迄道法三里半御座候御事
 一薪萱秣等前々ハ長瀬山入相ニ御座候而取來り申候、三津長瀬戸澤小坂此四ヶ村入相申候
 一三津村高之内廿壹石餘、三津坂を越、長瀬田地ト壹面ニ御座候、御取ヶ之義、本郷ニ壹ツ貳三分宛落申候御事
 一三津村之義、天水場ニ御座候、田植付之義、雨降次第ニ御座候、ハ年々植付候、旬違ひ申候年々植付不

申事も度々御座候、但田方八町余之内、壹町四反余用水場御座候、此水長濱村之内、水上ヶと申所ハ先規引來り申候御事
 一田作之義、猪大分出申候ニ付早稻方毛白杯多ク作り申候ハ共草稻ハ猪喰荒シ申候御事
 一畑作ハ麥粟稗等作り申候、猪大分ニ出、夏冬おい申候ハ共作も「の」喰荒シ申候、茶桑漆樹木等無御座候御事
 一百姓男女共ニぼていふり鹽井ニいわし其外かつき商ひ仕、其日くらし仕候御事
 一網戸場波よけ之嶋三ヶ所御座候、崩レ申候ハハ川除人足ニ御差かへ被下、郷人足を以築立申候御事
 一三津村高百六拾貳石八斗之内九拾石六合御役引之高、先規御座候而殘高七拾貳石七斗九升四合ニ而河除諸事高御役相勤申候御事
 一村中大工貳人鍛冶壹人紺屋貳人たか師壹人石切五人御座候
 一金銀鐵鉛銅山井ニこんせうろくせう土朱ろうは其外何ニ而茂御運上可指上ヶ山無御座候
 一當村ニ酒屋無御座候
 一おとし鐵炮登丁御座候、玉目貳匁八分
 是ハおとし筒「ニ」御座候故、御役ハ不仕候御事

一御種借り無御座候御事
 一御朱印并御建立之社無御座候御事
 一比丘尼山伏、村中無御座候
 一當村ニ何ニ而茂名物もの無御座候
 一陰陽師登人御座候御事
 一御藏屋敷一反六畝廿歩 除地
 一當村高之内壹石九斗貳升四合長濱村ノ入作御座候
 一米貳石五斗五升 定納浮役 小海村へ納申候
 是ハ小海村ニ網戸持候海役ニ納來リ申候
 一米六表壹斗三升壹合 定納浮役 長濱村へ納申候
 是ハ長濱村ニ網戸持候海役ニ納來リ申候
 一米七斗八升壹合 定納浮役 重須村へ納申候
 是ハ重須村ニ網戸持候海役ニ納來リ申候
 一米七斗五升 定納浮役 重寺村へ納申候
 是ハ重寺村ニ網戸持候海役ニ納來リ申候
 一淺草御藏前入用高百石ニ金壹分宛掛リ申候御事
 一名主給米六表半、村中ノ出し申候
 一組頭給金三分宛村中ノ出し申候
 一定夫給米三表半宛村中ノ出し申候
 一御六尺給米高百石ニ壹斗七升貳合八勺、本石出し申候
 一小穀代高百石ニ永貳拾貳文四分ツ、出し申候

一宿役人用高百石ニ本石六升六合ツ、出申候
 右之通、名主百姓吟味仕、書上ケ相違無御座候、跡ノ御運上納來リ不申候とも御運上ニ可罷成、物御座候ハ、無隠書上ケ可申旨、色御詮罷罷成候ハ共右之外何ニ而茂書上ケ可申物無御座候、若隱置、後日御聞被成候ハ、此連判之者共如何様之曲事ニ茂可被仰付候
 寶永五年子、五月
 名主 覺右衛門
 組頭 市郎右衛門
 百姓 佐治右衛門
 七右衛門
 助左衛門
 御役所屋敷
 一上畑四畝貳歩
 右者長濱村御役所屋舖無之候ニ付貴殿畑之内上畑四畝貳歩十貳ケ村ニ而借り御役所相建申候、右作徳米と

して壹ヶ年ニ米六斗宛相渡シ申答ニ相定申候、右之米相濟候義者從御 公儀様一上畑壹反五畝歩御引被下候内、七兵衛分共ニ五畝歩地主方へ御引取、殘而壹反歩十二ヶ村へ請取、貴殿作徳米相渡可申候、然上者御役所重而何方へも御引被成候ハ、右之畑御受取支配可被成候、爲後日一札相渡シ申候、仍而如件
 内浦組十貳ヶ村名代重須村
 大名主仙右衛門(印)
 寶永五年 子八月 長濱村 七殿 惣
 長濱村 惣
 長濱村 證人四郎左衛門(印)

四七二

相定メ申證文之事
 一貴殿網子勤申答ニ御座候、それニ付網子屋舖之内、借地いたし年季定メ罷有候、年季之義、寅之三月ノ申之三月迄中年拾八年罷有答ニ御座候、すゑ三年之儀者壹ヶ年ニ錢貳百文宛ノ地代を勘三郎殿方江出シ可申候、若此屋舖罷立、何方江參り候とも貴殿網子永ク相勤可申候、爲其手形證人ヲ立、仍而如件

寶永七年 寅之三月
 本人 佐右衛門(印)
 證人 彌左衛門(印)
 同 庄左衛門(印)
 圓右衛門殿
 勘三郎殿
 まいる

四七三

指上ケ申一札之事
 一此度朝鮮人來朝ニ付舟橋入用之儀、懸り申候哉と御尋、被遊候所ニ先年ノ御菜場之儀者入用か、甲
 〇ニ高役人足等之儀も御菜場之村ニハ右同前ニ御座候、爲後日一仍(如)件
 寶永七年 寅ノ五月廿二日
 重寺 忠右衛門
 長濱 四郎左衛門
 御代官様

【表無共】
【十二枚】

四七四

寶永七年
伊豆國君澤郡
長濱村郷村并反別差出帳
寅之 六月
名主 四郎左衛門

百拾七年以前午ノ八月彦坂小刑部兼御檢地
御繩辻
一高四拾三石五斗三升五合

内六石貳斗壹合 古荒

此反別四町三反九畝貳步

内貳町壹反四畝拾貳步 田方
内貳町貳反四畝貳拾步 畑方

此譯

盛十五
上田六反八畝貳拾六步

此分米拾石三斗三升 古荒

盛十三
中田七反七畝四步

此分米拾石貳升七合 古荒

内三畝貳拾五步

盛十
下田六反八畝拾貳步
此分米六石八斗四升 古荒

盛八
上畑五反七畝拾壹步
此分米四石五斗八升七合 古荒

内壹反五畝步 古荒
内壹反五畝步 御役所屋敷
六畝步 砂入

盛六
中畑七畝九步
此分米四斗三升八合 古荒

内貳拾步 古荒

盛五
下畑九反三畝貳拾四步
此分米四石六斗九升 古荒

内五反四畝壹步 古荒

盛十
屋敷六反六畝六步
此分米六石六斗貳升

分米合四拾三石五斗三升五合
【ハリ無】
一海獵是ハ鋪鮪まくろめしか鯉鮪、此分立獵仕候節ハ常村御役人様へ御注進仕、御改ヲ請、近浦之商人入札ニ致、其直段ニテ御運上差上ケ申候、魚數

【ハリ無】
一海獵是ハ鋪鮪まくろめしか鯉鮪、此分立獵仕候節ハ常村御役人様へ御注進仕、御改ヲ請、近浦之商人入札ニ致、其直段ニテ御運上差上ケ申候、魚數

一壹野錢 無御座候
一海役 網戶場定納浮役
米拾四石七斗

是ハ御石代御直段ヲ以、金納仕候、尤御口米分銀共ニ指上ケ申候
一海運上之義ハ鋪鮪まくろめしか鮪、此分立獵仕候節ハ長濱村御役人様江御注進仕、御改ヲ請、近郷之者入札ニいたし其直段ニ而御運上指上ケ申候、何獵何程何獵何程取申候哉、獵金年中見積り渡申上候事

一永壹貫貳拾九文六分 但獵舟拾艘
是ハ御運上永舟數キ壹尋ニ付永三拾文宛外ニ口永分銀出シ申候、年々舟指出指上ケ申候、尤舟數増減御座候事

一當浦 是ハ三津海境ハ重須海境迄六町程御座候
【ハリ無】
一網代役 無御座候
一鹽濱役 無御座候
一川運上 無御座候
一鯉鮪運上 無御座候
一鱒鮪運上 無御座候
一鮎運上 無御座候
一浦濱役錢 無御座候

【ハリ無】
是ハ先規ハ少宛持來候、尤薪出シ候節ハ戶田村之者ニ賣拂申節、當村御役所へ申達、御改ヲ請、十分一運上買入方ノ指上ケ申候、惣百姓年中伐出シ拂候金高見積り一年

【ハリ無】
是ハ少ミツ、居山林持來候、作間ニ切出シ戶田村商賣之有レ之當地ニ而ウリ渡シ申候節、當村御役人様御改ヲ請申候、薪十分一御運上之義ハあき人方ノ指上ケ賣主ハ構無御座候、拾一薪定直段立山木兩ニ五百七拾わ替イ右買入方ノ金子御請取被レ成十分一御直段之義ハ前年正月御究メ被レ成年中右ノ直段ヲ以、御運上御取立被レ成候

【ハリ無】
之義、鋪百本程めしか百本鮪貳拾四五本程經五拾本鮪六百五拾本程取申候、此金高貳拾四五兩程年中獵仕候、丑ノ年分ノ積り如此ニ御座候、尤魚數直段共ニ増減御座候

一綿代麻代 無御座候
 一絹紬代 無御座候
 一桑代 無御座候
 一楮代 無御座候
 一漆代 無御座候
 一茶代 無御座候
 一疊表代 無御座候
 一紅花代 無御座候
 一粟代 無御座候
 一樹木代 無御座候
 一紙舟代 無御座候
 一鐵炮錢 無御座候
 一鳥もち役 無御座候
 一炭燒役 無御座候
 一板柱役 無御座候
 一柏山林 無御座候
 一百姓持柏林 無御座候
 一楊梅山 無御座候
 一諸材木 無御座候
 一白土燒 無御座候
 一金銀山 無御座候
 一銅鉛鐵山 無御座候

一硫黃山 無御座候
 一砥山 無御座候
 一椎茸 無御座候
 一松茸 無御座候
 一土朱 無御座候
 一諸石 無御座候
 一赤土 無御座候
 一諸海草 無御座候
 是ハ當所海邊居村ニ御座候ヘ共何ニ而モ海草無ニ
 御座候
 一諸役除高
 是ハ當村御茶場ニ御座候故、四拾三石五斗三升五
 合之地方役之義ハ何ニ而モ不仕候
 一永荒高六石貳斗壹合
 是ハ前ニ古荒川缺御年貢御免ニ御座候
 一荏ノ納 無御座候
 一大豆ノ納 無御座候
 一大小麥ノ納 無御座候
 一糖蕪ノ納 無御座候
 一繩苧ノ納 無御座候
 一御林 無御座候
 一並木御林 無御座候

一御立菅野林土地 無御座候
 一水帳寫シ登冊 名主 四郎左衛門所持
 是ハ百拾七年以前午ノ彦坂小刑部様御檢地水帳寫
 御座候
 一名寄帳 右同斷
 是ハ百姓持反別銘ニ書譯、前ニ所持仕高反別相
 違無ニ御座候
 一越石高 無御座候
 一御年貢米 但三斗七升入
 是ハ本石三斗五升ニ延米貳升加江外ニ込米壹升、
 都合三斗八升相納申候
 一御口米
 是ハ本石壹俵ニ登升宛御年貢米同前ニ相納申候、
 小口米と申ハ無ニ御座候
 一御菜
 是ハ濱鹽鯛壹枚十月五日指上申候、十二月五日右
 同斷、來二月五日壹枚右同斷、其時ニ當村ノ三嶋
 御陣屋迄指上申候
 一知御年貢未納 無御座候
 一口永
 是ハ本永壹ノ文ニ付永三拾文宛相納申候

一御年貢米
 是ハ前ニ石代ニ而奉願、江戸廻シ不仕候
 一御年貢石代金
 是ハ先年ノ皆金納之村ニて御座候
 御宮金
 一拜借金四兩永百四拾五文八分五厘御年賦残り
 是ハ巳年ノ寅年迄拾年賦之内、丑年迄九年返上納
 仕候
 箱根金
 一拜借金貳兩貳分
 是ハ利足壹割五分積リ丑年迄相濟申候
 一步銀
 是ハ金拾兩ニ付銀五分宛出し申候夏
 一御年貢繩表拵 無御座候
 一名主給米五表 四郎左衛門
 是ハ先規ノ相勤來候給分、相百姓高割ニて出し申
 候夏
 一組頭壹人 たれ
 是ハ前ニ給分無ニ御座候
 一定使給金壹兩 但壹人
 是ハ給金貳分ハ高割、貳分ハ棟割、惣百姓割合出
 候
 三嶋
 一御陣屋守給米壹升五合

<p>是ハ惣百姓高割仕遣申候</p> <p>同斷 一籠屋給米七合 是ハ高百石ニ付登升五合ツ、出し申候夏</p> <p>一百姓每役義 是ハ諸事所入用高壹石ニ付永百六拾文程ツ、此外 水吞百姓も棟役と申、少々宛出し申候夏</p> <p>一夫食種貸 無御座候</p> <p>一御年貢未進 無御座候</p> <p>御年貢地 一陣屋敷壹反五畝歩 御役所 貳軒</p> <p>是ハ先年御役所三津村ニ御座候所ニ去ル子ノ年御 給所ニ相渡り候ニ付御役所當村江貳軒共ニ御入用 ニ付御立被レ遊候、内壹軒ハ新規ニ仕、壹軒ハ三津 村御役所屋引取御取立被レ遊候、屋敷ハ百姓地ニ御 座候、御年貢之儀ハ年々御免許ニ付御引被レ下候、 作徳米貳表ツ、何村ノ二十ヶ村ノ毎年御陣屋地 主方へ遣し申候</p> <p>一籠屋舖 無御座候</p> <p>一用水堰 貳ヶ所</p> <p>是ハ當村澤水、相百姓罷出、堰普請仕候事</p> <p>一溜井 無御座候</p> <p>一坑堤 無御座候</p>	<p>一用水樋 無御座候</p> <p>一川除場所 無御座候</p> <p>一橋 無御座候</p> <p>一御傳馬役 先規ノ相勤不申候 但三拾貳里</p> <p>一當村ノ江戸日本橋迄 是ハ當村ノ三嶋町へ四里</p> <p>一當村ノ御城下江 相州小田原へ十二里 駿府江貳拾里</p> <p>一當村ノ何方へも市場 無御座候</p> <p>酒かふ米貳石 酒屋 太兵衛</p> <p>一造酒屋 是ハ酒造米高寅ノ年ノ去丑ノ年迄造米四斗宛造來 り申候</p> <p>一鐵炮壹挺 玉目貳又八分 筒長貳尺八寸 四郎左衛門</p> <p>是ハ山方ニ御座候故おとし之ため所持仕、玉なし ニ御座候</p> <p>一當村 枝郷 無御座候</p> <p>一無地高 無御座候</p> <p>一野 無御座候</p> <p>給金何程も 一大名主給金永百五文 重須村 仙右衛門</p> <p>是ハ重寺村ノ小下田村迄十六ヶ村割合ニ而出し申 候</p>
--	---

<p>一御鷹場 無御座候</p> <p>一御拜領鷹場 無御座候</p> <p>一鳥獵師 無御座候</p> <p>一商物問屋 無御座候</p> <p>一きさこ取場 無御座候</p> <p>一藪田菅田 無御座候</p> <p>一麻田 無御座候</p> <p>一茶畑 無御座候</p> <p>一玉畑 無御座候</p> <p>一麥田 無御座候</p> <p>一畑方秋毛 無御座候</p> <p>此反別五反歩余粟 作申候夏 貳反五畝歩科</p> <p>一秣取場 是ハ當所秣入用無御座候、入用之者有レ之候へハ 居山附ニ而取申候</p> <p>一新田畑開發 無御座候</p> <p>一谷地 無御座候</p> <p>一沼地 無御座候</p> <p>一船渡場 無御座候</p> <p>一川 無御座候</p> <p>一捨牛馬 無御座候</p> <p>一御預ケ犬 無御座候</p>	<p>一御改竹木 無御座候</p> <p>一御證文之類 無御座候</p> <p>一評論 無御座候</p> <p>一切死丹類族 無御座候</p> <p>一追放百姓 無御座候</p> <p>一御取上田畑 無御座候</p> <p>一御朱印寺社 無御座候</p> <p>一辻堂 無御座候</p> <p>一虛無僧寺 無御座候</p> <p>のそき地 一寺屋舖 但三畝七歩 同國玉澤妙法花寺末寺 住本寺</p> <p>御年貢地 一寺屋舖 但貳畝五歩 相州藤澤清淨光寺末寺 時宗 安養寺</p> <p>一大明神宮 竪四尺 但宮地長何程 竪四間 横三尺 横五間</p> <p>是ハ當村鎮守、祭禮ハ無御座候夏</p> <p>一辨才天祠 竪壹尺 竪壹間 横八寸 横四尺</p> <p>一神明祠 竪三尺 竪壹間 横貳尺 横五尺</p> <p>一庵室 梁間貳間 竪四間 住本寺末下 桁行三間半 竪三間 宗順</p> <p>是ハ庵主道心者ニ而致ニ修行ニ渡世仕候、庵室破損 仕候節ハ當村並隣郷觀化仕候夏</p> <p>一高三石貳斗五升四合 重須村へ出作</p>
---	--

一入作 無御座候
 一旱損田 無御座候
 一田成畑 無御座候
 一取置候質田地 無御座候
 一入置候質田地 無御座候
 一質田畑^{ハリ} 無御座候
 是ハ田畑質物ニ書入、金子借用申候ニ者上田壹反歩書入候テハ金子貳兩三分、中田下田ニテハ壹兩三分貳兩迄借り申候、上畑壹反歩入候テハ金壹兩貳分中下畑ニテハ壹兩程右之積リヲ以、借用申候、尤御年貢御役共ニ質物請取候者相勤申候
 一水損田 無御座候
 一旱損畑 無御座候
 一田植 無御座候
 是ハ五月節ノ十日も過、植初、四五日程ニ植仕廻申候、御檢見ハ秋土用過ニ請申候夏
 一水損畑 無御座候
 一畑成田 無御座候
 一上畑成屋舖三反三畝拾壹步
 是ハ伊奈兵右衛門様御支配之節、三拾貳三年前上畑成ニ被遊被下候夏

一百姓薪 是ハ百姓自分林ニ而薪取申候
 一勘當者 無御座候
 一百姓家作 是ハ所ニ而買調申候、四壁有レ之候者ハ少ニ宛四壁之竹木らも足シニ遣申候ハ共御斷申上候義ハ無御座候夏
 一雜穀 是ハ所ニ而作申候、粟稗賣買申義ハ無御座候、麥大豆杯ハ無御座候故買調申候、此金高
 一粮野菜 是ハ菜大根少ニ宛作申候、不作之節ハ野山ニ而取粮ニ仕候夏
 一作奉公人 是ハ壹年切給分、男ハ三分ハ壹兩貳分迄抱申候、女ハ壹年ニ壹分ハ壹分貳分迄抱申候夏
 一作馬 無御座候
 一男作間 是ハ獵ニ出申候外ニ稼ハ無御座候
 一女作間 是ハ少ニ宛木綿織、男女之仕着拵^前あミをうみ申外、稼ハ無御座候

一市立商人 無御座候
 一馬苦勞 無御座候
 一浪人 無御座候
 一醫者 無御座候
 一大工 無御座候
 一紺屋 無御座候
 一山伏 無御座候
 一力者早道 無御座候
 一神子 無御座候
 一行人 無御座候
 一傀儡師 無御座候
 一猿引 無御座候
 一太夫 無御座候
 一鉦打 無御座候
 一遊女 無御座候
 金合六兩貳分永百四拾五文 村中拜借仕候分
 米合壹石八斗七升貳合 八分五厘 惣百姓割合出ス分
 金合七兩三分永貳百拾六文 同斷
 右ハ壹ケ年分入用、惣百姓割合出之中候
 家數合三拾六軒 内本百姓三拾軒 内水吞百姓六軒
 外ニ寺 貳ヶ所

此入別百三拾七人 廬 壹ヶ所
 七拾五人 男
 內五拾九人 女
 三人 出家
 右之通、當村諸色御改ニ付先規ハ當分迄有來候品々員數毛頭無レ偽書上申候、若有來候義、隱置候ハ、後日ニ被レ及ニ御聞候共拙者共如何様之曲事ニ茂可レ被レ仰付候、爲レ其名主組頭長百姓印判仕差上ケ申候、仍如件
 寶永七年 寅 六月 豆州君澤郡長濱村
 名主 四郎左衛門
 組頭 太兵衛
 長百姓次郎兵衛
 小林又左衛門様御内
 篠田久右衛門殿
 新井甚五左衛門殿

四七五
〔表紙共十九枚〕

四七五

〔表紙〕

寶永七年
伊豆國君澤郡
重寺村郷村并反別指出シ帳
寅ノ 六月
名主 忠右衛門

百拾七年以前午ノ年彦坂小刑部様御檢地
一高貳拾七石六斗三升七合 御繩辻

内四石五斗貳升三合 古荒

此反別三町貳反八畝四步

内七反四畝五步 田方
内貳町五反三畝廿九步 畑方

此譯

盛十五 上田五反壹畝拾七步

此分米七石七斗三升五合

内壹反貳畝拾八步 古荒

盛十三 中田壹反三畝拾三步

此分米壹石七斗四升六合

内壹畝九步 古荒

盛十 下田九畝五步
此分米九斗壹升七合

内三畝貳步 古荒

盛八 上畑七反四畝八步
此分米五石九斗四升壹合

内壹反壹畝廿三步 古荒

盛六 中畑四反壹畝廿步

此分米貳石五斗

内貳反八步 古荒

盛五 下畑壹町三步
此分米五石五合

盛十 屋舖三反七畝廿八步

此分米三石七斗九升三合

分米合貳拾七石六斗三升七合

一田畑見取場 無御座候
一米六石 海役米

是者網戸場定納浮役御石代御直段ヲ以、金納ニ候、尤御口米夫銀共ニ差上ケ申候事

一永貳貫八百六拾貳文六分 但獵舟共八艘

是者舟役敷次立、長壹尋ニ付永三拾文宛外ニ口永分銀出申候、年々舟指出し指上ケ申候、尤年々舟數増減御座候吏

一海獵

是者鯖鮪まぐろめしか鮪しふわ此分立獵仕候節者長濱村御役人様へ御注進仕、御改ヲ請、近村之商人入札いたし其直段ニて御運上指上ケ申候、魚數之儀、鯖八拾本ほと鮪百貳拾本經四百本めしか貳百五拾本程、此金高三拾兩ほと年中ニ立獵仕候、右ハ去ル丑ノ年分之積り如此ニ御座候、尤魚數直段共ニ年々増減シ御座候吏

一釣獵

是ハ鯖鯉めしかまくろ鮪しふわらさ釣獵仕候節者長濱村御役所ニ而御改を請、御拾分壹指上ケ申候、釣鮪貳百五十本經三百本わらさ三千本ほと釣り申候、此金高五十兩ほと釣獵仕候、尤魚數直段共ニ年々高下御座候、右ハ去ル丑年分之積り如此ニ御座候、右之内、釣わらさの義ハ先規久連根と申場所ニ而重寺村之獵師釣出し御忠節仕、御拾分一指上ケ申來候、依之他村之獵師此場所へ一切入込不仕候、先年釣來り申

候義、偽無御座候吏

一當浦 是ハ駿州口野海境ノ豆州小海村海境迄拾町余御座候、但し廻船潮掛り仕候義も御座候

一野錢山錢 無御座候

一御林下草錢 無御座候

一百姓林錢 無御座候

一萱野錢 無御座候

一網代役 無御座候

一鹽濱役 無御座候

一綿代麻代 無御座候

一絹細代 無御座候

一桑代 無御座候

一楮代 無御座候

一漆代 無御座候

一茶代 無御座候

一疊表代 無御座候

一紅花代 無御座候

一粟代 無御座候

一樹木代 無御座候

一紙舟代役 無御座候

一鐵炮錢 無御座候

一鳥もち錢 無御座候
 一炭焼役 無御座候
 一板柱役 無御座候
 一柏山林 無御座候
 一百姓持柏林 無御座候
 一楊梅山 無御座候
 一諸材木 無御座候
 一金銀山 無御座候
 一白土燒 無御座候
 一銅鉛鐵山 無御座候
 一硫黃山 無御座候
 一砥山 無御座候
 一椎茸 無御座候
 一松茸 無御座候
 一土朱 無御座候
 一堅石 淡嶋山より申候
 是ハ先規の駿府 御城御用石御用之時分者御奉書山御證文にて町人石御請負之者、罷來り三嶋御陣屋長濱村御役所へ御注進仕、御用分切出し申候、尤當年も駿府 御城御本丸二ノ御丸御石垣并二ノ御丸東御門臺石三ヶ所御用石駿府町人御請負仕、切出申候支

一赤土 無御座候
 一諸海草 無御座候
 一諸役除高
 是ハ當村先規の御菜役場ニ御座候故、高貳拾七石六斗三升七合之地方役儀何にても不仕候
 一永荒高四石五斗貳升三合
 是ハ先の永荒御座候故、御年貢御免ニ被遊候
 一苑ノ納 無御座候
 一大豆納 無御座候
 一大小麥納 無御座候
 一御林 無御座候
 一御立萱野林土地 無御座候
 一水帳之寫シ登冊 名主 忠右衛門所持
 是ハ百十七年以前午ノ年彦坂小刑部様御檢地
 一名奇帳 右同斷
 是ハ百姓持反別銘と書譯ケ先の高帳ヲ以、御年貢割合仕候事
 一越石高 無御座候
 一御年貢米 但三斗七升入
 是ハ本石三斗五升ニ延米貳升加へ外ニ込米登升都合三斗八升相納申候事
 一御口米

御上り
 一御茶
 是ハ濱鹽調貳枚十月五日ニ指上ケ貳枚十二月五日ニ指上ケ貳枚來ル二月五日差上ケ申候、其時分當村の三嶋御陣屋まで指上ケ申候支
 一畑御年貢米納 田方一同ニ相納申候
 一御口米
 是ハ本永一貫文ニ付三拾文宛指上ケ申候
 一御年貢米
 是ハ前の石代にて奉願江戸廻不仕候
 一御年貢石代金
 是ハ先年の皆金納ニ御座候
 一拜借金 無御座候
 一步銀
 是ハ金拾兩ニ付銀五分宛出申候支
 一御年貢繩俵ノ拵 無御座候
 一名主給米貳石 忠右衛門
 是ハ先規の相勤來り申候給分ハ惣百姓棟割ニ仕來候
 一組頭登人 團右衛門

一定夫給金壹兩
 是ハ前との棟割ニ仕候
 三嶋
 一御陣屋守給米登升
 是ハ高百石ニ付米三升五合宛割懸り申候
 一籠屋守給米四合
 是ハ高百石ニ付米壹升五合宛割懸り申候
 三嶋宿御役人
 一給米貳升
 是ハ四年以前亥之年の出ス、國中割合去丑年分如レ此ニ御座候、惣百姓高割ニ仕候
 一百姓舟役錢
 是ハ諸吏所入用永八貫文程入申候、割様之義ハ永壹貫五百文ほど高割、貳貫五百文程棟割、四貫文程船割、右其品にて割掛ケ申候、但年々高下御座候
 一夫食種貸 無御座候
 一御年貢未進 無御座候
 一陣屋屋舖 無御座候
 一籠屋舖 無御座候
 一用水ノ溝 貳ヶ所

是ハ當村澤水ニテ惣百性罷出溝普請仕候
 一溜井 無御座候
 一坎樋 無御座候
 一川除場所 無御座候
 一橋 無御座候
 一御傳馬役
 是ハ先規ノ相動不申候
 一當村ノ江戸日本橋迄 但三拾壹里半
 是ハ三嶋ノ三里半
 是ハ江戸ノ脇道無御座候、三嶋ノ罷出、往來仕候
 一當村ノ御城下江 但相州小田原ノ十一里半
 一當村ノ何方ノ市場 但駿府ノ十九里半
 一造酒屋 無御座候
 一浦御高札 無御座候
 一鐵炮 無御座候
 一當村ノ枝郷 無御座候
 一無地高 無御座候
 一野 無御座候
 一大名主給永六拾九文 重須村 仙右衛門
 是ハ重寺村ノ小下田迄拾六ヶ村高割ニテ出シ申候

一鳥獵師 無御座候
 一商内物問屋 無御座候
 一きさこ取場 無御座候
 一蘭田昔田 無御座候
 一麻田 無御座候
 一茶畑 無御座候
 一玉畑 無御座候
 一麥田 無御座候
 一畑方秋毛 無御座候
 是ハ貳反歩ほど木綿、貳反余ほど大豆、貳反歩ほど小豆大角豆、八反歩程粟、四反歩程稗、右之作反別分如此ニ御座候
 一秣取場 無御座候
 一新田畑開發 無御座候
 一谷地 無御座候
 一沼地 無御座候
 一舟渡場 無御座候
 一川 無御座候
 一捨牛馬 無御座候
 一御預犬 無御座候
 一御改之竹木 無御座候
 一御證文類 無御座候

一評論 無御座候
 一切死丹類族 無御座候
 一追放百性 無御座候
 一御取上ノ田畑 無御座候
 一御朱印ノ神社 無御座候
 一辻堂 無御座候
 一虛無僧寺 無御座候
 御年貢地 豆州名古屋村國清寺末寺禪宗 醫源寺
 一寺屋舖三畝歩 大慈庵
 御年貢地 豆州名古屋村國清寺末寺禪宗 醫源寺
 一寺屋舖貳畝歩 大慈庵
 除地 白山權現宮 竪六尺七寸 竪四尺三寸 竪五間 竪四間 別當 大慈庵
 是者當村鎮守、祭禮無御座候
 除地 大六天ノ祠 竪貳尺五寸 竪壹尺八寸 敷地 竪壹間 同 斷
 除地 牛頭天王祠 竪三尺三寸 竪貳尺 竪四間 同 斷
 除地 稻荷ノ祠 竪貳尺 竪壹尺貳寸 竪地 竪壹間 別當 醫源寺
 除地 西宮ノ祠 竪貳尺 竪壹尺貳寸 竪地 竪五尺 別當 大慈庵
 除地 觀音堂 竪三間半 竪三間半 竪地 竪拾間 同 斷

除地 淡嶋辨才天ノ宮 竪六尺五寸 竪四尺貳寸 敷地 竪五間 同 斷
 除地 淡嶋諏訪明神ノ祠 竪貳尺五寸 竪壹尺八寸 敷地 竪三間 同 斷
 一庵室 無御座候
 一高八斗三升 三津村ノ入作
 是者當村百性貳人三津村百姓貳人ノ有合ニ賣置申候畑畑ニテ御座候、御年貢御役之儀ハ買主方ノ相動申候
 一出作 無御座候
 一早損田 無御座候
 一田成畑 無御座候
 一取置質田地 無御座候
 一入置候質田地 無御座候
 一質田地 無御座候
 是者田畑質物ニ書入借用仕候義、上田壹反歩書入候而ハ金貳兩壹貳分、中田下田ニテハ貳兩貳分ニ借り申候、上畑壹反歩入候ニハ壹兩壹貳分、中下畑ニ而ハ壹兩程、右之積リヲ以、借用仕候、尤御年貢御役共ニ質物請取候者相動申候
 一水損田 無御座候
 一旱損畑 無御座候
 一田植 無御座候

是ハ五月節ノ十日も過キ植始メ二日斗ニ植仕廻申候、御檢見ハ秋土用過キニ請申候□
 一水損畑 無御座候
 一畑成田 無御座候
 一百姓薪取候持山
 是ハ百姓持林ニ而積ニ伐リ申候分ハ戸田村舟持ニ賣申候節長濱村御役人様御改ヲ請申候、尤御拾分壹之義ハ買主方ノ指上ケ賣主ハ構無ニ御座候、御直段之義ハ毎年正月御究被レ成年中右之直段ヲ以、御運上御取被レ成候、百姓薪ニ仕候ハ山伐申候時分、枝葉等タキ申候、其外ハ隣村ニテ買調薪ニ仕候事
 一勘當者 無御座候
 一百姓家作
 是者所ニテ買調申候、四壁有之候者ハ少ニ宛四壁之竹木をもたしニ遣申候へ共前ニ御斷申上候義無ニ御座候
 一雜穀
 是ハ所ニテ買調申候、粟代金三兩ほと稗壹兩余程麥六拾兩余程大豆拾四五兩程小豆四五兩ほとつゝ年ニ買調申候、賣リ申義ハ無ニ御座候
 一狼野菜

是者菜大根少とつゝ作申候、其外者金拾兩程宛買調糧ニ仕候、不作之□ハ野山ニテ取糧ニ仕候事
 一作奉公人
 是ハ壹年切給分、□ハ金三分ノ壹兩貳分迄抱申候、女ハ壹年ニ金壹分ノ壹分貳朱迄ニ抱申候事
 一作牛馬 無御座候
 一作作間
 是ハ獵場ニ御座候故、海へ出申候外ニ稼ハ無ニ御座候
 一女作間
 是者少ニ宛木綿織、男女之仕着拵、網麻うみ申候外かせきハ無ニ御座候事
 一市立商人 無御座候
 一馬苦勞 無御座候
 一浪人 無御座候
 一醫者 無御座候
 一大工登人 傳 助
 是ハ當村所生之者、舟大工仕來申候
 一鍛冶登人 市右衛門
 是ハ當村所生之者ニテ釘細工仕來申候
 一紺屋 無御座候

一山伏 無御座候
 一力者早道 無御座候
 一神子 無御座候
 一行人 無御座候
 一傀儡師 無御座候
 一猿引 無御座候
 一大夫 無御座候
 一鉦打 無御座候
 一道心者 無御座候
 一遊女 無御座候
 米合貳石三升四合 惣百姓割ニ而出分
 金合九兩永六拾九文 同 斷
 家數合五拾五軒 内 本百姓四拾貳軒 水吞百姓拾三軒
 外寺 貳ヶ寺
 此人別三百四拾三人
 内 百九拾三人 男
 百五拾人 女
 外四人 出家

右之通、當村諸色御改ニ付先規ノ當分迄有來候品、員數毛頭無レ僞書上ケ申候、若有來候義、隱置候而後日ニ被レ及ニ御聞候ハ、拙者共如何様之曲変ニ茂可レ被レ爲ニ

仰付候、爲レ其名主組頭長百姓印判仕差上ケ申候、仍如件
 寶永七年寅ノ六月 豆州君澤郡重寺村 名主 忠右衛門 組頭 團右衛門 長百姓 六右衛門 同斷 六兵衛
 小林又左衛門様御内 篠田久右衛門殿 新井甚五左衛門殿
 〔別紙ニ枚〕
 〔小林又左衛門様上ル〕
 右ハ□年入用惣百姓割合出申候分如レ此御座候、此外三嶋御陣屋ノ江戸へ飛脚等郡中高割ヲ以、毎年出申候

四七六
 請取申金子之事
 合金拾兩銀五匁也
 右者從前ニ其村ニ有レ之候役屋鋪地面八畝六步之所、

圖次
（表紙共拾枚）

今度相拂候（ニ）付入札申付候處、其方落札ニ而書面之
金不レ殘請取之候、然上者向後村並之通、年貢諸役無レ滯
相勤可レ申候、爲レ後證一各令三印形ニ候處仍如件

寶永八年卯正月

葛岡齋藤次（印）

高田源右衛門（印）

三津村名主

井上茂右衛門（印）
覺右衛門殿

四七七

請取申金子之事

合金壹分永百九文貳分

右是ハ去寅之御年貢〇リ物納分請取申所仍如件

寶永八年卯二月廿九日

鈴木義右衛門（印）

長濱村名主

四郎左衛門殿

四七八

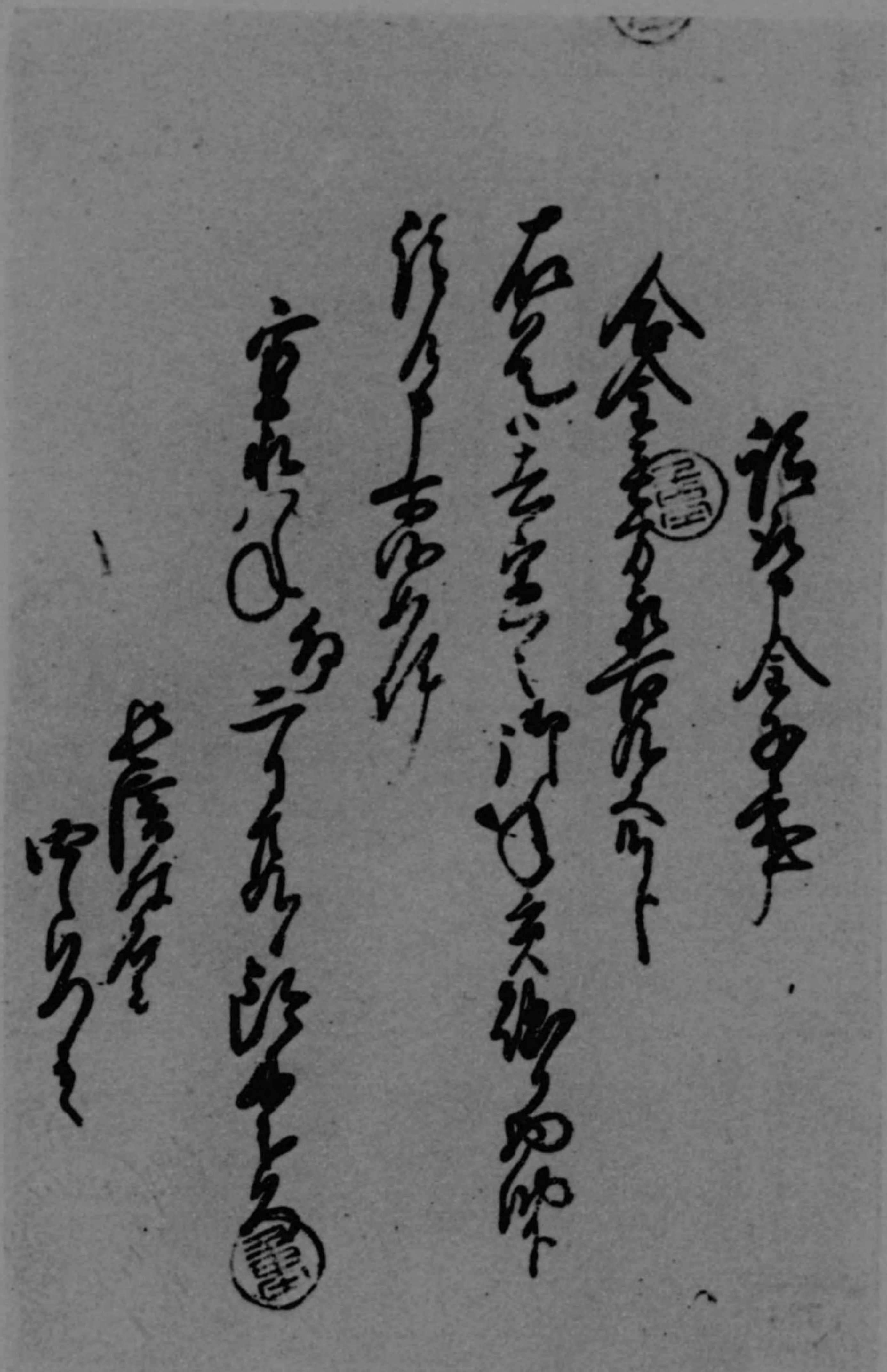
御高札之寫

正徳元

定

- 一 親子兄弟夫婦を始め諸親類にしたしく下人等に至る迄これをあはれむべし主人ある輩ハをのゝ其奉公に精を出すへき事
- 一 家業を専にし惰る事なく萬事其分限に過へからざる事
- 一 一つハリをなし又ハ無理をいひ惣して人の害になるへき事をすへからざる事
- 一 博奕の類一切に禁制の事
- 一 喧嘩口論をつゝし若其事ある時みたりに出合へからす手負たるものかくし置へからざる事
- 一 鐵炮狼りに打へからす若違犯の者あらハ申出へし隠置他所よりあらハるゝにおゐては其罪重かるへき事
- 一 盜賊惡黨の類あらハ申出へし急度御ほうひ下さるへき事
- 一 死罪に行はるゝ者ある時馳集るへからざる事
- 一 人賣買かたく停止す但し男女の下人或永年季或ハ普代に召

第二二圖（四七七）



縦0.81 × 横0.52

置事ハ相對に任すへき事

附
普代の下人又ハ其所に住來る輩、他所へ罷越、妻子をももち有付候もの呼返すへからず但し罪科ある者は制外の事

右條々可ニ相守之、若於ニ相背ニ可レ被レ行ニ罪科ニ者也

正徳元年五月日

奉行

定

一 毒藥并似せ藥種賣買の事禁制す若違犯の者あらハ其罪重かるへし、たとひ同類といふとも申出るにおゐてハ其罪をゆるされ急度御褒美下さるへき事

一 似せ金銀賣買一切に停止す若似せ金銀あらは金座銀座へつかハし相改むへき事

附

惣して似せ物すへからさる事

一 寛永之新錢金子壹兩ニ四貫文、壹歩にハ壹貫文たるへし御領私領共ニ年貢收納等にも御定之こととくたるへき事

一 新錢之事錢座の外、一切鑄出すへからさる事

一 新作之錢ならさる書物商賣すへからさる事

一 諸職人いひ合せ作料手間賃等高直にすへからず、諸商賣物或ハ一所に買置、しめうりし或ハいひ合せて高直にすへからさる事

一 何事によらず誓約をなし徒黨を結ふへからさる事

右條々可ニ相守之、若於ニ相背ニ可レ被レ行ニ罪科ニ者也

正徳元年五月日

奉行

定

一 駄賃并人足荷物の次第

御傳馬并駄賃の荷物壹駄

歩もちの荷物壹人

長持壹丁

重サ
四拾貫目

重サ
五貫目

重サ
三拾貫目

但し人足壹人持重サ五貫目の積り三拾貫目の荷物ハ六人して持へし、それより輕き荷物ハ貫目にしたかひて人數減すへし此外いづれの荷物もこれに准すへし

乗物壹丁

次人足六人

山乗物壹丁

次人足四人

一 御朱印傳馬人足之數、御書付之外に多く出すへからさる事
一 道中次人足次馬の數たとひ國持大名たりといふとも其家中共に東海道ハ一日に五拾人五拾疋に過へからず、此外の傳馬道ハ貳拾五人貳拾五疋に限へし、但江戸京大坂の外、道中におゐて人馬共に追通すへからさる事

一 御傳馬駄賃の荷物ハ其町の馬殘らす出すへし、若駄賃馬おほく入時は在、所よりやとひ、たとひ風雨の節といふとも荷物遅まなき様に相はからふへき事

一 人馬之賃、御定之外増錢を取におゐては牢舎せしめ其町の問屋年寄は過料として鳥目五貫文ツ、人馬役者ハ家壹軒より百文宛出すへき事

往還の輩、理不盡の儀を申かけ又ハ往還之者に對し非分の事あるへからざる事

右條々可相守之、若於相背者可爲曲事者也

正徳元年五月日 奉行

定

一火を付る者をしらハ早申出へし若かくし置におゐてハ其罪重かるへし、たとひ同類たりといふとも申出るにおいてハ其罪をゆるされ急度御褒美下さるへき事

一火を付る者を見付はこれを捕へ早申出へし見のかしにすへからざる事

一あやしきものあらハせんさくをとけて早御代官地頭へ召連來るへき事

一火事之節鑓長刀刀脇指等ぬき身にすへからざる事

一火事場其外いづれの所にも金銀諸色ひろひとらハ御代官地頭へ持参すへし、もし隠置、他所よりあらはるゝにおゐてハ其罪重かるへし、たとひ同類たりといふとも申出る輩ハ其罪をゆるされ御褒美下さるへき事

右條々可相守之、若於相背者可被行罪科者也

正徳元年五月日 奉行

右之通、今度御高札相改候、御文法如此候、村々寫置、毎年於名主所讀之きかせ御制法之趣、急度相守可申候、若違背之輩於有之者當人ハ不及申名主五人組曲事可被仰付

候條可得其意候、以上

三月

鈴木又右衛門印
植田半藏印
奥村治右衛門印

四七九

條々

一公儀之御船ハいふに及ハす諸廻船とも遭難風一時ハ助船出し船不破損様に成程精を出すへき事

一船破損之時、其所近き浦之者、精を出し荷物船具等取揚へし其取揚所之荷物之内、浮荷物者貳拾分一、沈荷物者拾分一、但川船ハ浮荷物者三拾分一、沈荷物ハ貳拾分一取揚者に可遣事

一沖にて荷物はぬる時ハ着船之湊におゐて其所之御代官手代庄屋出合途穿鑿船に相殘荷物船具等之分可出證文事

一船頭浦之者と申合、荷物盗取之はれたると偽申におゐてハ後日に聞くといふとも船頭者いふに及ハす申合輩に至まで其罪重かるへき事

一湊に長船を懸置輩あらは其子細を所の者相尋、日和次第早出船いたさすへし、其上にても令難離ハ何方之船と承届之、近邊ハ其地頭御代官、遠方は御勘定奉行又ハ其邊之奉行所江急度可申達事

き者也

正徳元年五月日

奉行

右之通領内之輩堅可相守者也

越前

定

一火を付る者をしらハ早申出へし若隠置におゐてハ其罪重かるへし、たとひ同類たりといふ共申出るにおゐてハ其罪をゆるされ急度御ほうひ下さるへき事

一火を付る者を見付はこれを捕へ早申出へし、見のかしにすへからざる事

一あやしきものあらハせんさくをとけて早御代官地頭へ召連來るへき事

一火事之節、鑓長刀刀脇指等ぬき身にすへからざる事

一火事場其外いづれの所にも金銀諸色ひろひとらハ御代官地頭へ持参すへし、若隠置、他所よりあらはるゝにおゐてハ其罪重かるへし、たとひ同類たりといふ共申出る輩ハ其罪をゆるされ御ほうひ下さるへき事

右條々可相守之、若於相背者可被行罪科者也

奉行

正徳元年五月日

四八〇

定

切支丹宗門ハ累年御制禁たり自然不審成者有之ハ申出へし御ほうひとして

はてれんの訴人

いるまんの訴人

立かへり者の訴人

同宿井宗門の訴人

同 斷

同宿井宗門の訴人

右之通、下さるへし、たとひ同宿宗門之内たりといふとも申出る品により銀五百枚下さるへし隠置他所よりあらはるゝにおゐてハ其所之名主五人組一類共に罪料におこなはるへ

銀五百枚

銀三百枚

同 斷

銀百枚

正徳元年五月日

奉行

一御城米廻之刻、船具水主不足之惡船に不可積之并日和能節於船破損ハ船頭可爲曲事、惣理不盡儀申懸之又ハ私曲有之は可申出之、縱雖同類其科をゆるされ御褒美可被下之事

一自然寄船荷物於流來ハ可揚置之、半年過迄荷主無之におゐてハ揚置之輩可取之、若右之日數過、荷主雖出來不可返之、雖然其所之地頭御代官可受差圖事

一博奕惣賭之諸勝負、堅可爲停止事

右條々可相守之、若於相背者可被行罪科者也

正徳元年五月日

奉行

四八一

當卯之御年貢諸金請取通
 正徳元年 卯十月
 鈴木儀左衛門(印)
 篠田久右衛門(印)
 長濱村
 四郎左衛門殿

十月廿六日
 一金九兩請取
 十二月廿八日
 一金拾壹兩請取
 十二月廿八日
 一金拾七兩受取
 一月四兩
 三月廿五日
 一金三分永六拾三文貳歩
 四拾壹兩三分永六拾三文貳歩

四八二

乍恐以書付御訴訟申上候事
 豆州古宇村訴訟人甚右衛門 後家
 相手 舞半七
 鈴木小右衛門様御代官所
 駿州師と濱村の參候

一豆州古宇村甚右衛門去ル四年以前相果、忤男子貳人女子三人有之、相領娘いわと申候ハ私別腹之子ニ御座候、甚右衛門親類共相談之上、半七と申者三年以前掣ニ取申候所ニ我儘成ル者ニテ私方ヘ不孝成仕方有之候間、離別可仕と存罷在候所ニわ當九月相果迷惑仕候、當方之女子壹人有之候、半七儀ハ萬事不孝成者ニ御座候間、立退候様ニ申候得共于今罷在、口上ニ申難ニ上ケ仕方、何共難義仕候、半七被ニ御召出ニ早ニ立退候様ニ被ニ爲ニ仰付ニ可被ニ下候一當年拾壹才ニ罷成候甚右衛門男子已之助と申者有之候、跡式之義、此者相續仕候様ニ被ニ爲ニ仰付ニ可被ニ下候、偏ニ御慈悲奉レ守候
 右之條、御尋之上、乍恐口上可ニ申上候、以上

正徳元年卯極月
 豆州古宇村甚右衛門 後 家(印)
 御代官様
 後家兄
 長濱村 四郎左衛門(印)

右半七義、甚右衛門親類共ヘ不和ニ而當春ノ不通仕罷在候、後家御訴訟之通り親類一同ニ而乍恐奉レ願候以上

四八三

預リ申屋敷之事
 一屋敷壹軒 但シ間口五間裏行垣際迄 豐右衛門(印)
 此敷金貳兩者 但シ小判也
 一同壹軒 但シ間口五間裏行垣際迄 甚右衛門(印)
 右同斷
 一同壹軒 但シ間口五間裏行垣際迄 又右衛門(印)
 右同斷 利兵衛
 一同壹軒 但シ間口七間裏行垣際迄 久左衛門(印)
 右同斷 外ニ垣上小畑壹枚共ニ
 右是ハ三津村御役所屋敷相談之上、分地ニ而敷金貳兩宛出シ當卯之暮ノ來ル丑ノ暮迄中年拾ケ年ニ相定、拙者共預リ申處實正に御座候、年季來リ右敷金貳兩宛御返

豆州中村 九郎左衛門(印)
 鈴木小右衛門様御代官所 駿州口野村 與市右衛門(印)
 嶋田惣右衛門様御知行所 豆州安久村 藤右衛門(印)
 大久保長門守様御知行所 駿州上香貫村 利右衛門(印)

四八四

乍恐口上書以申上候
 其右衛門後家
 一私去ル十一月廿八日長濱村ヘ參候留守ニテ私家ニテ前ニ無レ之仕方仕、金子大分腰ニ付申候
 一家來等ニ不便之加ヘ申義無レ之、我儘ニ仕候、依レ之

し被レ成候ハ、屋敷無ニ相違ニ相渡シ可レ申候、至ニ其時ニ少も異儀中間敷候、爲ニ後日ニ預リ證文連判仍如件
 三津村
 預リ主 豐右衛門(印)
 同斷 甚右衛門(印)
 同斷 又右衛門(印)
 同斷 利兵衛(印)
 同斷 久左衛門(印)

三津村名主 覺右衛門殿 村中

身體つゝへ罷成候
一去ル八月殿様三嶋御着之節、御訴訟可申上と存罷
在候所ニ朝鮮人御用ニ付外之義御聞不_レ被_レ遊候間、
延引ニ罷成、去ル極月三嶋御役所へ罷出候所ニ外_ノ
噺有_レ之候間、只今迄相延罷有候、以上

正徳貳年辰二月

豆州古宇村甚右衛門
後 家(印)

御代官様

四八五

相定申證文之事

一去秋甚右衛門妻_ハ相果申候ニ付跡式已之助ヲ以、
相立申度由、已之助母長濱四郎左衛門并一門中、三
嶋御役所江御訴申上候ニ付出入罷成、双方御詮儀之
上、江戸江可_レ被_レ遣候由、被_レ仰付候所ニ足保村伊
右衛門殿古宇村庄左衛門殿久連村太郎兵衛殿河内村
太次右衛門殿重須村彦兵衛殿同村伊左衛門殿三津村
覺右衛門殿小海村彦兵衛殿、右之衆中被_レ噺候ハ後家
娘_ハ其右衛門と妻合一所ニ致候上ハ互ニむつまし
く可_レ仕候、母之儀者甚右衛門ニか_リ居申候者其通

正徳二年辰六月七日

巳之助母(印)
四郎左衛門(印)
九郎左衛門(印)
甚右衛門(印)
金兵衛(印)
兵左衛門(印)

大名主
久左衛門殿
噺人衆中

り隠居致候て爲_ニ扶持米_一上田壹畝拾五步、名所者濱
田、上田貳畝廿步、名所ハ和田木、上田三畝壹步、
名所者下ノ田、山之儀ハかどの林登ヶ所、おふしと
中山登ヶ所、扶持米ニ甚右衛門方_ノ相渡可_レ申候、末
ハ母方_ノ已之助へ讓可_レ申候、御年貢御役之儀者已
之助方ニ而相勤可_レ申候、已之助分地之儀ハ先證文之
通り年季來候ハ、相渡可_レ申候、右之通、取噺異見被_レ
成候得共埒明不_レ申候ニ付御噺人衆三嶋御陣屋へ其通
り被_レ仰上候得者又_ハ双方三嶋へ御召寄、右噺之通
相濟申候様ニ被_レ仰付上者互ニ和睦仕、向後_ハ申
分仕間敷候、爲_ニ後日_一双方連判證文仍如件

四八六
〔表紙共九枚〕

爲_レ致間敷候、爲_レ其判形仕候、以上

辰
六月七日

足保村 伊右衛門(印)
古宇村 庄左衛門(印)
久連村 太郎兵衛(印)
河内村 太次右衛門
重須村 彦兵衛
同村 伊左衛門(印)
三津村 覺右衛門(印)
小海村 彦兵衛(印)
大名主 久左衛門(印)

四八六

〔表紙〕

伊豆國海邊通御料私領寺社領浦と添御高札并二通
駿河國

添御高札御案文

前より浦と高札相定 公儀之船者不_レ及_レ申諸廻船
共猥成儀無_レ之様被_レ 仰付候處、遭_ニ難風_一候節も所
々之者共、船之助にハ不_レ相成却而破船候様_ニいた
し懸け荷物を削させ或者上乘船頭と申合、不法之儀
共有_レ之様、相聞江不届_ニ候、御料者御代官、私領
者地頭_ノ常々_ニ遂_ニ吟味_一毛頭不_レ仕様、急度可_レ被_レ
申付候、若此上不埒之儀於_レ有_レ之者後日相聞江候共
其もの者いふに及_ス所之もの迄可_レ被_レ行_ニ重科_一其上
其所之御代官地頭迄可_レ爲_ニ越度_一事

一御城米船近年破船多候ニ付今般諸事相改、別而大切
可_レ仕旨申渡、船足之儀茂深ク不_レ入様、大坂船者大
坂奉行、其外國之船者其所支配之御代官より船足
定之所ニ極印を打、船頭水主之人數を不_レ減少_ニ様に

急度申付、令運漕等候、依之港江寄候船之分ハ、船頭水主人數并船足極印之通、無相違一哉、送狀に引合せ急度相改、帳面に記置、上乘船頭印形致させ右書物其所留置、御料者御代官、私領者地頭江差出之、御代官并地頭より御勘定奉行迄可被差出候、且又極印より船足深ク入候船有之候者積候儀數、委細に改之、御城米之外、船頭私之運賃を取、他之米穀、或者商賣之荷物等積入候敷、又者水主人數定之内、令減少候者私に積入候荷物ハ其所取揚置、水主人數不足之分者其所にて儲成水主を雇せ、爲致出船、其上にて右之譯早速御勘定奉行江可訴之事

一破船有之節、浦之もの出會、荷物船具等取揚候刻、盜取候敷、又者不届之仕方於有之者船頭より不隱置有體早速可訴之事

右條急度可相守、若違犯之輩於有之者詮議之上可被行罪科、不吟味之子細も候ハ、其所支配之御代官、又者地頭迄可爲越度者也

辰八月

伊豆國浦、御觸狀
駿河國

追而浦、順達有之留りより兩人内江可被相

返候、伊豆國ハ島も有之候間、左之通、同前可被相心得候、以上

横紙

此度浦、添高札御案文被、仰出候、唯今迄高札有之所者右御文言札認、其際可相建、左候ハ、何方に建候段、書付ヲ以可注進、高札無之所者此御書付以、急度相守候様御料者御代官、私領者其所之領主地頭より念入可被申付候

一最前浦ニ相建候高札無之國も候ハ、其段可被申聞候、湊其外相建可然場所も候ハ、以書付繪圖追而可被相調候

一前ハ高札に有之通、沖にて刎荷いたし又者破船之儀、其所之浦手形を以、吟味致、荷主も承届事候間、船頭に少も不實之仕方有之候ハ、其所に留置、其向江可申通不吟味之儀にて手形於差出者可爲越度候

一添御高札案文則相廻候間、文字かな等迄無相違様寫留メ國切一帳請取認、役人名之下ニ致印形横田備中守大久保大隅守方江一帳宛早速可差出候

正徳貳辰
九月

大 大隅守印
横 備中守印

以上

伊豆國駿河國

御料私領浦之中

上包上紙

伊豆國浦、名主年寄

小林又左衛門

伊豆國西浦筋浦、相廻シ候ハ、留り村、三島又左衛門役所へ可相返之候、以上

覺

此度浦、添御高札相建候様被、仰出、御高札御案文并横田備中守殿大久保大隅守殿御差出候御廻狀壹通、以上二通共相廻候間、海邊通村、右御書付拜見仕、御案文并御廻狀一村切寫取、御書付之通、急度可相守、且又別帳共二冊、是又差出候間、奥書相認、其浦名主年寄名下ニ印形いたし次之村江名主年寄致持參御書付貳通無相違儲請取、尤墨付よこれめ等無之旨、請取申候由、手形取之、可相廻、且又他之御代官所并私領方江相渡候節共右之通可相心得候、以上

辰ノ九月

伊豆國

名主
年寄

此帳面二冊之儀、横田備中守殿江登冊、大久保大隅守殿江壹冊差上候間、伊豆國海邊通浦、名主年寄之名印二冊共ニ一様ニ書記、留り之浦ハ小林又左衛門方江早可相返候、尤紙數不足候ハ、以類紙とち足可申候

紙數三十五枚

正徳貳年辰九月

添御高札御案文并御廻狀奉拜見候御請帳

浦、御高札場に此度添御高札被、仰出、右添御高札御案文并御廻狀壹通奉拜見候、右之趣、急度相守可申候、勿論御高札御案文御廻狀共に次之村江相渡し證文取置申候、爲御請印形差上申候、以上

正徳貳年辰九月

間部越前守領分

伊豆國君澤郡三津村

名主 覺右衛門

年寄 理右衛門

小林又右衛門御代官所

伊豆國賀茂郡松崎村

名主 孫兵衛

年寄 與五兵衛

右之御廻文、三嶋が松崎へ被遣、松崎が浦々熱海まで廻り熱海より神嶋江参り神島が三島御役所江戻、三島御役所が江奈村へ被遣、江奈が浦々重寺村廻り重寺が三島御役所へ戻る

四八七

辰御年黄金受取通

正徳二年

大名主 久兵衛(印)

長官 四郎左衛門殿

- 一金拾五兩(ハ) 十月十八日
- 一金拾四兩ハ 十一月廿日
- 一金拾貳兩ハ 十二月廿六日
- 一金三兩壹分永七拾七文壹歩
- 四拾四兩壹分

永七拾七文壹歩 此總三百廿四文 右之通不殘請取皆濟(ニ)御座候、以上

四八八

正徳二年

極月

辰之年内浦組長濱村諸入用帳

- 一京九拾文
- 一同四百七拾文
- 一同四百四拾文

小穀代 淺草御藏入用

是ハ三嶋御陣屋籠番入用

- 一同四百文
- 一同四百七拾文
- 一同六貫文

長濱御役所入用 大名主給

是ハ御茶漬鹽鯛入用

一同百五拾文 是御金方料江戸へ持送り入用

一同五貫文 是ハ夏秋猪鹿大分出、作毛荒申二狩人を頼、追捕賃

一同五貫文 是ハ網戸五(ケ)所浪除嶋修理入用

五貫文

是ハ名主組頭三嶋其外御用ニ付方、江参申雜用遣年中入用

- 一同四貫文 定遣給
- 一同貳百五拾文 紙筆代
- 一米壹石八斗五升 名主給
- 一同四升貳合 宿役給

米合壹石八斗九升貳合

代京拾貳貫拾三文

是ハ高役ニ割合仕候 錢合貳拾六貫九百七拾文

六貫文

是ハ三津網戸かゝり

殘 貳拾貫貳百貳拾八文

- 一京七百三拾文 覺兵衛(印)
- 一同貳百九拾八文 同 人(印)
- 一同七百三拾文 長八郎(印)
- 一同貳拾壹文 同 人(印)
- 一同七百三拾文 同 久右衛門(印)
- 一同百七拾貳文 同 人(印)

- 一同七百三拾文 權四郎(印)
- 一同百五拾壹文 同 人(印)
- 一同七百三拾文 次郎兵衛(印)
- 一同貳貫四拾壹文 同 人(印)
- 一同七百三拾文 半三郎(印)
- 一同貳百四拾文 同 人(印)
- 一同七百三拾文 重左衛門(印)
- 一同百貳拾三文 同 人(印)
- 一同七百三拾文 善右衛門(印)
- 一同百四拾貳文 同 人(印)
- 一同七百三拾文 太郎兵衛(印)
- 一同百四拾三文 同 人(印)
- 一同七百三拾文 四郎右衛門(印)
- 一同百七拾五文 同 人(印)
- 一同七百三拾文 又兵衛(印)
- 一同貳百七拾七文 同 人(印)
- 一同貳百拾九文 彌八郎(印)
- 一同拾貳文 同 人(印)
- 一同百四拾六文 半兵衛(印)
- 一同貳拾七文 同 人(印)
- 一同百四拾六文 伊右衛門(印)
- 一同四拾七文 同 人(印)
- 一同七百三拾文 同 忠右衛門(印)
- 一同貳百九拾七文 同 人(印)

一同三百六拾五文
 一同拾八文
 一同七百三拾文
 一同三百五拾五文
 一同七百三拾文
 一同四百拾七文
 一同七百三拾文
 一同七百七拾五文
 一同三百六拾五文
 一同貳百七拾貳文
 一同七百三拾文
 一同貳百六拾九文
 一同七百三拾文
 一同三百貳拾文
 一同七百三拾文
 一同三百七拾九文
 一同三百六拾五文
 一同九拾八文
 一同三百六拾五文
 一同拾文
 一同三百六拾五文
 一同拾七文
 一同三百六拾五文
 一同拾五文

與惣左衛門(印)
 同 人(印)
 七兵衛(印)
 同 人(印)
 平兵衛(印)
 同 人(印)
 左平次(印)
 同 人(印)
 與右衛門(印)
 同 人(印)
 仁平次(印)
 同 人(印)
 利左衛門(印)
 同 人(印)
 次右衛門(印)
 同 人(印)
 利平次(印)
 同 人(印)
 左五右衛門(印)
 同 人(印)
 左兵衛(印)
 同 人(印)
 七左衛門(印)
 同 人(印)

百三拾文
 百八拾文
 一同七百三拾文
 一同三百五拾三文
 一同七百三拾文
 一同四百拾四文
 一同七百三拾文
 一同六拾六文
 一同七百三拾文
 一同貳拾文
 一同七百三拾文
 一同七拾七文
 一同七拾六文
 一同五百七拾九文
 一同九百八拾貳文
 一同貳百貳拾七拾貳文

吉兵衛(印)
 同 人(印)
 太左衛門(印)
 同 人(印)
 金左衛門(印)
 同 人(印)
 太右衛門(印)
 同 人(印)
 勘兵衛(印)
 同 人(印)
 庄右衛門(印)
 同 人(印)
 安養寺
 住本寺
 太兵衛(印)
 四郎左衛門(印)

右之通、村中惣百性立合勘定仕、少も出入無御座候ニ付連判仕置申候、已上
 正徳貳年 長濱月
 長濱村 名主 四郎左衛門(印)
 組頭 太兵衛(印)

四八九

賣渡シ申山下畑之事
 一山登ヶ所
 一下畑登畝拾分
 此分米六升七合
 代金六兩者
 但シ江戸小判也

所ハ宮ぼら
 所ハ同斷
 但シくね立木共ニ
 但シ江戸小判也

右是ハ當辰之御年貢御上納不罷成ニ付貴様へ御無心申、金子儘に請取、長濱村御年貢ニ御納所仕候所實正也、年季之儀者辰之極月寅ノ暮迄中年拾年季ニ相究申候、年季極り申候者山之木者不及申畑くね立木共ニ御切り取り被成土山畑ニて本銀六兩、我等貴様へ出し申候者右之山畑共ニ我等方へ御返シ可被成候、若年季極り請出し申義、不罷成候者貴様永ク御支配被成候共又者他人へ御渡し被成候共諸親類ハ不及申横合少もかまい申者無御座候、萬一何角と申者御座候者我等何方迄も罷出、申分ケ可仕候、爲後日證人連判仍如件

長濱村賣主 太兵衛(印)
 同所證人 與兵衛(印)
 正徳貳年辰之極月日

名主 四郎左衛門殿
 又兵衛(印)

金子かり請事
 一金子貳兩貳歩
 右ハ今度なん條村甚兵衛様より馬買請候り金ニさしつかゑ依て御無心中かり請候所、少も相違御座なく候、返済四月中ニ一わり八分利付ニて元利相濟可申候、大せつなる時、御かし下され候ゆへ忝存候、仍而如件

正徳三 巳二月十四日
 久連村 久右衛門
 木正村 證人七右衛門
 長はま 四郎左衛門殿

〔表紙共十枚〕
〔内四枚白紙〕

四九一

口上

一於三津坂山ニ銀山と相見江申候、先年元祿十六年未之正月見出置候得共此場所往來海道ニ候ヘハ大分普請等も掛リ候故、中絶仕罷在候、併捨置候義、國土之費ニも罷成、第一殿様江御忠節ニも可罷成ト奉レ存、當秋貴様迄御注進申上候、此度茂拙者罷出、段々譯ケ申上度奉レ存候ヘ共頃日忌中ニ罷有候故、乍ニ自由ニ以テ口上書ニ申上候、委細之儀者御尋之上、七兵衛口上ニ可ニ申上候、右之通被レ爲ニ仰付候様ニ上ニ様方江宜御取成奉レ願候、以上

正徳三年巳極月

重寺村

内田蘭右衛門(印)

三津村名主
覺右衛門様

四九二

〔表紙〕

正徳四年

豆州君澤郡内浦組之内長濱村指出帳

午ノ六月

下書

一高四拾六石九斗七合

長濱村

内三石四斗貳合 地無高

古荒

此反別四町三反九畝貳步

内貳町壹反四畝拾貳步

田方

内貳町貳反四畝貳拾步

畑方

此わけ

壹石五斗代

上田六反八畝貳拾六步

古荒

此分米拾石三斗三升

古荒

中田七反七畝四步

壹石三斗代

此分米拾石貳升七合

古荒

内三畝貳拾五步

古荒

下田六反八畝拾貳步

壹石代

此分米六石八斗四升

内六畝拾六步

古荒

上畑五反七畝拾壹步

八斗代

此分米四石五斗八升七合

四畝三步

古荒

内壹反五畝步

御役屋敷

六畝步

砂入

中畑七畝九步

六斗代

此分米四斗三升八合

古荒

内貳拾步

古荒

下畑九反三畝貳拾四步

古荒

此分米四石六斗九升

古荒

内五反四畝壹步

古荒

屋舗六反六畝六步

壹石代

此分米六石六斗貳升

古荒

内三反三畝拾壹步

古荒

一當村之儀、百貳拾壹年以前、午ノ年彦坂小刑部様御檢地ニ而御座候御事

一御茶濱鹽鯛十月ノ來二月迄壹ヶ月ニ鯛壹枚ツ、但シ壹ヶ月置ニ御上納仕候御事

一御年貢納米本石三斗五升欠米貳升相加江三斗七升入ニテ御直段以替金納仕候御事

一御役所貳軒

但屋敷壹反五畝步

是ハ先年御役所三津村ニ御座候所ニ去子ノ年三津村御給所相渡リ候ニ付御役所當村江貳軒共ニ御入用ニ而御立被レ遊候内、壹軒ハ新規ニ仕、壹軒ハ三津村御役所引取り御立被レ遊候、屋敷ハ百性也ニ御座候、御年貢之儀ハ御免狀ニテ御引被レ成、此作徳米貳俵拾ヶ村ニテ地主方ヘ割合遣シ申候御事

一海魚運上儀、鱒鮒まくろ鯉鮭しふわ、此分立漁仕候得ハ長濱村御役人様御改請申候御事

持主 四郎左衛門

一鐵炮壹挺 玉目貳匁八分 筒長尺八寸

是ハ山方ニ御座候故おとしのため所持、玉なしニ御座候

一田地用水場ニ御座候、尤天水も少ニ御座候御事

一畑作之儀ハ麥粟稗菜大根作仕候御事

一立漁仕候得ハ舟手間岡手間萬引魚高ニテ御三ヶ市指上ケ申候御事

一漁舟御座候、御運上之儀ハ敷繼立壹尋ニ付壹ヶ年永三拾文ツ、指上ケ申候御事

一網戸場役米拾四石七斗前ニ指上ケ申候御事

一寺屋敷三畝七步 法花宗 住本寺

是ハ前ニ御年貢御引被レ成候御事

一 寺屋敷貳畝五步 御年貢地 時宗 安養寺
 一 庵室壹ヶ所御座候御事
 一 地方高役之儀、御菜場御座候故、先規何ニ而も不仕候御事

一 當村ノ三嶋迄道法四里御座候御事
 一 當村ノ江間村迄貳里御座候、重寺村へ拾五町御座候、重須村江四町余り御座候御事
 一 宮大明神辨才天神明三社御座候御事

右之通、名主百性吟味仕、書上ケ相違無御座候、跡々御運上納來り不申候共御運上可成もの御座候者無隱書上ケ可申候旨被仰付候得共右之外何ニ而も書上ケ可申もの一切無御座候、若隱置後日ニ相知申候者何分之曲事ニも可被仰付候、以上

正徳四年午ノ
 六月
 内浦組君澤郡長濱村
 名主 四郎左衛門
 組頭 太兵衛
 惣百性代 次 兵衛

河原清兵衛様御内
 堀 速右衛門様
 栗原市野右衛門様

四九三

一 其村銀山三右衛門七兵衛兩人相願申ニ付彌兩人方へ被仰付候ニ付七兵衛相働キ此度金元付兩人相談之上、御山取掛り可申處ニ右之金元七兵衛方にて相働キ申由ニ而三右衛門一同ニ者罷成ル間敷出、昨日七兵衛被指越候ニ付委細七兵衛口上之趣、承届申處ニ七兵衛存寄於我等ニ難心得候、縱金元之儀者七兵衛方ニ而相働申とて御山ニ取掛り申義ハ三右衛門と相談之上、諸事申合事相究メ可申處ニ七兵衛一分ニ而御山取掛り申度由ニ而昨日七兵衛被指越候へとも中々登人して御山ニ取掛り申儀難成事ニ候故、七兵衛ニ茂其段申付候、此上三右衛門七兵衛相談之上、諸事一同申義ニ候ハ、彌之の事ニ而兩人別々ニ罷成候ハ、其旨御屋舖へ相親可申候間、其内御山ニ取掛り申義不罷成候間、七兵衛方へ急度御申付可有之候

〔正徳四年〕
 十月十五日

三と村
 覺右衛門殿

小川彌兵衛(印)

四九四

〔右金元三右衛門七兵衛兩人別々ニなく諸事相談之上、事究メ申様ニ其元ニ而も御了簡可有處ニ昨日七兵衛此方へ被遣候義難得其意候 以上〕

取爲替申相衆證文之事

一 此度拙者共、豆州間鍋越前守様御知行所三津白坂山ニ銀山壹ヶ所見立申、拙者御願申候、然處ニ貴殿方も御願被成候由ニ御座候得共拙者共方へ被爲爲仰付候、依之貴殿方ニ御座候金方、拙者共方へ御加へ被成候所、過分ニ存候而早速御山取掛り申候、然上ハ拙者共相衆ニ致、御公儀表名代共ニ兩三人之山先ニ致、相勤可申候、勿論徳用之義ハ御山諸運上引、金元割合十ラニ割六ツ半金方へ相渡、殘テ三ツ半、右三人致ニ當分ニ無相違割取可申候、勿論荷堀之義ハ百荷二十荷宛ハ所之御百姓衆へ差出可申候、其外御公儀様御運上ハ時々之御差圖次第差上可申候、然上ハ御山法ハ不及申諸事連立合勘

四九五

定致、登人立我ま、成義一切仕間敷候、爲後日取爲替證文仍テ如件

正徳四年午ノ
 十月廿一日
 山先田村七兵衛(印)
 同 牛丸三右衛門(印)
 中村幸五郎殿

證文之事

一 御公儀様御條目之趣、堅相守、惣而火之用心大切ニ可仕候、若喋咄口論其外不寄何事御山ニ付六ヶ敷事出来申候共我々急度埒明、少茂村中御苦勞ニ仕間鋪候、惣而村中へ對し、かさつかましき義仕間敷候
 一 田畑山荒シ申候ハ、各々様御了簡之上いか様ニも御差圖次第可仕候、且又山之者共道橋等損シ申候ハ、早速繕直シ可申候
 一 山内ニ而取逃欠落其外何様之義御座候共是又村中御苦勞掛ケ申間敷候、尤他所ノ入込候者共住所宗門等之儀も相改置可申候
 右之外いヶ様之儀御座候共少茂村中御苦勞ニかけ申間

舖候、爲後日、仍ア如件

正德四年午ノ
十月廿一日

三津村山先
七兵衛(印)

上船原村岡

三右衛門(印)

三嶋裏町岡

幸五郎(印)

江戸元ノ

彌右衛門(印)

三津村名主
覺右衛門殿

同所組頭

理右衛門殿

同所

惣百性中

四九六

證文之事

一上田拾六坪八步六厘

惣左衛門分

代金壹兩壹分銀貳拾貳文

一上田拾六坪六步五厘

太右衛門分

代金壹兩銀七百貳拾五文

右者此度銀山初申ニ付道筋我々田地へ御附替被レ成候

義、村中御相談之上にて右之代、金元の業方ハ唯今儘
請取、田地道筋ニ禿シ申處實正ニ御座候、ケ様ニ相定
申上者向後、御地頭様江被レ仰上ニ御荒シ被レ下候義者各
別、萬一荒ニ立不レ申候ハ、御年貢之儀我々相動可レ申
候、如レ是御相談之上、相對仕候上者自今以後少も申分
無ニ御座候、爲後日、證文仍如件

正德四年
午十月廿七日

田地主
惣左衛門(印)

同所

太右衛門(印)

同所

同所

同所

同所

名主

覺右衛門殿

組頭

理右衛門殿

同所

同所

四九七

指出シ申證文之事

一此度當村之内白坂山ニ銀山壹ヶ所、拙者共見立申、
各々様御世話を以、御願申上候處、早速被レ仰付ニ偏
村中御百姓中御取持故忝奉レ存候、依レ之所之百性衆
何ヶ御肝煎として掘出申荷數諸色不レ構十荷ニ壹荷
宛者村方へ急度差出可レ申候、尤荷物ニ少茂偽リケ間

敷儀仕間敷候、不レ寄ニ何事ニ各々様方御下知相背申間
敷候、爲後日、仍而如件

正德四年午ノ十月

山先

七兵衛(印)

三右衛門(印)

幸五郎(印)

元ノ
彌右衛門(印)

名主
覺右衛門殿

組頭
利右衛門殿

百性中

四九八

追證文之事

先達而御願申上候三津村錫銀山、今度御吟味之上、私
共願之通、問堀被レ仰付ニ候ニ付、少々取出ためし吹仕
候處、正銀七分吹出差上申候、然共此度ハ有無之譯け
ニ而疾と御決定も難レ被レ遊候ニ付、今少御山ためし見申
候様ニ被レ仰付ニ奉レ畏候、然上ハ山廻り柵等も〇り又ハ
往還之道も附替候而往來難義不レ仕様ニいたし惣而荷

物置場其外諸道具等も疾と支度仕候上、今度ハ壹貳反
通堀吹申候而様子とくためし御覽ニ入、尤鉋筋能次
第ニ荷數も多出申候ハ、堀申義相止置、早速大名主中
へ御注進仕、江戸へ被レ申上候様ニ可レ仕候、其上ニ而
御差圖次第本證文等差上御請可レ仕候、堀懸り稼申候ハ
、名主覺右衛門立合、改を請、委細追、御注進可レ仕
候、其外御山稼之内、先證文之通、少も違背不レ仕、正
路ニ可レ仕候、爲其追證差上ケ申所仍如件

正德四年午十月

上舟原村

三右衛門(印)

三津村

願人七兵衛(印)

取次惣右衛門(印)

右七兵衛三右衛門ニ被レ仰付ニ之趣、委細奉レ承知ニ候、
且又見届之儀、私ニ被レ仰付ニ當分改可レ申旨、奉レ畏
候、然上ハ無ニ油斷ニ入念見届、荷數も多出候敷次第
ニ銀錫等吹立申候ハ、追、小川彌兵衛殿迄申上、彌
兵衛殿被レ參候ハ、御改銀之上、早々御注進被レ申上ニ
候様ニ可レ仕候、萬一願人共と一同仕、御後閣儀御座
候段、後日ニ御聞被レ遊候共如何様之曲事ニも可レ被レ
仰付ニ候、爲其奥書仕上ケ申候、以上

午十月

三津村 覺右衛門

四九九

願書之事

一此度銀山御願出來仕候ニ付我々共商之心懸ケ御座候ニ付見せを出シ少々御運上指上ケ商事仕度奉レ存候、御了簡を以、被ニ仰付可レ被レ下候、尤世間高直ニハ商事仕間敷候

一太物酒油味噌醬油茶たはこ小間物類右之通りニ御座候、御運上差上ケ申候上ハ外ハ商事仕候義御吟味被レ遊可レ被レ下候、奉ニ願上ニ候、以上

三津村商人

竹松(印)

正徳四年午ノ十一月

同

清兵衛(印)

同

虎之助(印)

同

伊右衛門(印)

同

五郎兵衛(印)

名主

覺右衛門様

組頭

利右衛門様

御百姓衆中様

五〇〇

證文之事

一此度銀山間吹仕候ニ付吹小屋場所外ニ無ニ御座候ニ付貴殿江御無心申腰卷ニ而上田壹おさ當午ノ十二月朔日ハ借請申所實正也、但地代之儀ハ壹ヶ月ニ金壹分宛ニ相定、當分爲ニ手付金ト一金壹兩相渡申候、來四月ハ壹ヶ月ニ壹分ツ、相渡可レ申候、若又小屋場入不レ申時ハ右場所無ニ相違ニ相返可レ申候、萬一其節地代引懸リ等御座候ハ、吹小屋共、其方へ御取可レ被レ成候、其時分少も異議申間敷候、勿論居林近所ニ御座候間、火之用心大切ニ可レ仕候、其外何ニ而茂不作法成義、堅仕間敷候、爲ニ後日ニ證文仍如件

正徳四歲午十二月朔日

三右衛門(印)

七兵衛(印)

三津村覺右衛門殿

彌右衛門(印)

五〇一

賣渡申網津證文事

一法舟方網津場半帖

代金貳拾兩ハ

但江戸小判也

右者當午之御年貢并諸入用ニ差詰リ迷惑仕候ニ付御無心中申、右之網津場代替、代金貳拾兩只今儘ニ請取申所實正ニ御座候、年季之儀者當午ノ暮ハ辰之暮迄中年拾年季ニ賣渡申候、年季之内、御年貢并網津場入用之儀者古證文之通り御勤可レ被レ成候、諸儲之儀も右同斷ニ御座候故、其方江古證文相渡申候、然上ハ少茂前、有來申候通り相違成義無ニ御座候、且又内借金無盡金之質物ニも書入不レ申候、此網津ニ付横合ハ構申者無ニ御座候、爲ニ後日ニ證人相立手形進候、仍如件

正徳四年午極月三

豆州長濱村

賣主太兵衛(印)

證人金左衛門(印)

名主四郎左衛門(印)

日野村

與市右衛門殿

五〇二

賣渡シ申網戸畑屋舖之事

一網戸半狀

重寺村淨泉方

一上畑六畝三分

同村名所山之畑

此分米四斗八升八合

一屋舖貳拾五步

此分米八升三合

合代金貳拾五兩者

江戸小判也

右之通、賣渡シ申候、我等義、當午ノ御年貢御納所不ニ罷成候ニ付貴殿江賣渡シ代金貳拾五兩儘請取り當御納所仕候所實正ニ御座候、年季之儀者來ル未ノ正月朔日ハ亥ノ極月晦日迄九年五年季ニ相定申候、右日限ニ罷成、代金貳拾五兩返濟申候ハ、網戸畑屋舖無ニ相違ニ御返シ可レ被レ成候、右日限ニ請申義、不ニ罷成候ハ、永御支配可レ被レ成候、來ル未ノ年ハ年季之内、浮役御年貢御役、其元ニ而御勤可レ被レ成候、此網戸畑屋舖ニ付親類者不レ及ニ申ニ横合より少茂違亂申もの無ニ御座候、爲ニ後日之證人之立手形仍而如件

三津村賣主

七右衛門(印)

正徳四年午ノ十二月日

同所證人 又右衛門(印)
同 斷 幸右衛門(印)
重寺村組頭 六兵衛(印)

重寺村 嘉七郎殿

五〇三

證文之事

一三津銀山之儀、去年幸五郎仲間ニ引入相談仕、御山へ取懸り申候處、幸五郎不屈御座候ニ付此度吟味之上、重而幸五郎構い不申答ニ仕、則去年仲間爲ニ取替ニ之證文取返シ掛御目ニ申候、若幸五郎重而何様之儀申來り候共我等ニ急度埒明、少茂各々様御苦勞ニ懸ケ中間敷候、爲其一札仍而如件

山先 七兵衛(印)

正徳五年未ノ二月廿一日

同斷 三右衛門(印)
金元 長兵衛(印)

名主 覺右衛門殿
組頭 理右衛門殿
惣百性中

五〇四

證文之事

一來迎寺之儀、先住代ニ寺地上ノ畑江引替申候處、門前ニ三郎兵衛半兵衛上畑有之ニ付大門之道筋、直ニ付申儀、不罷成ニ其節村之長衆ヲ頼、三郎兵衛殿親父方江御無心申候得共承引難成儀在之、埒明不申、唯今迄村往來ノ野道、寺へ之通路ニも仕罷在候得共門前道筋直ニ無御座候而ハ寺ノ爲惡敷、參詣之不勝手ニも御座候、殊此度萬日回向も仕候上、道筋願之儀、淨因寺和尚久左衛門殿助左衛門殿覺右衛門殿此衆中ヲ頼入候得者御肝煎故、此度三郎兵衛殿承引被成、右上畑之内ヲ分ケ横置間半堅六間半、寺江御寄進被成、過分ニ存候、猶又半兵衛畑之儀者道長ケ此方ニ而申請、右兩人之畑大門之道通りニ仕候、此道兩脇共ニ畑ニテ御座候上ハ道地形之儀茂畑地形並

ニ仕置可申候事

一右畑之儀、此度依ニ御寄進ニ大門之道筋新ニ付ケ申候、尤左右ニ田畑御座候上ハ此道筋、自今以後兩脇共ニ草木登本成共植申間鋪候、惣而畑故障ニ成候儀、堅仕間鋪候事

一唯今迄大門道筋無御座候ニ付先年有來ル村中田畑野山へ往來之道を寺へ之通路ニ茂仕罷在候處、此度三郎兵衛半兵衛畑之内ヲ譯、大門新道ニ仕候上者村往來ノ道筋少もせはめ不申末、迄在來通違亂申間鋪候事

右之趣、永ク相守可申候、若自今以後違背申義在之候ハ、此證文ヲ以、急度御改可被成候、其時ニ至テ少も御恨申間鋪候、爲後日ニ寺惣且那連判證文仍テ如件

八左衛門(印)
三津村來迎寺且那

吉兵衛(印)
七兵衛(印)
甚五兵衛(印)
勘右衛門(印)
安左衛門(印)
長三郎(印)

正徳五歲未三月

長四郎(印)
伊左衛門(印)
作右衛門(印)
平兵衛(印)
六郎右衛門(印)
太郎兵衛(印)
平右衛門(印)
彦右衛門(印)
八兵衛(印)
傳兵衛(印)
佐五右衛門(印)
太右衛門(印)
勘兵衛(印)
清兵衛(印)
仁右衛門(印)
惣左衛門(印)
甚兵衛(印)
七兵衛(印)
彦四郎(印)
喜右衛門(印)
半左衛門(印)
治兵衛(印)

長兵衛(印)
八郎治(印)
幸右衛門(印)
又右衛門(印)
七右衛門(印)
理右衛門(印)

名主
覺右衛門殿
村中

來迎寺十五世湛譽(花押)

(印)

五〇五

乍恐書付を以御訴申上候御事

一内浦組重寺長濱重須村、右三ヶ村之儀者定納浮役并舟役指上ヶ申、其上立獵仕候節ハ御運上三ヶ一差上ヶ重役相勤申候村ニ御座候所ニ去年ノ不獵ニ而渡世難儀仕候、當年ハ別而何年ニも覺無ニ御座立獵透と無ニ御座、殊更右村ニ之義ハ小高ニテ諸色買揚世渡り仕候所ニ穀物高直ニ而津元網子及ニ渴命難儀仕候、此上魚相見ヘ申候而も及ニ飢ニ申候網子共ニ御座候得ハ立獵ニ罷出候義も難ニ成迷惑仕候間、御慈悲を

以、網舟壹艘ニ金二拾兩宛三ヶ村之網舟拾壹艘ヘ御拜借被レ爲ニ仰付ニ可レ被レ下候

(ハリ紙別表)

網舟拾壹艘者

重寺村四艘
長濱村五艘
重須村貳艘

以上拾壹艘

一先年も伊奈兵右衛門様五味小左衛門様設樂喜兵衛様御代官所之節、魚獵無ニ御座候年ハ津元海士方御介抱ニ御拜借被ニ仰付候而年賦御上納仕候、此外網舟諸道具等、修覆成兼候節ハ御願申上、御拜借仕候義も御座候

一隣郷、間部越前守様同隠岐守様御知行所、小海村三津村木負村去年ノ不獵ニ付津元網子爲ニ御介抱ニ浮役御年貢、獵御座候節迄御延シ被レ下候、其上網舟諸道具修覆金御拜借被ニ仰付候

右之通、當分及ニ渴命難儀仕候、御慈悲を以、右御拜借被レ爲ニ仰付ニ可レ被レ下候、偏奉願候、以上

正徳五年未六月

重寺村名主 忠右衛門(印)
網子持 同所 六兵衛(印)
同所 同所 六右衛門(印)
同所 同所 團右衛門(印)

御代官様

長濱村名主 四郎左衛門(印)
網子持 同所 組頭 多兵衛(印)
同所 同所 次郎兵衛(印)
同所 同所 平兵衛(印)
同所 同所 理左衛門(印)
重須村名主 久左衛門(印)
網子持 同所 組頭 傳左衛門(印)

享

保

—
寬

延

(自五〇六
至七〇三)

【享保】元 徳川吉宗將軍宣下 二 武家諸法度を頒つ 乾字金と新金との引替を令す 三 外國船との密貿易を禁ず 新貨を通用せしむ 町火消の制を定む 四 朝鮮使を引見す 五 三奉行に罰則を定めしむ 野呂元丈、採藥御用の命を受く 元祿銀寶永銀中銀三寶銀四寶銀の通用期限を定む 六 諸國の戸口田畝を録進せしむ 江戸地圖を校訂す 書籍繪草紙出版の制を令す 小石川薬園を開く 七 諸侯に租額百分の一を獻せしめ(上米の制)參觀の期を緩くす 養病所を小石川薬園に置く 八 諸國の戸口を録進せしむ 九 儉約令を下す 淺草藏前札差宿を百九人と定む 一〇 大判を改鑄す 新鑄錢小判を通用せしむ 一一 諸國の戸口を調査す 壱田丈量の制を定む 一二 初めて甘蔗を濱御殿に植う 一三 足利學校の古書を検す 新錢を鑄る 一四 清商所獻の象、京より江戸に至る 朝鮮人參を下野今市に裁えしむ 一五 江戸町火消の制を定む 足利學校を修理す 諸侯の上米を停む 藩札を禁ず 米商の制を定む 一六 儉約令を下す 一七 諸國蝗害あり

一八 米價騰貴す 畠收租の法を改定す 唐船定限明年より減じて廿九艘とし蘭船商額を減じて千百貫目とす 二〇 唐人參座を江戸に設く 米價調節につき定む 櫻町天皇即位

【元文】元 駿河の寺社以下に古文書を謄寫上進せしむ 文字金銀を通用せしむ 長崎貿易の唐船廿五艘とす 小梅に新錢座を認可す 二 質地裁判の制を定む 三 大坂に銅座を設く

【寛保】元 青木教書をして武相豆遠參諸國の古文書を採訪せしむ 銅の輸出額を限る

【延享】元 戸口を検聚す 諸家社寺等をして其所藏せる日記記録目録を呈進せしむ 天文臺を神田佐久間町に建つ 二 古記録目録を蒐集せしむ 徳川家重將軍宣下 三 武家諸法度を頒つ 蘭船二艘唐船十艘とす 貞享甲子曆を改正す 桃園天皇即位

【寛延】元 朝鮮使を引見す 二 土地讓與授受の制を定む

五〇六

賣渡し申山之事

但シ所ハ二又

一 山登ヶ所
右ハ當申ノ御年貢不ニ罷成ニ付貴様へ永ク賣渡し申候、山之代金酒代として金壹分もらひ申候、此山ニ付脇少もかまひ申者無ニ御座候、以上

享保元年 申ノ霜月十七日

長濱村 惣七郎殿

同所賣主 太兵衛(印)
同所請人 治右衛門(印)
名主 四郎左衛門(印)

五〇七

書上申破損船之事

一 漁船壹艘
一 同船壹艘
一 同船壹艘

佐兵衛
傳四郎
八右衛門

五〇八

乍恐御訴訟申上候御事

一 重寺村長濱村重須村右三ヶ村網引場定納浮役米貳拾六石五升年々御上納仕候御事

一 同船壹艘
一 同船壹艘
一 同船壹艘
合七艘

吉兵衛
伊平次
覺兵衛
太郎兵衛

内貳艘ハ修覆ニも可成と奉存候
右者當廿八日夜富士嵐と申大風波仕、當村濱ニ而漁船廿八艘之内七艘破船仕候、御役船之義ニ御座候ニ付長濱御役所江御注進申上候得ハ長濱御役人様御出御見分被遊候通、少も相違無ニ御座候、以上

享保元年申 十一月晦日

三嶋 御役所

君澤郡重寺村
組頭 六兵衛
名主 嘉七

一右村之儀ハ魚漁仕候而茂又ハ不仕候而も毎年御定納御役仕、其上魚獲仕候ハ其内之魚三分一被御召上二重之御役御座候ニ付去ル貳拾九年以前五味小左衛門様御代官所之節、御訴訟申上候得ハ三ヶ二御赦免被爲遊三分一只今迄御上納仕來候所ニ拾壹年以前亥之年大地震仕、津波上り海底ニ石出、魚獲も致にく、殊更近年芳々魚道ニ而新獵場數多出來仕、所ニ而魚漁仕候、拙者共村之儀ハ入江ニ御座候得ハ諸魚寄兼、段ニ不獲ニ罷成迷惑仕候、殊ニ近年諸色高直ニ御座候而大分之金子ニて御定納御役年、相勤難儀仕、段ニ家財賣代替、御役御納所仕候故、連ニ相草臥御役ハ不及申當分及ニ渴命ニ百姓退轉仕、迷惑ニ奉存候御事

〔一〕駿州領之儀ハ御定納御役ハ不仕、魚獲仕候得ハ三分一相勤申候、伊豆領拙者共村並ニも御定納御役も不仕、魚獲仕候得ハ魚三ヶ一指上ケ申候村ニも御座候、伊豆駿河何れ之海も同し海面ニ御座候所ニ拙者共村ニ斗重之御役相勤申候故、百姓難儀仕候、御慈悲を以、定納御役御赦免被爲遊魚漁仕候者浦並ニ御三ヶ一斗被御召上ニ被下候様奉願候御事

右之通重之御役仕候故、百姓困窮仕、當分之渡世いたし兼難儀仕候間、定納浮役米之儀御慈悲を以、御赦

免被爲遊百姓相續仕候様ニ奉守候、以上
 享保二年 西正月 御代官様 長濱村
 嘉兵衛 六右衛門 六右衛門 團左衛門 四郎兵衛 治郎兵衛 平兵衛 利左衛門 久左衛門 伊左衛門 半右衛門 惣持

五〇九

一 一鋪 一めしか 一鋪 長濱村
 一 一經 一まくろ 一うつわ
 右之魚三月ハ八九月迄之内立獵仕候、此外立魚無座候
 一 一ほうく 一かなかしら 一小五ひ 一こち
 一 一きす 一えそ 一たこ 一めつとう
 右之魚十月ハ二三月迄二人引ニ而取申候
 一 一鯛 一いなた 一ひらめ

右之魚十月比來ル二三月比迄いなた網ニ而取申候
 一 一鯛 是ハ四月ハ五月迄網ニ而取申候
 一 一いなし 是ハ重寺村獵船參り十月比來ル二三月迄長繩さニ引申候
 一 一ほうく 一かなかしら 一小五ひ 一こち
 一 一きす 一えそ 一たこ 一小鯛
 一 一いなた 一ひらめ 一いなし 一いなし
 右之魚十月比翌二三月比迄貳人引ニ而取申候
 一 一鯛 四月ハ五月迄之内揚申候
 一 一いなし

一 一あち 一すき 一はたしろ 一かます
 一 一あんかう 一さより 一ぼら 一さは
 一 一かき 一はも 一なまこ 一いか
 一 一鯨 一かれひ 一さめ 一かさこ
 右之魚當浦ニハ稀ニ見申候、獵仕候事無御座候
 一 一鰻 一もうを 一このしろ 一むろ
 一 一せいこ 一とひ魚 一ます 一くち
 一 一くらげ 一たら 一さわら 一石もち
 一 一はまち 一あかう 一あわひ 一さし
 一 一まで 一はまくり 一たいらき 一みるくい
 一 一えい
 右之魚當浦ニハ無御座候

五一〇

右之通り相違無御座候
 享保二年西 四月 長濱村
 名主 四郎左衛門 組頭 太兵衛
 三嶋 御役所
 一 一鋪 一めしか 一鋪 一まくろ
 一 一鯨 一うつわ
 一 一ほうく 一かなかしら 一小五ひ 一こち
 一 一きす 一えそ 一たこ 一めつとう
 一 一鯛 一いなた 一かれい
 一 一鯛 是ハ網ニ而取申候
 右同斷

右四月五月迄取申候

一いわし 是ハ重寺獵船参り、まさいわし引申候

是ハまさいわしに御座候故、何時ニ不_レ限候

右之分當浦へ揚申候

- 一鯉 一あち 一鱈 一もうぞ 一はたしろ
- 一かます 一あんこう 一さより 一このしろ 一むろ
- 一鱒 一せいこ 一とひ魚 一ます 一くち
- 一くらげ 一たら 一さわら 一さは 一石もち
- 一はまち 一あこう 一かき 一はも 一なまこ
- 一あわび 一さよひ 一まて 一はまくり
- 一たいらき 一みるくい 一いか 一鯨

右之通り當浦ニ取揚不_レ申候

享保二年酉ノ四月

長濱村

名主 四郎左衛門

頭 太兵衛

重元 平兵衛

三嶋 御役所

五二一

三月ノ五月迄めしか立獵之分一御運上

御赦免被遊鮮御者可納覺

一めしか四拾三本

重寺村
長濱村
重須村

是ハ三四月兩月之内、一度所入用

を以、江戸御臺所へ相納可_レ申候

右代り

一めしか壹本之代り 六七寸鯨三本

一同斷

五寸以上ぼうくかなかしら九ツ

是ハ三四月之内、近浦共ニめしか獵無_レ之候ハ

、同年十一月十二月兩月之内、代魚一度ニ二

色取交候而成共相納候様ニ被_レ仰付可_レ被_レ下

候

一鯨四本

但貳尺五寸以上

重寺村

是ハ十月比_レ翌三三月迄釣鯨之分一御運上御

赦免被遊被_レ下候ハ、鯨四本十月ノ十二月迄

之内一度ニ所入用を以、江戸御臺所へ相納可_レ

申候

右代魚

一鯨壹本之代り 六七寸之鯨拾三本

一同斷

壹尺以上之平目三枚

是ハ冬之内、鮪無_レ之候ハ、翌正二月之内右代

魚を以、一度ニ相納候様被_レ仰付可_レ被_レ下候

右之通、三ヶ村めしか四拾三本つ、毎年三四月之内、

一度相納可_レ申候、めしか立獵之分一御運上御赦免被_レ

遊可_レ被_レ下候、めしか之儀ハ別而不定之漁ニ御座候へ

ハ三四月之内、獵不_レ仕、近浦ニめしか揚り不_レ申候

ハ、同年十一月十二月之内、代魚を以被_レ仰付可_レ被_レ

下候、五月ニ至り、めしか立獵仕候而も暑氣之時分、

江戸迄難ニ指上ニ御座候間、同年十一月十二月之内、代

魚を以、相納候様ニ奉_レ願候、右之通被_レ仰付候ハ、村

中獵師申合、随分念入吟味仕、相納可_レ申候、以上

重寺名主

嘉 七

組頭

六兵衛

獵師代

團右衛門

長濱名主

四郎左衛門

組頭

太兵衛

獵師代

平兵衛

享保貳年酉四月

三嶋 御役所

五二二

乍恐以書付ヲ奉願候

一此度漁獵分一御運上之儀、鮮看ニ而江戸へ相納候様

ニ御吟味被_レ遊候、夏獵之義鮮看ニ而江戸迄難ニ差上

冬春漁獵之魚、江戸へ差上可_レ申旨、書上ヶ仕り、十

月比_レ翌年正二月迄ハ諸魚拂底ニ御座候得共御用之

儀ニ御座候へハ漁獵仕次第、鮮御看相納メ申積リニ

御座候、併道中日數四五日も懸り申義ニ御座候へハ

江戸着仕候而御看御用ニ相立可_レ申哉、難_レ斗奉_レ存

候、只今迄鮮看上納不_レ仕義ニ御座候へハ大切之義、

無_レ覺束ハ奉_レ存候、鮮看ニ而江戸迄御用之御看差上

候義、道法遠キ所ニ而御用ニ相立不_レ申幾度も納替

候而ハ失墜も懸り第一獵師共不念ニも可_レ罷成_レ旁以

迷惑ニ奉_レ存候、然共鮮看上納不_レ仕已前達而御訴

重須名主

久左衛門

組頭

半右衛門

獵師代

伊左衛門

訟難仕奉存多春漁獵仕候浦ハ御肴納候譯書上ケ仕候共鮮肴御赦免被遊前之通分一上納被仰付被下候様ニ奉願候以上

享保貳年 酉四月

- 豆州賀茂郡岩地 名主三郎右衛門
- 組頭新右衛門
- 同國那賀郡井田子村 名主門作
- 同斷久 藏
- 組頭惣兵衛
- 同國君澤郡戸田村 名主彌三兵衛
- 組頭久兵衛
- 同國同郡江梨村 名主源八
- 組頭平左衛門
- 同國同郡重須村 名主久左衛門
- 組頭半右衛門
- 長濱村 名主四郎左衛門
- 組頭太兵衛
- 重寺村 名主嘉七
- 組頭六兵衛

三嶋 御役所

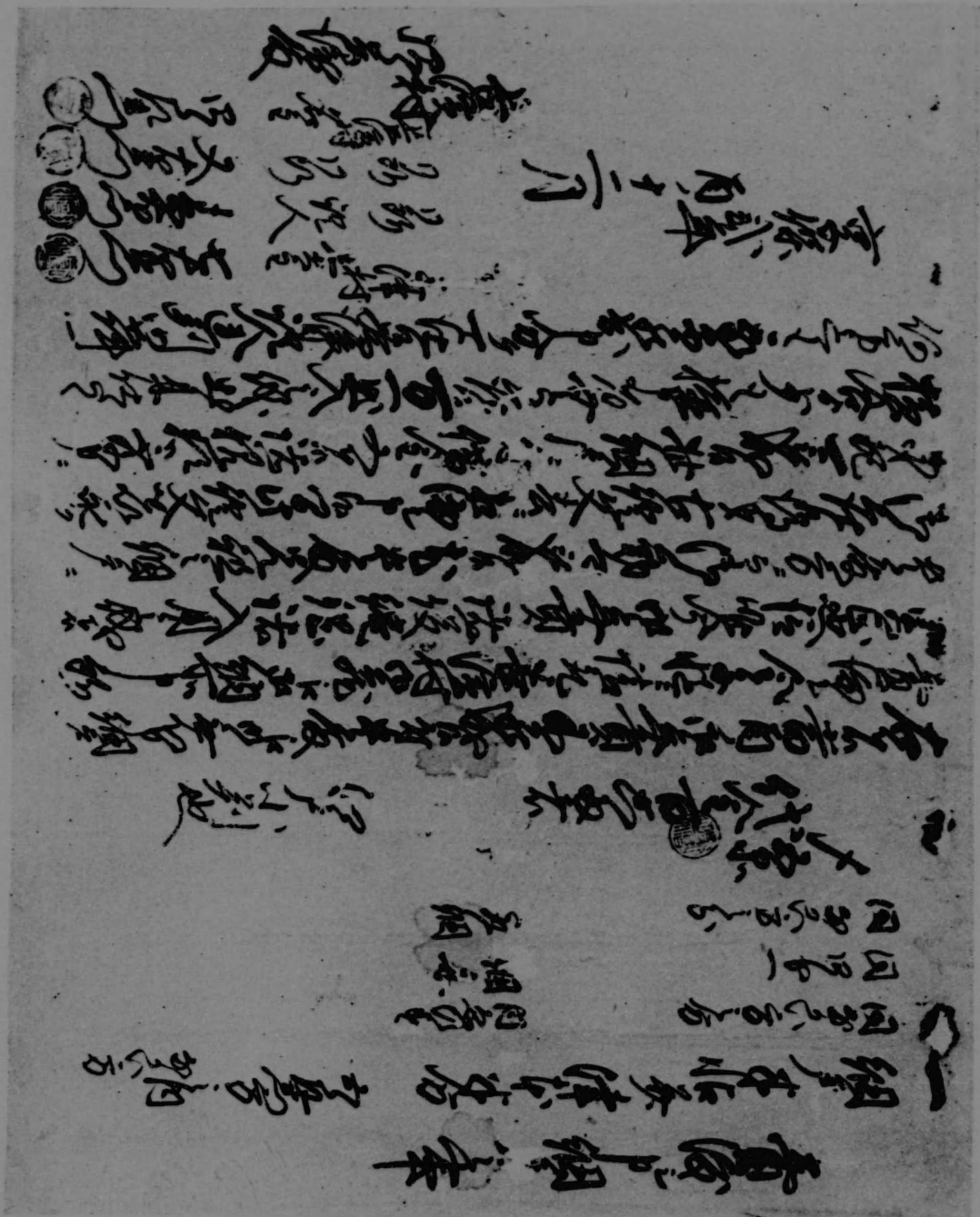
鐵炮證文之事

豆州君澤郡長濱村 玉目貳匁八分筒 持主四郎左衛門 右ハ當村從前ニ御免ニ而玉なし當威鐵炮所持仕候處此度別而鐵炮御改ニ付御吟味被成候右之外當村ニ鐵炮壹挺も無御座候右鐵炮ニ而獵なと仕候敷又者惡事仕出候者當人ハ不レ及ニ申上五人組名主組頭迄如何様之曲事も可レ被仰付候尤何方江も一切借申間敷候爲レ其證文差上申處仍如件

享保貳年 酉九月

御代官様

- 鐵炮持主 四郎左衛門(印)
- 五人組代 平兵衛(印)
- 組頭 太兵衛(印)
- 名主 四郎左衛門(印)



第一三圖 (五二五)

五一四

證文之事

一重須村長濱村兩村鯨子寄合取網之儀ニ付今度出入御座候所ニ久連村太郎兵衛殿重須村三十郎殿長濱村忠兵衛殿重寺村嘉七殿右之衆中双方江御變被レ成候様者向後鯨子立候者重須村ニ寄候共長濱村ニ寄候共取網之儀、立魚高之内三分一ハ重須村之取網ニ而取、三分貳ハ長濱村之取網ニ而取申管ニ相定申候、尤取網魚之儀者重須者三分一之内有之、長濱ハ三分貳之内有之、ケ様ニ取變、双方得心之故、末ニ相互ニ違亂申間敷候、爲レ後日之ニ双方證文取替申候、仍如件

- 重須村津本 久左衛門(印)
- 同 伊左衛門(印)
- 重寺村 七(印)
- 長濱村 伊左衛門(印)
- 同 伊左衛門(印)
- 重須村 三十郎(印)
- 同 三十郎(印)
- 久連村 太郎兵衛(印)

享保貳年酉十一月

長濱津本
四郎左衛門殿
網戶持衆中

五一五

賣渡シ申網□之事

一網戶半帖并津本半分 五郎左衛門方之内
同なかい方之分 内ゑひす なかい方
同四分一 網舟
同なかい方之分 取網
五品

代金百六兩者 江戸小判也
右者當酉ノ御年貢不ニ罷成ニ候(ニ)付貴殿江御無心申、網戶賣渡シ金子儘ニ請取、長濱村御藏江御納所申所實正也、從ニ唯今ニ御年貢諸役繩網諸入用之儀者貴殿方ニ而御勤可レ被レ成候、尤貴殿先祖之網戶ニ御座候得者古證文共ニ相渡シ申候間、此證文を以、永ク支配可レ被レ成候、此網戶ニ□借金又者諸親類ハ不レ及ニ申ニ横合ハ少も構申者無ニ御座ニ候、萬一出入之儀、出來仕候ハ、何方迄も我等罷出申分ケ可レ仕候、爲レ後日ニ證人連判仍如件

享保貳年
酉ノ十二月

三津村
賣主 七右衛門(印)
同所
證人 甚右衛門(印)
同所
同斷 又右衛門(印)
長濱村
名主 四郎左衛門(印)

長濱村
次郎兵衛殿

五二六

賣渡シ申網戸之事

一 網戸半帖 法舟方
一 津元内ゑびす 二又方分
一 網舟取あみ 四ヶ市
一 諸入目何ニ而も 同 斷

代金八拾貳兩者 但シ江戸小判也

右是ハ當酉之御年貢不ニ罷成ニ付貴殿へ御無心中、金子儲ニ請取、長濱村御藏江御納所申所實正也、只今ハ御年貢御役なわ網之義ハ貴殿ニ而御つとめ可レ被レ成候、尤此網戸之義ハ貴殿先祖之網戸ニ御座候得ば相渡

シ申候、此度右之古證文共ニ相返シ申候故ハ此證文を以、貴殿永ク御支配可レ被レ成候、此網戸ニ付諸親類不レ及ニ申ニ横合少もかまひ申者無ニ御座候、萬一出入之義御座候者我等何方迄も罷出申分仕、貴殿へ御苦勞かけ申間敷候、爲後日ニ依如件

享保貳年
酉ノ極月

長濱村本人
次 兵衛(印)
證人 利左衛門(印)
同斷 與 兵衛(印)
同斷 平 兵衛(印)
名主 四郎左衛門(印)

長濱村
治郎兵衛殿

五二七

相渡シ申網戸添證文之事

一 網戸半帖 法舟方
但シ内ゑびす網舟四分一

代金拾五兩者 但シ江戸小判也

右是ハ貴殿相傳之法舟方網戸三津村茂右衛門方ハ我等請取所持仕候所ニ此度右之金子儲ニ請取、網戸相返シ

享保貳年
酉十二月

長濱村本人
四郎左衛門(印)
證人 利左衛門(印)

次 兵衛殿

五二九

奉寄進山之事

一 山登ヶ所 所ハ大久保田添

此酒代金貳分貳朱

右是ハ我等相傳之山ニ御座候所、右之酒代儲ニ請取、七面山添ニ寄進候所實正也、尤七面山江寄進仕候上ハ末ニ迄此證文を以、永ク御支配可レ被レ下候、此山ニ付諸親類ハ不レ及ニ申、横合少もかまひ申者無ニ御座候、萬一出候義御座候者本人證人者共何方迄も罷出埒明可レ申候、爲後日ニ證人共連判依如件

享保貳年
酉ノ十二月

長濱村本人
利 平 次(印)
五人組證人
平 兵衛(印)

申所實正也、只今ハ御年貢御役なわ網貴殿ニ而御つとめ可レ被レ成候、尤網戸古證文共ニ相渡シ申候故ハ此證文を以、永ク御支配可レ被レ成候、此網戸ニ付諸親類不レ及ニ申ニ横合少もかまひ無ニ御座候、萬一出入之義御座候者我等何方迄も罷出申分仕、貴殿御苦勞ニかけ申間敷候、爲後日ニ證文仍如件

享保貳年
酉ノ極月

長濱村本人
次郎兵衛(印)
同所組頭證人
太 兵衛(印)
同 斷
與 兵衛(印)

長濱村
四郎左衛門殿

五二八

相渡申手形事

一 此度法舟方貴殿ハ請返シ申候ニ付 御公儀未進之儀、二又方網戸ニ未進金拾三兩有レ之候、此未進之儀ハ末ニ御公儀様ハ御才足御座候者貴殿我等兩人ニて御納所可レ仕候、爲後日ニ札相渡申候、仍如件

同斷	七兵衛(印)
同斷	平藏(印)
同斷	左五右衛門(印)
同斷	佐左衛門(印)
證人	又兵衛(印)
組頭	太兵衛(印)

四郎左衛門殿

五二〇
〔法舟方網戸 證文〕

尙、網戸外者へ賈申候者小判拾五兩出此方へ請取可被申候、我等證人ニも左様書申候、爲念如、此候

法舟方網戸之儀、當村與兵衛方へ四分一ゆつり申候、尤金子拾五兩ニ我等請取申候、重而與兵衛へ身體不罷成、余郷へ網戸渡申候者我等方拾五兩出請取申

管ゆつり證文與兵衛方へ相渡申候、左様之儀有之候者金子拾五兩出、此方へ請取可被申候、以上、

享保二年

四郎左衛門

五二一

乍恐御訴訟申上候御事

一君澤郡重寺村長濱村重須村右三ヶ村網引場浮役米貳拾六石五升年々上納仕候、此外十月と二月迄御菜調指上申、獵舟ニも尋懸り之御役永相勤候御事
一右三ヶ村之儀ハ魚獵御座候而も又ハ無御座候而も毎年浮役米上納仕、其上魚獵仕候得ハ其内之魚三分一被御召上ニ重之御役相勤、難儀仕候所ニ去ル拾壹年以前夏之年大地震仕、津浪上リ、右之網引場、海底ニ石出、魚獵成兼申、殊ニ拙者共村々之儀ハ入江之浦ニ而諸魚寄兼、不獵ニ罷成迷惑仕候所ニ近年芳々魚道ニ而新獵場出來いたし魚獵仕候故歟、別而不獵罷成難儀仕候御事

一浮役米之儀、先年小田原御領分之節ハ名目品ニ而相勤申、役米御直段之儀、永壹貫文ニ付五石替被仰付御定納仕候由申傳江候、其已後年々御直段高直ニ

五二二

乍恐書付ケ以御訴訟申上候御事

一内浦組之内、長濱村之儀者御入國以來ハ江戸御本丸江御菜御濱鹽調年々指上申、其上御上洛并朝鮮人來朝之節ハ御用御看被爲仰付候得者御看相調指上ケ申候御事

一長濱村之儀、小高村ニ而先年ハ隣郷小海村と組合、壹村分御用相勤申所ニ去ル拾壹年以前ニ間部越前様江小海村相渡り申候ニ付キ小海村之分共之御役、長濱村壹ヶ村ニ而御用御看相勤申候、尤三津村之儀も同御知行江相渡り申候故、三津村御役所ニ軒共ニ長濱村江御引被爲遊候、殊ニ海役米拾四石七斗年々御上納仕候、其上立漁仕候得者立漁魚三分一指上ケ申、舟ニ茂御役永相勤、小高村ニ而品々之御用御役相勤申候得共外之稼者無御座、海稼斗專ニ仕、御用御看相調、又ハ御菜網修覆等いたし渡世之營仕候御事
一御菜御看相調申海場所之儀ハ前々ハ重寺浦久料浦迄拾貳ヶ村之海ニ而御菜御看調申候、尤去ル西ノ五月生看御詮儀之節ニ茂三嶋御役所ニ而御菜御看調申稼仕候海場所之分ケ御尋被爲遊候故、委細書上ケ申

罷成、殊ニ近年ハ諸色高直ニて大分之金子上納、御役年々相勤難儀仕、百姓家財賣代替、御役御納所仕候故、連々相草臥、御役ハ不及申ニ當分之渡世も送兼、百姓退轉仕、迷惑ニ奉存候、依之奉願上候ハ二重之御役ニ御座候ニ付浮役米御直段之儀、金壹兩ニ付三石替ニ御定納被爲仰付被下候者百姓相續可仕と奉存候御事
一拙者共浦次キ駿州領之儀、浮役米御上納も不仕、魚獵仕候得ハ御運上魚五分一又ハ三分一相勤申村も御座候、伊豆領拙者共村並ニも御上納御役も不仕、魚獵之節御運上魚三分一指上申村も御座候、伊豆駿河何れ之海も同し海面ニ御座候所ニ拙者共村と斗二重之御役相勤申候故、難儀仕候、御慈悲(を)以三ヶ村浮役米御直段之儀、三石替ニ成共又ハ向後魚獵有之節ハ魚半分被御召上ニ浮役米御赦免被爲遊被下候共兩様之内、御了管ヲ以、被爲仰付被下候様ニ奉願上候御事
右之通、二重之御役相勤申候故、網戸持百姓困窮仕、難儀奉存候、偏ニ御慈悲奉守候

享保二年

三ヶ村名主網戸持

其許名付可有御座候

候御事

一此度淨圓院様 急御用御看被_レ爲_二仰付_一候故、品、漁諸道具ヲ以、御看相調ニ罷出候所ニ去ル四月廿四日ニ足保村江貳人引ニ參候而網引申候得者底網夜網之さわりニ罷成候とて長濱村貳人引舟江足保村之者共大勢乗込網碇理不盡ニ押江取申候、依_レ之名主方江御用御看調申儀、斷申候得共名主承引不_レ仕、網碇返シ不_レ申候故、御用御看引取可_レ申様無_二御座_一、無_二是非_一罷歸り申、右之わけ早速長濱御役所江御注進申上ケ三嶋御役所江御注進可_レ仕と申上候得者長濱村之義ハ人數茂無_レ數村ニ候得者急御用之儀ニ候間、大切ニ可_レ仕候、三嶋江御注進之儀者此方ニ可_レ申上と御役人衆御意被_レ遊候故、御看相調申儀斗專一ニ仕罷有候、尤道具無_二御座_一故、當分之稼茂不_レ罷成難儀仕候、御用之節ニ足保村之者、我儘仕候得者稼ニ罷出候節ハ猶以我儘可_レ仕と奉_レ存候御事

一足保村之者共近年新道具麻網ヲ仕立、網總其外小看等右之網ニ而大分引上ケ申候ニ付御菜場之者共之さわりニ罷成、迷惑仕候、前々より足保村之義ハ山稼斗仕、小看底魚等取申網ハ無_二御座_一候ニ近年麻網仕立、剩我儘仕、のミならず御菜場之者共之難儀ニ罷成候間、右之新道具麻網共御停止被_レ爲_二遊_一、前々之通

五三三

乍恐返答書を以申上候事

此度長濱村之者共、足保村を相手取御訴訟申上候義ハ去ル四月廿四日之夜、足保村海面江參、何者共不_レ知引網仕候ニ付何方ニ參候而我儘ニ網引候哉と相尋

御代官様

- 名主 四郎左衛門
- 組頭 加右衛門
- 百姓 次郎兵衛
- 同断 平兵衛
- 同断 與兵衛
- 同断 利左衛門

享保三年 戌ノ五月

君澤郡長濱村 惣百姓

御菜其外急御用御看ハ不_レ及_レ申拙者共稼ニ罷出候節、さわりニ不_レ罷成候様ニ足保村之者共、御召被_レ出被_レ爲_二仰付_一可_レ被_レ下候、猶以御用之御看茂手つかへ不_レ申、海士方百性永相續仕、急御用茂無_二遲滯_一相調可_レ申と奉_レ存候、偏御慈悲奉_レ守候

右之通、足保村之者共、被_レ御召出_レ被_レ爲_二仰付_一可_レ被_レ下候、御尋之節、乍恐口上ニ而可_レ申上候、以上

□

候得共何れ共其譯茂不_レ申、不埒之惡口申ニ付前々々猥リニ入込網引候者ハ漁道具取上候義ニ御座候間、網碇取上申候、然所ニ右之者共、足保村江上り當村之者共ニ網碇被_レ取候間、預ケ申候と申於_二罷歸候_一何方之者共不_レ存罷有候處ニ翌日廿五日長濱御役所ニ此度御用御看長濱村江被_レ仰付_一其邊へ引網ニ參候所ニ網碇取上候段、不届之旨、御廻狀到來仕候ニ付驚入、右之網碇長濱村へ持參致、此度御看ニ付引網ニ參候由、前々々か様之節ハ先達而其譯通達有_レ之義何之沙汰も不_レ被_レ致候段、其方茂不念ニ候得共御大切之御用先ニ候間、網碇相返シ可_レ申候間、請取候様ニと申候得共請取不_レ申候、其以後久連村太郎兵衛重須村久左衛門ヲ以、斷致シ網碇相返シ可_レ申段、申遣し候得とも何分ニ茂請取不_レ申候、右申上候通り一旦之斷茂不_レ仕、足保村海へ參、網引申ニ付取上候網碇ニ候得者長濱村へ佗言を請、可_レ相返_二義_一ニ候得共御大切之御用ヲ恐_レ此方ニ再三相返シ候處ニ請取不_レ申段、此義ハ様子可_レ有義と奉_レ存候處ニ如_二案_一之此度之御用先キ幸と存シ品々之海役等申立、足保村ヲ相手取、久料村迄拾貳ヶ浦之内を魚漁場可_レ仕と御訴訟申上候段、不届キ千萬ニ奉_レ存候事

長濱村海御役御菜濱鹽鯛之儀ハ鯛漁有_レ之候海之儀

ニ御座候間、前々々御菜鯛指上ケ申候、其外海役米立獵御運上、是又大獵有_レ之候網所之儀ニ御座候間、役米御運上指上ケ申候、舟役永之儀ハ舟ヲ以、稼仕候ニ付指上ケ申候、長濱村ニ限り申義ニ而ハ無_二御座_一候、且又御上洛并朝鮮人之節、御用御看之儀ハ魚漁場役ニ相動、高懸リ之場所ハ人馬御役相動申候、足保村之儀、小高之村ニ候得共御年貢ハ不_レ及_二申上_一山手役米、薪御十分一、もや御運上、舟役永、立漁三分一御運上、御上洛并朝鮮人流球人之節ハ人馬御役、三嶋町江相動申候、然所ニ長濱村迷惑之御役茂相動候様ニ品々書立、是ヲ以、拾貳ヶ浦ニ御菜鯛相調申候と申上候義、大偽リニ而御座候、海山田畑ともに海境村境相立候義、古來定法ニ而御座候、拾貳ヶ浦之内、他村ハ不_レ奉_レ存足保村之海江猥リニ入合ニ魚漁仕候義、會而無_レ之義ニ御座候、此義ハ拾貳ヶ浦之内、八ヶ浦之者共、被_レ御召出_レ御詮儀被_レ遊候得者明白ニ相知_レ申儀ニ御座候、且又三津村ニ有_レ之候御役所、拾壹ヶ年以前ニ長濱村へ御引取被_レ遊候段申上候、御役所貳軒長濱村へ御引取、長濱村何程之難義ニ罷成り候哉、是又難_レ得_二其意義_一ニ奉_レ存候事

一足保村之儀、去ル酉之年、鮮看御吟味之節、書上仕候通り立獵仕候節ハ御改メを請、三ヶ一御運上指上申

候、右立獵網ニ添候からめ網と申小網壹狀有之候、是ハ立漁網ニ添候小網故、外ニ書付指上ケ不申候、尤右之小網ニ而磯いわし等引申義も有之候、祭禮之節ハ夜網ニ茂引申候得共百姓稼ニ罷成候義ニ而ハ無之候、然所ニ長濱村申上候ハ足保村ニ而新法之麻網相仕立、鯛鱸其外小肴之漁業仕、大分之勝手ニ罷成候様ニ訴人ケ間鋪大偽り申立候得共元來足保村ニ左様之網無之義ハ前々長濱村御役所ニ而御存知之儀、尤隣郷ニ而茂存候義ニ御座候、ケ様之跡形なき惡事を申立候義、拙者共小村ニ而候故、長濱村之者共無咎を申掛ケ足保村之海を入合ニ仕、十二ヶ浦共ニ魚漁場ニ可仕工、心外千萬ニ奉存候、此上御慈悲ヲ以、右之段御詮儀之上、急度被レ爲ニ仰付被レ下候様ニ偏ニ奉願候、猶又御尋之上、口上ニ而可申上候、以上

豆州君澤郡内浦組足保村

享保三年戊ノ六月
御代官様
百姓代善左衛門
同断 武兵衛
同断 仁右衛門
組頭 伊兵衛
名主 伊右衛門

五二四

請取申金子之事

一金貳兩壹分者 乾字金也

右者伊奈兵右衛門殿御支配之節、天和三亥御年貢古米未進之内、請取申所如件
享保三年戊閏十月廿八日
杉山左十郎(印)
秋山團右衛門

長濱村 名主 四郎左衛門殿

五二五

足保久料事件
享保三年戊十二月

證文之事

一此度長濱重寺と足保久料海出入之儀及三淨論ニ三嶋御役所江御訴申上候處、村々衆中御變被レ成候者双方和談之上、相對ニ而不レ及ニ違亂ニ前々之通、魚漁仕候様ニと様々御肝煎被レ成候故、双方合點仕、出入相濟申候、然上者向後彌々納得仕、魚漁可仕候、ケ様ニ

小漁確證

相濟申候上者五ニ少茂申分無ニ御座候、爲後日一連判仕證文相濟申候、以上

享保三年戊十二月
重寺村 名主 嘉七
小海村 名所 組頭 六兵衛
愛人彦 兵衛殿
三津村 同所 百姓代團右衛門
同断 覺右衛門殿
重須村 同所 六右衛門
同断 久左衛門殿
河内村 同所 長濱村 名主 四郎左衛門
久連村 同所 組頭 加右衛門
同断 太郎兵衛殿
重須村 同所 百姓代次郎兵衛
同断 伊左衛門殿
江梨村 同所 足保村 名主 伊右衛門
古字村 同所 組頭 伊兵衛
同断 甚右衛門殿
立保村 同所 百姓代次 兵衛
同断 半右衛門殿
久料村 名主 金兵衛代
江梨村 名主 五左衛門
久料村 組頭 次郎右衛門
同所 百姓代甚 兵衛

右之變證文、重須村久左衛門方ニ預リ置申候、以上

戊十二月

重須村 久左衛門(印)
三津村 覺右衛門(印)
小海村 彦兵衛
河内村 太次右衛門(印)
久連村 太郎兵衛(印)
古字村 甚右衛門(印)
立保村 半右衛門(印)
江梨村 字左衛門(印)
重須(村) 伊左衛門(印)
長濱村 名主 四郎左衛門殿
賣渡シ申網戸之事
一網戸半狀
一網戸六分壹
三人衆方
五郎左衛門方

代新金拾六兩者 但江戸小判也
 右是者當亥年三津村御年貢不_ニ混成_一候_ニ付貴殿江御無
 心申、金子儲_ニ受取、三津村御年貢御納所申所實正也、
 尤御年貢御役繩網諸入用之儀者只今_ハ貴殿御動可_レ被_レ
 成候、年季之儀者當亥_ノ暮_ハ來子_ノ暮迄豊年季_ニ賣渡
 シ申候、年季極り新金拾六兩我等出シ申候ハ、網戶此
 方江御返し可_レ被_レ成候、尤其節請出シ申儀不_ニ混成_一候
 ハ、貴殿此網度永_ク御支配可_レ被_レ成候、且又此網戶_ニ
 付諸親類者不_レ及_レ申横合_ハ少_クも構イ申者無_ニ御座_一候、
 萬一何角與申者御座候ハ、我等證人之者、何方迄も罷
 出申分ケ可_レ仕候、爲_ニ後日_一仍如件

享保四年亥十二月 三津村
 本人 武左衛門(印)
 證人 久左衛門(印)
 長濱村 長濱村
 證人 平兵衛(印)
 四郎左衛門殿

伊豆國重寺村差出帳

伊豆國君澤郡重寺村 江戸日本橋三拾壹里
 三嶋_ハ三里半有_リ
 早損場
 水損_ハ少_ク御座候
 一高貳拾七石六斗三升七合
 但分郷無_ニ御座_一候
 此反別三町貳反八畝四步
 此譯
 上田五反壹畝拾七步
 內壹反貳畝拾八步
 前_ニ永荒
 此分米七石七斗三升五合
 六斗五升代
 中田壹反三畝拾三步
 內壹畝九步
 前_ニ永荒
 此分米壹石七斗四升六合
 五斗五升代
 下田九畝五步
 內三畝貳步
 前_ニ永荒

此分米九斗壹升七合
 小以田七反四畝五步
 內壹反六畝廿九步
 前_ニ永荒
 此分米拾石三斗九升八合
 上畑七反四畝八分
 內壹反壹畝廿三步
 此分米五石九斗四升壹合
 壹斗六升代
 中畑四反壹畝廿步
 內貳反八步
 前_ニ永荒
 此分米貳石五斗
 壹斗壹升代
 下畑壹町三步
 此分米五石五合
 七升代
 屋舖三反七畝廿八步
 此分米三石七斗九升三合
 六斗六升代
 小以畑貳町五反三畝廿九步
 內三反貳畝壹步
 前_ニ永荒
 此分米拾七石貳斗三升九合
 一田畑見取場 無御座候
 一御朱印地之類 無御座候
 一御除地之類 無御座候
 一御水帳登冊 名主 嘉七所持
 是ハ百廿三年以前午ノ年彦坂小刑部様御檢地

一郷御藏 無御座候
 一牢屋 無御座候
 一御林 無御座候
 一並木之類 無御座候
 一野錢山錢 無御座候
 一秣場 無御座候
 一米六石 定納浮役
 是ハ魚獵網戶場役年_ニ網戶持定納仕候、御石代御直
 段を以金納仕候、其上立魚鮪鯉ま_くろめしか鮪立漁
 仕候_ハ水引と申舟手間岡手間其外品_ニ拂方仕候_ハ殘
 魚_ニ御三ヶ壹御運上指上ケ申候
 一當村網戶場溜網_ニ而鮪立獵仕候得者拂方之儀、右同
 斷、殘魚_ニ而四ヶ壹御運上指上ケ申候御事
 一當村釣漁之儀、鮪鯉鮪めしかま_くろ釣漁仕候得者御
 運上拾分一指上ケ申候、尤伊豆駿河入會_ニ而右之釣
 漁稼仕候、御役之儀ハ釣舟罷出候村_ニ御役所江指上
 ケ申候、尤鱒之儀ハ夜釣之獵_ニ而御役者先規_ハ御赦
 免_ニ御座候、駿州我入道海面迄罷出釣獵仕候御事
 一當村釣わらさ之儀ハ先年_ハ久連根と申場所_ニ而重寺
 村之獵師、釣出し御忠節仕、御拾分壹指上ケ申候、
 依_レ之他村之獵師、此場所江一切入込_ニ不_レ仕候、重
 寺村斗_ニ而釣來候所_ニ去九十二年以前寅之年_ハ右御

運上之儀（音カ）間部淡路守様へ御運上指上ケ申候御事
御菜濱鹽鯛先年ノ相勤來申候事

是ハ十月方來ル二月迄御菜場之村、組合壹ケ月貳ニ貳枚宛上納仕候事

江梨長濱ニ而三枚

一當村獵船貳拾八艘年々増減御座候

是ハ等掛リニ御役永相勤申候、但シ數次立壹等ニ付永三拾文宛相勤來申候

一網戸場四ヶ所網舟四艘ニ而立獵仕候

一當村波除之嶋壹ヶ所、網戸魚寄七場之波除四ヶ所、年（ニ）村人足ニ而石振仕候

一荏大豆納

無御座候

一當村之儀御菜場ニ而何ニ而茂高掛リ之御役、先年ノ相勤不レ申候御事

一御年貢米、江戸廻シ不レ仕、御石代直段ニ而皆金納仕候御事

一當村ニ渡舟

無御座候

一近所江御用人馬之儀無ニ御座候

一琉球人朝鮮人御用人馬相勤不レ申候

一御用御廻狀之儀

是ハ近村ヘハ定遣、遠方ハ百性家別ニ仕ル
一寺院御年貢地役百性勤不レ申事

一御國廻衆御泊休被レ遊候義無ニ御座候
一京八百拾四文宛

是ハ亥年村入用、當村之儀ハ先前方高割ニ不レ仕候、棟割ニ仕、壹軒分之掛リ御座候事

一當村組頭壹人ニ而相勤申候、但シ給米ハ無ニ御座候、棟役ハ出不レ申候

一當村名主給米五俵

是ハ百性棟割ニ出申候、引高ハ無ニ御座候

一當村定遣給金貳兩

是ハ百性棟割ニ仕候而申候

一三嶋御陣屋守給并牢屋守給出不レ申候

一當村古拜借

無御座候

一古未進

一三嶋町箱根助成金借り

無御座候

一御鷹場捉飼場

無御座候

一當村ノ名物出不レ申候

一當村鎮守白山權現祭禮等無ニ御座候

無御座候

一市町

一刈舖場 少、御座候間、野くらニ而申候

一當村南小海村境ノ北駿州口野村境迄拾町余御座候
一隣村ヘ道法（南九町 北拾七町余）江川太郎左衛門様御代官所（小海村 小林又左衛門様御代官所）口野村

一近所繁昌之所

無御座候

一當村家數七拾軒

此譯

四拾五軒

貳拾三軒

貳軒

寺

水吞

本百姓

此

此人別三百八拾四人

內百七拾七人男

四人出家

貳軒

市右衛門

無御座候

御座候

無御座候

無御座候

無御座候

無御座候

無御座候

無御座候

一 蠶類一切不仕候事
 一道中筋遠夕御座候間、掃除場 無御座候
 一 當村ニハ材木砥石金石類鹽硝
 一 硫磺水硝石火打石ケ様之類 無御座候
 一 當村御傳馬宿ニ而ハ 無御座候
 一 當村川越 無御座候
 一 御制札登ケ所
 但切支丹札火附札
 一 當村高之内田畑 三斗四升貳合 三津ノ出作、高役之儀
 相動不申候
 一 田地質物直段拾年季
 田壹反ニ付貳兩位
 畑壹反ニ付壹兩位
 一 麥田五畝程茂御座候
 一 田畑小作ニ預ケ申義無御座候、小高ゆへ手作仕候
 一 男女之切米登年ニ 男ハ三斗五升、女ハ壹斗五升分ニ
 一名寄帳 名主 嘉七所持
 是ハ惣百姓持反別、御水帳を以、銘、書拔名寄帳御座候
 一 御年貢米皆金納 是ハ本石三斗五升外延米貳升都合三斗七升納、但シ
 御石代直段ニ而金納仕候

一 御年貢米糶俵拵等 無御座候
 是ハ金納故、米納ハ不仕候
 一 御立萱野 無御座候
 一金銀山銅錫鉛鐵山 無御座候
 一 檜柑 無御座候
 一 松茸椎茸 無御座候
 一 土朱赤土 無御座候
 一 鳥獵師 無御座候
 一 野馬 無御座候
 一 荒田畑起返シ 無御座候
 一 新田開發 無御座候
 一 谷地沼地 無御座候
 一 御證文之類 無御座候
 一 虛無僧寺 無御座候
 一 薪之儀、野山江參、芝草刈、百姓薪ニ仕候 無御座候
 一 勘當者 無御座候
 一 糠野菜 是ハ菜大根作申候、春ニ罷成かん葉いたとり取申候 無御座候
 一 枝郷 無御座候
 一 馬苦勞 無御座候
 一 山伏神子行人 無御座候

一 牛馬 無御座候
 一 穢多 無御座候
 一 大川小川 無御座候
 一 大池大沼 無御座候
 一 御年貢米津出 無御座候
 一 諸廻舟入津湊ニ而ハ 無御座候
 但潮掛リ仕候義ハ御座候
 一 當村ハ魚獵稼仕候、立漁之義ハ網戸場ニ而仕候、外
 漁之儀ハ駿州海面豆州海面何方迄も罷出、品々魚獵
 仕候、尤近年不獵諸色高直ニ而困窮之村ニ御座候、
 但シ地面石變リ黒土、畑方ハ炭土ニ御座候
 一 草刈場野山ニ而薪ニ刈申候、尤他村ノ入會ノ山 無御座候
 一 淡嶋辨才天宮 壹ヶ所
 一 淡嶋山ノ堅石出申候
 是ハ先規ノ駿府御 城御用石、久能山御用石御用之
 時分ハ御奉書山御證文ニ而御石町人御請負、三嶋御役
 所へ請負人御注進仕、重寺村へ罷越御用之分伐出申
 候御事
 一 御殿場 無御座候
 一 田地山崩等古來ノ御座候

右者此度名主組頭惣百姓立會吟味仕、村差出帳指上申
 候、少茂相違無御座候、爲後日一仍如件
 享保五年子ノ九月 豆州君澤郡重寺村 長百姓
 六右衛門(印)
 同斷 團右衛門(印)
 同斷 久左衛門(印)
 同斷 吉右衛門(印)
 同斷 次兵衛(印)
 同斷 茂右衛門
 同斷 吉兵衛(印)
 同斷 六兵衛(印)
 同斷 嘉七
 組頭 名主
 五二八 口上書之覺
 一 内浦筋浦方山方諸色分一請負人取立之義、御尋被遊
 候ニ付申上候

一薪もや木運上、去子ノ年分極月迄ニ勘定仕立、請負人方江代金ニ而相渡シ申候、當正月ノ五月迄之分請取不レ申候ニ付村ニ問屋方ニ預リ置申候、尤少ニ宛之義ニ御座候
一魚漁分一之義、當五月迄ニ不レ殘請負人方へ村ニ代金ニ而相渡シ申候
右之通り相違無ニ御座候、以上

享保六年丑六月
長濱村 名主 四郎左衛門
重須村 名主 久左衛門

三嶋 御役所

五二九

指上申口上書之事

一金四百三拾三兩壹分京八百拾貳文
豆州君澤郡 長濱村

外金貳兩壹分
負人貳拾壹人有レ之分之内、先達而上納仕候

内 金貳百四拾五兩貳分京八百五拾九文
負人貳拾壹人有レ之分

金百四拾兩京貳百六拾六文
退轉拾五人^{有レ之}、村辨納分

是者百姓拾五人^{有レ之}、困窮ニ而渡世難レ營、田畑居屋敷等迄賣拂、其上ニ而飢死病死、又者他國へ稼ニ罷出、先ニ而相果、子孫無ニ御座ニ跡式退轉仕、依レ之村中未進有レ之者共、高懸りを以、辨納之積ニ御座候

金四拾七兩貳分京六百四拾七文
潰百姓九人有レ之、村辨納分是者百姓九人子孫御座候得共跡式續兼、又者不行步旁ニ而當分渡世、自分と營申儀不ニ罷成ニ者共ニ而諸親類役介ニ罷成、上納可レ仕様無ニ御座候ニ付村中未進有レ之者共、高掛を以、辨納之積ニ御座候

右者當村先年伊奈兵右衛門様御代官所之節、古未進之儀、先達而御吟味之節、書上ケ候所ニ古未進負人之子孫、何様之譯ニ而致ニ退轉ニ村辨納ニ成候員數又者當分不レ殘上納者不ニ罷成ニ候得共負人之子孫有レ之分、吟味仕、無ニ相違ニ書上可レ申之旨、被ニ仰渡ニ候ニ付百姓中間委細吟味仕、右兩様之譯、書上申候、相違無ニ御座候、若シ相違之儀書上候段、及ニ出入等ニ候敷、又者脇ノ相知レ申候共何様之御仕置ニ茂可レ被ニ仰付ニ候、爲ニ後日之名主組頭長百姓印形を以、口上書差上申所、仍如件

享保六年 丑七月

伊豆國君澤郡長濱村

名主 四郎左衛門
組頭 忠左衛門
長百姓平 兵衛
同斷 與 兵衛
同斷 又 兵衛
三嶋 御役所

五三〇

差上ケ申口上書之事

一金貳百六拾兩京八百文
豆州君澤郡 三津村

内 金百五拾九兩京貳百貳拾七文
負人六拾壹人有レ之分
金八拾三兩壹分ト京貳百九拾壹文
退轉之者廿八人有レ之、村辨納分是ハ百姓貳拾八人子孫無ニ御座ニ退轉仕候ニ付村中未進有レ之者辨納仕候積リニ御座候
金拾七兩三分京貳百八拾貳文
潰百姓拾四人有レ之、村辨納之分是ハ潰百姓拾四人有レ之、子孫御座候ニ共御上納

可レ仕様無ニ御座候故、村中未進有レ之候者辨納積リニ御座候
一米五拾四俵三斗四升 但三斗七升入 同村

内 米四拾壹俵壹斗五升七合 負人貳拾三人有レ之候分
米拾三俵壹斗八升三合
退轉之者六人有レ之、村辨納分是ハ百姓六人子孫無レ之退轉仕候間、村中未進有レ之者辨納仕候積リニ御座候

右者當村先年伊奈兵衛門様御代官所之節、古未進之義、先達テ御吟味之節、書上候處、古未進負人之子孫何様之譯ニ而退轉仕、村辨納ニ成り候、員數又ハ當分不レ殘上納ハ不ニ罷成ニ候得共負人之子孫有レ之分、吟味仕、無ニ相違ニ書上可レ申旨、被ニ仰渡ニ候ニ付百姓中間委細吟味仕、右兩様之譯、書上申所、相違無ニ御座候、若相違之儀、書上候段、及ニ出入等ニ候敷、又ハ脇ノ相知レ申候ハ、何様之御仕置ニ茂可レ被ニ仰付ニ候、爲ニ後日一名主組頭長百姓印形を以、口上書指上ケ申所、仍如件

享保六年丑ノ七月

伊豆國君澤郡

三津村 名主 武左衛門(印)
組頭 八郎次(印)

三嶋御役所

長百姓
久左衛門(印)
同 甚右衛門(印)
同 又右衛門(印)

五三一
差上ケ申口上書之事

一金百八拾三兩京貳百拾七文

外金壹兩貳分 先達而負人三拾人之内 上納

内 金六拾貳兩京六百拾四文 負人三拾人有之分

此内金四拾貳兩京貳百文 網戸浮役未進分
是八年と不漁打續、網戸持困窮ニ而浮役御上納相滞、未進ニ罷成候

金八拾九兩三分京五百拾五文

退轉拾八人有レ之、村辨納分
是ハ百姓拾八人連と不漁、困窮ニ而御年貢浮役未進仕、依レ之田畑居屋敷網戸漁舟道具等迄賣拂、御上納仕候得共大分之金高ニ而右金子納下り未進ニ

罷成候、負人退轉之譯、舟損又ハ飢死病死或他國へ稼ニ罷出先とニ而相果、子孫無レ之跡式退轉仕、依レ之村中相談ニ而未進有レ之、又者無レ之百姓共も辨上納之積り御座候

金六兩三分京三百九拾壹文

欠落者貳人有レ之、村辨納分
是ハ百姓貳人連と不漁ニ付困窮ニ罷成、年と未進重リ田畑屋舖漁道具等迄賣代替、御納所仕候得共大分之負金ニ而右金子納下り未進ニ罷成候、其外所とニ而借金等有レ之、去ル四拾ヶ年以前戌年欠落仕候、尤其節芳と相尋候得共行衛相知不レ申、勿論子孫も無レ御座ニ跡式退轉仕、依レ之村中相談ニ而未進有レ之、又ハ無レ之百姓共も辨上納之積り御座候

金貳拾四兩京六百九拾七文

潰百姓五人有レ之、村辨納分
是ハ潰百姓五人年と不漁打續、困窮ニ罷成、御納所未進仕候ニ付田畑家財其外漁舟漁道具等迄賣代替、御上納仕候得共大分之負金ニ而右金子納下り未進ニ罷成候、尤子孫御座候得共不行歩病身又ハ船損芳と故、至極困窮仕、當分之營も艱難ニ而諸親類之役介故、御上納可レ仕方便無レ御座ニ潰百姓ニ罷成、依レ之ニ村中相談之上、未進有レ之、又ハ無レ之百姓共も辨上納仕積り御座候

右者重寺村先年伊奈兵右衛門様古未進之儀、先達而御吟味之節書上候處、右未進負人之子孫、何様之譯ニ而致ニ退轉ニ村辨納ニ成候員數又ハ當分不レ殘上納者不ニ罷成候得共負人之出子孫有レ之分、吟味仕、無ニ相違ニ書上可レ申旨、被ニ仰渡候ニ付百姓仲間委細吟味仕、右辨納之譯書上申所、相違無ニ御座候、若相違之義、書上ケ候段、及ニ出入等候か又ハ脇々相知申候者何様之御仕置ニも可レ被ニ仰付候、爲ニ後日一名主組頭百姓印形仕、口上書差上申候處、仍如件

伊豆國君澤郡重寺村

名主 嘉 七(印)
組頭 六 兵衛(印)
長百姓 六 右衛門(印)
同 三郎右衛門(印)
同 久左衛門(印)
同 吉右衛門(印)

享保六年丑七月

三嶋 御役所

五三二
差上申口上書之事

一金四百三拾三兩壹分京八百拾貳文

外金貳兩壹分 先達而村中ニ而上納仕候

右者先年伊奈兵右衛門様御代官所之節、古未進之儀、先達而御吟味御座候節書上候通、去ル拾五年以前亥ノ年大地震津浪、居村江打上ケ候節、荷物等芳へ持送候時分、右古未進帳面紛失仕候ニ付委細御注進申上候、且又長濱村之儀、田畑山林無レ數、魚獵稼斗仕候處ニ近年不獵ニ而別而困窮之村ニ付退轉禿百姓數多御座候得共右帳面相見へ不レ申候故、壹人別ニ未進何程御座候も相知不レ申候、尤負人子孫入代百姓も可レ有ニ御座候得共帳面無ニ御座候ニ付猶以相知不レ申候、依レ之村中ニ而高懸り辨納仕積り御座候、右之通少も相違無ニ御座候、爲ニ後日一名主組頭長百姓印形を以、口上書差上申所、仍如件

享保六年丑閏七月

豆州君澤郡長濱村

名主 四郎左衛門(印)
組頭 忠左衛門(印)

三嶋 御役所

長百姓平 兵衛(印)
同 與 兵衛(印)
同 又 兵衛(印)

五三三

乍恐以口上書申上ケ候御事

一内浦組長濱村當年田方立毛出來方大概ニ御座候處、猪獲多御座候付大方刈取申候、畑茂余村並相替儀無ニ御座候、然上ハ當御成箇之儀、別而御願申上候儀、無ニ御座候、當御成箇何分ニ被ニ仰付候共急度上納可仕候間、御廻郷小檢見共御免可被ニ下候、依之、名主組頭長百姓連判仕奉願候、以上

豆州君澤郡長濱村

享保六年丑九月

名主 四郎左衛門
組頭 忠左衛門
長百姓平 兵衛
同 又 兵衛
同 與 兵衛

三嶋 御役所

五三四

乍恐御訴訟申上御事

一伊豆國君澤郡内浦組五ヶ村網引場爲ニ海御役米ニ定納ニ差上申候御事

一米三拾八石五升 定納浮役米

是者年、御石代御直段を以金納ニ差上申候

重寺村
小海村
三津村
長濱村
重須村

右者小高之村ニ而魚獲無ニ御座候而も大分之海役米辨相動申候ニ付年々百姓困窮仕候、先年者魚獲御座候故敷、御役米相動申候、近年打續魚獲一圓無ニ御座百姓困窮仕、浮役米年内御皆濟不ニ罷成ニ年々送りニ漸ニ而御上納仕候躰ニ御座候、依之右浮役米御赦免之儀數年御訴訟申上候御事

右之外ニ

一立獵御座候得者魚高三ヶ一御運上差上申候

一釣獵御座候得者魚高十分一ノ御運上指上申候

一獵船御役儀并諸役之儀者御國並ニ相動申候

右重ニ之御役相動申候、此五ヶ村之儀ハ三四里入江之浦御座候所、近年魚道所ニ而獵師數多出來仕候故、拙者共網引場江諸魚不ニ參候ニ付連ニ不漁ニ罷成、百姓

困窮仕候、然共御役米之儀ハ少ニ宛所地之田畑家財等迄賣代替、年々御納所仕候ニ付退轉之百姓も御座候、殊ニ去ル貳拾年以前未之年同亥之年兩度之大地震ニ津波上リ海底ニ石出、魚獵致にく、罷成、旁以難儀仕候、當分之營も送り兼、至極迷惑仕候御事

一近村所ニニ茂網引場御座候得共三分一五分一御運上斗指上、御上納浮役米相動候村無ニ御座候、拙者共村ニ斗外浦ニ無ニ御座ニ浮役米御上納仕、難儀奉存候、近村並ニ御三分一御運上斗差上ケ申候様ニ被ニ仰付ニ被ニ下候ハ、難有奉存候

一浮役米之儀、先年者御番看錢節季錢夫錢網戸錢と申、永錢ニ而上納仕候所、其以後米直リ永壹貫文ニ米五石替ニ御上納仕候由申傳候

右之通り年々不獵ニ罷成、浮役米相動可申様も無ニ御座候間、御役米御赦免被ニ爲遊可被ニ下候、御赦免難被遊義ニ御座候ハ、先年之通り五石替ニ御直シ永納被ニ仰付ニ被ニ下候様ニ奉願上候、何ニも百姓相續仕候様ニ御慈悲奉守候、以上

享保七年寅正月

御代官様

五三五

乍恐以書付奉願候御事

一豆州重寺村之儀、田畑山林茂無少、漁船貳拾八艘ニ而魚漁第一ニ仕、百姓相動來り申候、獵舟御役之儀者御入國以來、御上洛之節者三嶋御殿御膳看差上ケ申候、此外海御役米相動、其上立獵仕候得者三ヶ一、釣漁ハ拾分一御運上指上ケ申候、舟ニ茂尋掛り之御役永相動來り候御事

一重寺村之儀者西北向之濱ニ而右漁舟貳拾八艘舟着場、前々重寺濱舟繫申候所、去貳拾年以前未之年同拾六年以前亥ノ年右兩度大地震津波上リ砂引さらし、それより連々濱形も悪敷罷成、先年々者大分沙滿チ多ニ西風富士嵐と申風波立候節者波打上ケ度、破船仕候、其上濱通之居敷迄打崩シ芳以百姓難儀罷成、連々困窮仕候、依之數年奉願上候ハ重寺村濱北面ニ波除之石垣壹ヶ所御公儀様御入用ニ而御普請被ニ爲ニ仰付ニ被ニ下候ハ、難有奉存候、先年々南方ニ波除之石垣、壹ヶ所御座候、是者先年御公儀様御入用金被ニ下御普請仕候由、年久敷儀ニ而儘ニ覺候もの無ニ御座候、申傳斗ニ御座候、尤右波除之儀、

年久敷儀ニ御座候得者、破損茂不仕候故、只今迄御修覆等御願不申上候、大風波之節者船繋所なく、破船難儀仕候御事

一重寺村之儀、高山之麓ニ而海邊之岸ニ家作仕、百性相動罷有候ニ付右波立之節ハ居屋舖等迄打崩シ度、難儀仕候、困窮之百性ニ而自力普請難成、御入用を以、御普請被爲ニ仰付、波除出來仕候ハ、漁船數多仕立、魚漁仕候得者分一御運上并船繋も相増、御公儀様爲ニも罷成、其上大勢之人數渡世仕候ニ付御普請被爲ニ仰付、被下候ハ、永ニ之御介抱難有奉存候御事

右之通、波除御普請之儀、御入用ニ而被爲ニ仰付、被下候ハ、永百性相續可仕候、偏御慈悲奉守候
享保七年寅七月
三嶋御役所

五三六

一錢貳百文

豆州君澤郡

長濱村中

右者紀州熊野三山勸化受取申所、仍如件

享保七年寅八月朔日

河原清兵衛手代
荒川又右衛門(印)
秋山團右衛門(印)
右村名主中

五三七

以書付奉願候御事

豆州所相場ニ壹斗壹升五合高積リ御願直段

一金壹兩ニ付 斗立米壹石五升代

右者當寅御年貢三分一金納米之義、皆米納被ニ仰付候ニ付不殘米納難成村ハ石代納被ニ仰付、被下候様ニ奉願候處、豆州所相場所ニ御吟味被成、平均金壹兩ニ斗立壹石壹斗六升五合代ニ御座候間、右直段何程高ニ金納可仕旨、奉願候様、被ニ仰渡、銘願書差出候得共直段下直ニ御座候よし段ニ御吟味之上、所相場ニ壹斗壹升五合高之積リ斗立金壹兩ニ壹石五升代石代納被ニ仰付、被下候様ニ奉願候、右之通被ニ仰付候ハ、三分一金納米之内茂可成程者米納仕、不足之分、右直段を以、石代金急度上納可仕候間、右之通被ニ仰付候様ニ奉願候、此度奉願候直段下直ニ被ニ思召、皆米

納被ニ仰付候共少茂違背仕間敷候、爲其村ニ惣代書付を以奉願候、以上

享保七年寅ノ十月廿五日

三嶋御役所

組ニ惣代
連判

五三八

乍恐以書付奉願候御事

所相場ニ六升五合高積リ

一金壹兩ニ付

御願直段
斗立壹石壹斗替

右者當御年貢米不殘米納可仕旨被ニ仰渡候ニ付御米不足仕候村者石代納被ニ仰付候様ニ奉願候所ニ豆州所相場御吟味被成金壹兩ニ平均斗立壹石壹斗六升五合ニ當候間、右直段何程高奉願候趣、吟味請書上候様ニ被ニ仰渡候ニ付惣百性相談之上、書面之通、所相場ニ六升五合高之積リ石代納奉願候、右之通被ニ仰付候ハ、隨分米納取立、不足之分者石代急度上納可仕候、此度奉願候直段下直ニ被ニ思召、皆米納被ニ仰付候共少茂違背仕間敷候、爲其名主組頭惣百性代以書付

奉願候、以上

享保七年

寅十月

豆州君澤郡内浦組

重須村 久左衛門 幸助
長濱村 四郎左衛門 平兵衛

河内村 太治右衛門 善右衛門 善藏

久連村 五兵衛 久左衛門 權兵衛

立保村 半右衛門 太兵衛 與兵衛

古宇村 甚右衛門 彦市 久右衛門

井田村 四郎左衛門 武右衛門 武兵衛

戸田村 市郎右衛門 平作 利助

久兵衛 五左衛門 與兵衛

善右衛門

小土肥 長兵衛 六郎右衛門

土肥 武右衛門 平右衛門 利兵衛

半藏 伊右衛門 權兵衛

八木澤 左二右衛門 太兵衛 勘右衛門

小下田 市郎右衛門 十右衛門 仁右衛門

三嶋御役所

五三九

駿州駿東郡上香貫村與
沼津町芝地論裁許之夏

上香貫村訴趣、狩野川與中大河端ニ當村田畑附之芝地有之、古來より秣刈來又ハ馬放場にも仕候、右芝地と田畑境之堤、五拾年餘以前満水之節押切、古畑壹反七畝歩餘押拂、溜井之様ニ成候付其節之、御代官年々川欠ニ引來、免狀ニ書記有之候、然所川欠跡段ニ埋り芝草生茂り近年平地一同ニ罷成候付右古畑起返ハ不_レ及_レ申、芝地新田ニ開發仕度旨、當地頭迄願上ケ開發取掛候處、沼津町之者共、洪水之節及_ニ満水ニ相障候由、地頭江訴候付開發被_ニ差留_ニ迷惑仕候、剩右芝地沼津町分之由申掠、我儘仕、川を隔候場所を押領可_レ仕巧ニ申懸候由申之、沼津町答候者右芝地者上香貫村田畑之由申之、五拾年餘以前洪水之節、芝地田畑境堤等押切候與申立候儀偽りニ而候、沼津町と上香貫村與之境者右田畑境と從_ニ訴訟方_ニ申立候土手下ニ郷川筋有之所、境ニ而候、且五拾年餘以前郷川筋致_ニ川欠_ニ又拾八年前以前西年洪水之節砂押埋、上香貫村地積之様罷成候得共今以古川跡相見江候、依_レ之右芝地者中瀬與申沼津町分ニ無_レ紛、魚

五三九

油をしぼり干鬮干場ニ仕、沼津廻船等をも造來候場所を開發仕候ニ付訴訟方之地頭江相願差留候、芝地開發仕候而者洪水之節、水開口無_レ之、公儀御普請之川除等も及_ニ大破_ニ其上沼津町御傳馬役屋敷田畑ニ至迄川欠出來、難儀之由申之、遂_ニ吟味_ニ所從_ニ沼津町_ニ申立候境ハ上香貫村土手下郷川筋ニ而芝地ハ沼津町之由雖_レ申之、證據書物等一切無_レ之、魚油しぼり場船造作場之由、口上迄ニ而可_レ取用_ニ儀、更無_レ之、第一沼津町とハ川を隔、上香貫村地積之芝地分、分明也、縱古來者雖_レ爲_ニ沼津町分_ニ川者附寄次第之例條ニ候間、一向沼津町申分難_レ立、上香貫村地内相決候條、向後從_ニ沼津町_ニ不_レ可_ニ差繕_ニ之、雖_レ然從_ニ上香貫村_ニ右芝地致_ニ開發_ニ堤等築立候而者狩野川洪水之節水湛開口無_レ之、沼津町江水勢張中り川除并田畑江障候儀、歷然也、併芝地之内、上香貫村分之古畑之荒有_レ之候、双方より申上者有來通、土手際之方江寄候所ニ而以_ニ流作_ニ之積、満水之時之障リニ不_レ罷成_ニ様ニ自_ニ上香貫村_ニ少_ニ開發_ニ可_レ致_ニ之、勿論堤等一切不_レ可_レ築_ニ之、今般詮議之上、裁斷畢之、仍爲_ニ後鑑_ニ各加_ニ印判_ニ双方江書下之間、永可_レ守_ニ此旨_ニ者也

享保七年壬寅十一月廿一日

寛 播磨
駒 肥後

五四〇
(表紙共四枚)

五四〇

享保七年
寅年村中米辻帳
十一月

長濱村

米壹俵
金壹分貳朱
金壹分
米壹俵
金貳朱
米壹俵

覺 兵衛(印)
同 人(印)
長 八(印)
半左衛門(印)
同 人
次郎左衛門(印)

大 下野
水 伯耆
大 越前
中 出雲
土 伊豫
松 相模
牧 因幡

米壹俵
金貳朱
米壹俵
金貳朱
金壹分
金壹分
米貳俵
米貳俵
米貳俵
金貳朱
米壹俵
米壹俵
金壹分

安 兵衛(印)
安 兵衛(印)
(善) 右衛門(印)
十左衛門(印)
善 右衛門
太 郎兵衛
長 四郎(印)
同 人
又 兵衛(印)
同 人(印)
忠 右衛門(印)
庄 左衛門(印)
庄 兵衛(印)
七 兵衛(印)
平 兵衛(印)
左 平次(印)
同 人(印)
平 藏(印)
利 平次(印)
次 右衛門(印)
同 人

米壹俵 七左衛門(印)
 米貳俵 彦兵衛(印)
 米壹俵 太左衛門(印)
 金壹分 喜右衛門(印)
 米壹俵 與兵衛(印)
 金壹分貳朱 甚兵衛(印)

五四一

一分一殘金之儀、當八月迄ハ請負人方へ不殘相渡候様ニ被仰付御尤奉存候所、芝五郎四郎相廻請取可申と手紙廻し候間、相待罷在候所ニ不參候故、殘金ニ成罷有候、以上

享保七年 寅十一月
 御役所へ差上候寫

重寺村江梨迄

五四二

乍恐口上書を以申上候事

一豆州山方浦方諸色分一請負人御運上相滞候ニ付此度請負被召上候處、請負人申上候者山方浦方諸色分一、其年之直段、相對を以、相極可申所、山方浦方ニ而今以直段相立不申候故、分一取立不申御運上金上納滞候段、申上候ニ付山方浦方諸色分一不殘請負人方へ相渡候哉、未殘金有之候哉、年々直段相立可申所、如何様成譯にて相滞候哉、御吟味御座候御事

一山方浦方諸色分一、子ノ九月ハ十二月迄者子之春御定直段を以、請人方へ不殘相渡、手形取置出入無御座候、丑正月ハ當八月迄之儀ニ茂魚漁并見取分一之類者其時ハ勘定仕候、右之外直段可相立類者直段相極申度旨、度々請負人へ申候へ共分一品取願仕罷有候間、當分直段難相立旨申候、其以後御役所ハ山方浦方共ニ諸色分一請負人并名主立會相改、帳面ニ記、納人方へ成共名主方へ成共預置可申旨被仰付候者時ハ立會相改、子年直段積ニ而取立、名主方又者納人方へ預置申候事

五四三

差上申證文之事

山方浦方分一請負場所、此度被召上候由、先達被仰渡候處、右請負人ハ御願之儀、申上候ニ付當九月ハ以後、分一品ハ念入帳面ニ記置、名主組頭并請負人下代立會印形仕置可申旨、被仰渡奉畏候、右運上金、當分名主組頭預り置、追而御下知次第相渡可申候、爲其證文差上申候、仍如件

享保七年寅十一月

組惣代印

五四四

口上書を以申上候事

山方薪分一直段、請負人と相對を以、直立相極候様ニ被仰付候ニ付丑寅兩年之分、壹ケ年切ニ所之仲買平均直段を以、相對仕候所ニ請負人何れ之賣買直段を用候哉、直立高直甲、相對直段埒明不申候ニ付村ハ仲買帳面御覽可被遊山、被仰付奉畏候得

一當八月又ハ請負被仰付候者預置候分一金直段、相對を以、請負人方へ相渡可申旨被仰付候ニ付右之通、請負人方へ申候所ニ下代之者申候者直段子年積ニ而不殘相渡候様ニ申候ニ付不殘相渡候村茂有之又者中買方近年諸色下直ニ罷成候間、子年直段少引下給候様ニ願候村茂有之候ニ付左候ハ、分一之元方甚五郎相廻可申候、其節了簡を以、直段相立可申候、先ハ子年積ニ而相渡候様ニ申候ニ付右直段ニ而大形相渡申候、其後甚五郎相廻不申、直段相極不申候、殘金有之分者少ハ宛ニ而請負人御運上金之差支ニ可相成候と者不奉存候、殊ニ子年直段相違無之村方者丑ノ年分共ニ右直段ニ而不殘勘定仕候、請負被仰付候以來、請負人種々之義申上候ニ付爲御吟味ニ遠方之村ハ度々被召寄物入旁迷惑至極ニ奉存候事

享保七年寅十一月

内浦組合

松崎組迄

三嶋

御役所へ差上申候扣

連判

共仲買帳面之儀、薪商賣帳面と申、別帳面無御座候、百姓内證諸事附込之帳面所持仕候者も御座候得者御役所へ難差上存候、然共御意（重々奉存候）間、別紙直段付帳差上ケ候通り仲買平均直段之外、相對仕、兩度金壹兩付貳拾把迄直段増上ケ仕候得共請負人合點不仕候、然上者村々可致様無御座候、勿論請負人申候直段而分一相渡候而ハ仲買之者共相續可仕様無御座左候得ハ山方百姓共迷惑仕儀御座候、此上分一品取被仰付候共此度請負人申上候直段而分一代永相渡候儀難成奉存候

一薪之内重須村小木請負人并村方共同直段而御座候

一もや木立花兩様共前之積を以、分一請負人へ勘定相濟申候得共相對被仰付候間、是又少々宛増上仕候得共請負人合點不仕候、何れ共迷惑奉存候事

一魚漁分一之儀、請負人立會、其時入札を以、直段相極メ分一代金請負人へ相濟申候事

右之通、請負人ト相對仕候得共埒明不申候、此度書上ケ候直段を以、相濟候様奉願、分一御請負付村、度、三嶋へ罷出、大分物入等有之候而難儀千萬奉願候

存候、此上百姓相續仕候様ニ乍恐御了簡奉守候以上

享保八年 卯正月 内浦組
重寺村
長濱村
重須村
久連村
立保村
古宇村
足保村
久料村
江梨村

三嶋 御役所
右之通御役所へ
差上申扣

五四五
乍恐口上書ヲ以御願申上候御事

一重寺小海三津長濱重須、此五ヶ村浮役米之儀、前以度、御願申上候通、重之御役相動候所ニ數年打續魚漁一切無御座候ニ付百姓困窮仕、右御役米可相勤一方便無御座至極難儀奉存、右浮役米御赦免被下候様、度奉願、其上去春江戸表へ罷出、御

赦免之御願仕度奉存、御添狀奉願候所、右願之趣、御伺被下候間、江戸へ下り候儀、差扣候様ニと被仰付候故、延引仕罷有候得共今以御沙汰無御座候近年別而不漁罷成、御役米最早辨納可仕様無御座候間、又御訴申上候、何分ニも御赦免被仰付候様奉願候、以上

享保八年 卯四月 重寺
嘉 七
六 兵衛

四郎左衛門 八郎右衛門
忠右衛門 治左衛門
文左衛門 武左衛門
半右衛門 八郎次

右之通り入札を以、下吟味仕候處、右之金高ニ而三津村甚兵衛ノ請負可申由ニ御座候間、御普請被仰付候様ニ奉願上候、以上

代金三兩貳分
但三寸

享保八年卯ノ五月 三津村
名主 武左衛門(印)
粗頭 八郎次(印)
同所大工 甚兵衛(印)

葦山 御役所

五四六 御高札場〔由來覺〕注文覺

一土臺四方 三寸五分角 外中壹本
一柱三本 高サ八尺 三寸五分角 中ニつなきぬき
一さかき 長サ七尺 立横共ニ
横四尺貳寸

右之通、浦御高札かこひ之儀、先年國中一統三嶋御支配之節者内浦組拾四ヶ村之浦役ニ仕候、其以後御知行ニ相渡り申候節、かこひ及大破候故、御注進申上候得者拾七年前知年越前守様ノ御入用を以、被仰付候、其節之入用金三兩三分余掛り申候最早破損仕候間、何とそ御入用を以、普請仕候様ニ奉願上候、以上

五四七

長濱御役所附重須村魚漁入札直段覺

- 丑五月廿八日
- 一瀬長兩ニ拾五本八分替
- 同五月廿日
- 一瀬長兩八本八分五リン替
- 寅五月朔日
- 一瀬長兩ニ九本四分替
- 同八月十一日
- 一瀬長兩ニ六拾壹本四分替
- 卯四月廿日
- 一めしか兩ニ七拾五本替
- 同五月十一日
- 一瀬長兩ニ拾七本五分替
- 同五月十四日
- 一めしか兩ニ七拾六本七分替
- 同五月十五日
- 一瀬長兩ニ拾壹本八分替
- 同五月十六日
- 一瀬長兩ニ拾五本四分五リン
- 同五月廿六日
- 一瀬長兩ニ拾壹本壹分九リン
- 同六月朔日
- 一瀬長兩ニ拾三本替
- 同六月十六日
- 一瀬長兩ニ拾壹本七分替
- 同六月廿六日
- 一瀬長兩ニ拾壹本半替

右者丑寅卯三ヶ年立獵入札直段如レ此御座候
享保八年
卯十月

御役所

重須村
名主半右衛門
組頭三十郎
津元幸介

五四八

乍恐書付を以奉願候事

豆州山方濱方買賣物分一運上之儀、去子ノ年以來御請負ニ罷成、子ノ九月ノ同極月迄先子ノ年直段を以、運上物代金請負人芝友三郎へ相渡、勘定相濟申候、丑ノ年ノ濱方山方共、直段之義、御請負人得心不仕、村ノ運上物代永内渡し仕候ニ付御請方御役所へ度ニ御訴申上、村ノ之者共被ニ召出、右直段之儀、友三郎へ相對仕、差引勘定可仕旨被ニ仰渡候、然ル所ニ村方多分之儀ニ付相談一致不仕、今以不落着ニ御座候故、又ニ友三郎御訴申上候ニ付今度村ノ被ニ召寄、委細御吟味奉レ請候、濱方之義ハ獵之時之御請負人下代立合、入札直

五四九
(表紙共五枚)

段ニ而分一代永相渡シ直段之義ハ相滯候子細無ニ御座候、山方買賣物之義ハ山本直段を以、村ノ共勘定仕度旨、相届候ニ付御請方得心不仕候間、此度村ノ書上申候、山本直段貳割高直ニ仕候而指引勘定仕候様ニ御請方へ被ニ仰渡可被ニ下候、此度山方出物銘ノ山本直段書上申候ニ付村ノ中買津ニ問屋場根帳本紙御一覽ニ入可申旨、御吟味御座候得共右根帳之儀ハ品ニ付込ニ而米糶麥等ニ代替候類多ク御座候得共彼是之相場物ニ而御座候間、根帳御吟味奉レ請候ハ一ニ申披キ仕候儀、急ニハ難レ成奉レ存候、然時ハ村方ニ隙取候而困窮ニ罷成候間、右御吟味之義ハ御用捨被ニ成下ニ御請負人へ相對直段之義奉レ願候、且又濱方引魚多ク有レ之所ニ之儀、御請方申上候ニ付御吟味奉レ請候、是又何分ニも御請方へ相對仕、可レ然様ニ相片付可申候間、御慈悲ニ御了簡を以、御請方之者、相對ニ而事濟候様ニ被ニ成下候ハ、難レ有奉レ存候、爲レ其以ニ書付をニ奉レ願候、若村方ニ而難澁仕候ハ、何分之曲事ニも可ニ仰付候以上

享保八年
卯ノ十月

五四九
(表紙)

享保八年
長濱御役所附長濱村立獵入札直段覺
卯十月

長濱御役所附長濱村立獵入札直段之覺

- 丑六月廿四日
- 一瀬長兩ニ拾八本六分替
- 同六月廿四日
- 一瀬長兩ニ拾三本壹分九リン
- 同六月廿四日
- 一瀬長兩四拾六本九分
- 同六月廿四日
- 一瀬長兩五拾九本七分
- 同九月
- 一瀬長兩ニ七本替
- 同九月
- 一瀬長兩拾本替
- 寅二月
- 一瀬長兩ニ貳本半替
- 同四月
- 一まくろ兩ニ拾壹本五分かへ
- 同四月
- 一瀬長兩拾本貳分替